

令和7年度

岩手県立博物館

年報

岩手県立博物館 令和7年度年報



企画展「星にねがいを一宇宙といわたの年代記ー」
令和7年6月14日（土）～8月17日（日）

目で見ると岩手県立博物館この1年



テーマ展 驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
令和7年3月29日（土）～5月18日（日）



テーマ展 驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
展示解説会
令和7年4月6日（日）・4月19日（土）



テーマ展 驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
関連イベント 鳥の羽のしおりづくり
令和7年5月3日（土）



テーマ展 驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
関連イベント 化石のクリーニング体験
令和7年5月6日（火）



県博バックヤードツアー
令和7年5月18日（日）



第89回自然観察会 森林の生き物を観察しよう
滝沢市滝沢森林公園
令和7年6月7日（土）



企画展 星にねがいを —宇宙といわたの年代記—
令和7年6月14日(土)～8月17日(日)



企画展 星にねがいを —宇宙といわたの年代記—
国宝 伊能忠敬関係資料 展示



企画展 星にねがいを —宇宙といわたの年代記—
展示解説会
令和7年6月14日(土)・8月9日(日)



文化財等取扱講習会(前期)
令和7年6月20日(木)・21日(金)



第89回地質観察会
大船渡市の三畳系・白亜系露頭を巡る
大船渡市須崎川周辺 令和7年6月22日(日)



企画展 星にねがいを —宇宙といわたの年代記—
サテライト展示 書肆みず盛り
令和7年7月2日(水)～7月27日(日)



企画展 星にねがいを ―宇宙といわたの年代記―
付帯イベント 星空観察会
令和7年8月2日（土）



企画展 星にねがいを ―宇宙といわたの年代記―
付帯イベント JAXA 宇宙教室！
令和7年8月9日（土）



ナイトミュージアム
令和7年8月8日（金）・9日（土）



館園実習
令和7年8月21日（木）～8月28日（木）



民俗講座「たいけん！むかしの暮らし」
令和7年9月21日（日）



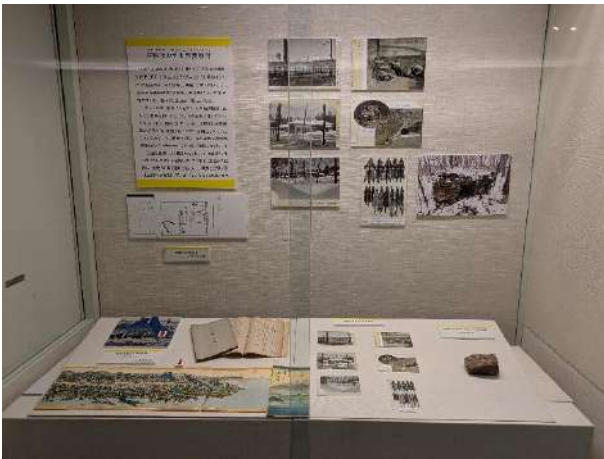
第90回自然観察会 秋の草花と虫を観察しよう
網張の森・網張温泉スキー場
令和7年9月23日（火・祝）



テーマ展 いわたの酒造り～酒から SAKE への今昔物語～
令和7年9月27日（土）～12月7日（日）



テーマ展 いわたの酒造り～酒から SAKE への今昔物語～
展示解説会 令和7年9月27日（土）
10月26日（日）・11月29日（土）



トピック展
忘れられたケモノたち 農林省毛皮獣養殖所と滝沢
令和7年10月4日（土）～



令和7年度 岩手県立博物館 歴史特別講座
忘れられたケモノたち
旧農林省毛皮獣養殖所と滝沢村の近代
令和7年10月4日（土）



第14回 博物館まつり
松ぼっくりのフクロウづくり
令和7年10月12日（日）・13日（月）



第14回 博物館まつり
かせきのレプリカづくり
令和7年10月12日（日）・13日（月）



第14回 博物館まつり
スライムどけいづくり
令和7年10月12日(日)・13日(月)



第14回 博物館まつり
盛岡チアダンスクラブ煌のダンスパフォーマンス
令和7年10月12日(日)



テーマ展 いわたの酒造り～酒から SAKE への今昔物語～
付帯イベント いわたの酒蔵見学会
令和7年10月18日(土)



第90回地質観察会
雫石盆地周辺の層序と地質構造を知る
盛岡市御所ダムならびに雫石町
令和7年10月25日(土)



博物館で学ぶ岩手の歴史講座
令和7年10月25日(土)



研究受託調査 親久保Ⅱ遺跡発掘調査
令和7年11月3日(月・祝)～11月14日(金)



文化講演会（テーマ展開連事業）
いわての酒造り技術について
いわての日本酒との関わりについて
令和7年11月3日（月・祝）



トピック展
緊急企画！ ツキノワグマってどんな動物？
令和7年11月7日（金）～令和8年4月17日（金）



文化財等取扱講習会（後期）
令和7年11月20日（木）・21日（金）



ミュージアムコンサート
アンサンブルこずかた クリスマスコンサート
令和7年12月13日（土）



テーマ展 石を愉しむ展覧会
令和8年1月10日（土）～3月8日（日）



冬のワクワクワークショップ
令和8年1月10日（土）



テーマ展 石を愉しむ展覧会 展示解説会
令和8年1月17日(土)・2月21日(土)



テーマ展 石を愉しむ展覧会 ワークショップ
令和8年1月24日(土)



トピック展 岩手の川と釣り文化
令和8年2月17日(火)～3月15日(日)



館内調査研究報告会
令和8年3月2日(月)



トピック展 岩手の川と釣り文化 関連事業
シンポジウム「盛岡竿と盛岡式流し毛鉤 ～岩手の
川と釣り文化～」令和8年3月8日(日)



テーマ展 岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ
令和8年3月28日(土)～5月24日(日)

目次

目で見る岩手県立博物館この1年	前付
1 沿革	3
2 施設の概要	
(1) 建築の概要	6
(2) 施設配置図・展示室等平面図	6
(3) 各室面積表	7
3 博物館協議会	8
4 予算	9
5 事業の概要	
(1) 展示活動	10
(2) 教育普及活動	26
(3) 調査研究活動	48
(4) 資料収集保管活動	59
(5) 総務企画調整	67

6 被災文化財等再生活動

- (1) はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 78 -
- (2) 津波被災資料安定化処理のこれまでと現在・・・・・・・・・・ - 78 -
- (3) 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 80 -

7 三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクトについて

- (1) はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 81 -
- (2) 事業別成果報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 81 -
- (3) 今後の展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 84 -

8 博物館利用者入館状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 85 -

9 令和7年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織・・・・・・・・ - 88 -

10 岩手県立博物館使命書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 89 -

11 関係条例・規則等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ - 90 -

1 沿革



- 昭和 48 年 4 月 県教育委員会事務局社会教育課に博物館準備係（3名）を設置
- 昭和 48 年 5 月 県庁内に副知事を委員長とし関係部長等を委員とする博物館調査委員会を設置
- 昭和 48 年 6 月 博物館資料調査委員（委員 22 名）を委嘱
- 昭和 48 年 7 月 民意集約機構として博物館建設調査協議会（委員 25 名）を設置
- 昭和 48 年 8 月 展示内容等の専門的指導助言を得るため、博物館専門委員会（委員 20 名）を設置
- 昭和 49 年 4 月 県教育委員会事務局に博物館開設準備室（庶務係、学芸班 10 名）を設置
- 昭和 50 年 5 月 博物館建設調査事務終了に伴い、引続き県立博物館建設委員会（委員 6 名）を設置
- 昭和 51 年 1 月 県立博物館の建設地を、盛岡市上田字松屋敷四十四田公園地内に決定
- 昭和 51 年 10 月 建設基本設計の委託を株式会社佐藤武夫設計事務所（東京都）に決定
- 昭和 52 年 4 月 博物館開設準備室を廃し、博物館建設事務所（総務課、学芸課、工務課、17 名）を設置
- 昭和 53 年 6 月 起工式
- 昭和 53 年 10 月 展示工事着手、民家の移築復元工事を財団法人文化財建造物保存技術協会に委託
- 昭和 54 年 11 月 定礎式
- 昭和 55 年 7 月 博物館条例公布、館の名称を岩手県立博物館 と決定
- 昭和 55 年 7 月 コンパニオン（非常勤専門職員 15 名）任用
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館設置
- 昭和 55 年 10 月 落成記念式典及びマイヨール作「三人の妖精」除幕式（4 日）
- 昭和 55 年 10 月 岩手県立博物館開館（5 日）
- 昭和 55 年 10 月 日本博物館協会、全国科学博物館協議会加盟
- 昭和 56 年 3 月 第 1 回岩手県立博物館協議会開催
- 昭和 59 年 10 月 皇太子同妃両殿下ご来館（14 日）
- 昭和 60 年 4 月 財団法人岩手県文化振興事業団発足、岩手県立博物館管理運営を委託
- 昭和 62 年 5 月 入館者 100 万人を突破（1 日）

平成 元年 3月 地質総合展示室改修完了
 平成 2年 5月 岩手県立博物館友の会設立（1日）
 平成 2年 7月 歴史古代展示室改修完了
 平成 2年 10月 開館10周年記念特別企画展「北の鉄文化」開催
 平成 3年 2月 入館者、県民人口を超える（14日）
 平成 3年 11月 入館者、150万人を達成（1日）
 平成 3年 12月 歴史中世展示室改修完了
 平成 4年 1月 コンパニオンを「解説員」に改称
 平成 5年 2月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（5日）
 平成 5年 3月 現勢展示室イヌワシの山改修完了
 平成 5年 10月 国民文化祭いわて'93記念展「じょうもん発信」開催
 平成 5年 10月 皇太子殿下ご夫妻ご来館（10日）
 平成 6年 1月 「中尊寺黄金秘宝展」開催
 平成 6年 12月 屋上改修工事完了
 平成 8年 4月 重要文化財勸告出品館となる
 平成 9年 12月 文化振興事業団10周年記念「柳之御所遺跡発掘調査展」開催
 平成 9年 2月 重要文化財公開承認施設となる
 平成 9年 7月 入館者、200万人を達成（16日）
 平成10年 1月 ハイビジョン室設置
 平成12年 3月 収蔵庫等改修工事完了
 平成12年 3月 企画展第50回目を迎える（「岩手の経塚」）
 平成12年 10月 開館20周年記念特別企画展「北の馬文化」開催
 平成13年 5月 近代美術展示閉鎖（美術館へ移管）
 平成14年 3月 マメンキサウルス（モシリユウ）全身骨格複製標本展示
 平成18年 4月 施設等の管理部門に「指定管理者制度」導入。（財）岩手県文化振興事業団が指定管理者となる
 平成21年 1月 入館者、250万人を達成（10日）
 平成21年 4月 （財）岩手県文化振興事業団が2期目の指定管理者となる
 平成22年 1月 外部階段改修工事完了
 平成22年 10月 開館30周年記念特別企画展「いわての漆」開催
 平成23年 3月 美化事業完了
 平成24年 4月 （公財）岩手県文化振興事業団が3期目の指定管理者となる
 平成24年 12月 秋篠宮同妃両殿下ご来館（20日）
 平成25年 1月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（22日）
 平成26年 3月 文部科学大臣から科学研究費補助金規程に規定する研究機関に指定される（20日）
 平成26年 3月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設設置（建築面積115.22㎡、延床面積230.44㎡）
 平成26年 5月 仮設陸前高田市被災文化財等保存修復施設開所（可視化により一般公開）
 平成27年 1月 岩手県議会商工文教委員会現地調査（14日）
 平成27年 4月 （公財）岩手県文化振興事業団が4期目の指定管理者となる
 平成28年 1月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2015」、特別展「海に生きた歴史」開催
 平成29年 3月 中央監視システム更新工事完了
 平成29年 3月 旧佐々木家・旧藤野家住宅保存修理（屋根）工事完了
 平成29年 3月 正面入口案内看板設置

平成 29 年 8 月 ボイラー更新工事完了
 平成 30 年 2 月 岩手山眺望確保のための樹木剪定
 平成 30 年 3 月 昇降機改修工事完了
 平成 30 年 4 月 (公財)岩手県文化振興事業団が 5 期目の指定管理者となる
 平成 30 年 12 月 マメンキサウルス補修工事完了
 平成 31 年 1 月 不活性ガス消火設備更新工事完了
 令和 元年 12 月 非常用発電機更新工事完了
 令和 2 年 3 月 冷却塔更新工事完了
 令和 2 年 10 月 開館 40 周年を迎える(新型コロナウイルス感染拡大により記念特別展延期)
 令和 3 年 6 月 県立博物館 開館 40 周年記念特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」開催
 (6 月 12 日～8 月 15 日)
 令和 3 年 11 月 入館者、300 万人を達成(13 日)
 令和 4 年 2 月 直流電源装置更新工事完了
 令和 4 年 4 月 重要文化財旧藤野家住宅及び旧佐々木家住宅耐震補強工事完了(15 日)
 令和 4 年 12 月 三陸ジオパーク推進協議会との連携協力に関する協定の締結(15 日)
 令和 4 年 12 月 岩手県立博物館屋上防水改修工事完了(23 日)
 令和 4 年 12 月 岩手県立博物館外構タイル改修工事完了(26 日)
 令和 5 年 4 月 (公財)岩手県文化振興事業団が 6 期目の指定管理者となる
 令和 5 年 10 月 岩手県立博物館トラックヤードシャッター更新工事完了(16 日)
 令和 5 年 12 月 特別展「ポケモン化石博物館」開催(19 日～令和 6 年 3 月 3 日)
 令和 7 年 2 月 岩手山眺望確保及び博物館環境整備のため樹木伐採
 令和 7 年 3 月 岩手県立博物館非常放送設備更新工事完了
 令和 8 年 3 月 クマ対策のため樹木伐採、監視カメラ設置・更新
 令和 8 年 3 月 マメンキサウルス補修工事完了
 令和 8 年 3 月 展示室等防盜設備更新工事完了

2 施設の概要

(1) 建築の概要

〈総工事費〉 44億3,000万円

〈工期〉 ●着工 昭和53年3月15日 ●完成 昭和55年9月30日

〈建築概要〉 ●敷地面積 53,112.78㎡ ●建築面積 5,192㎡ ●延床面積 12,051.56㎡

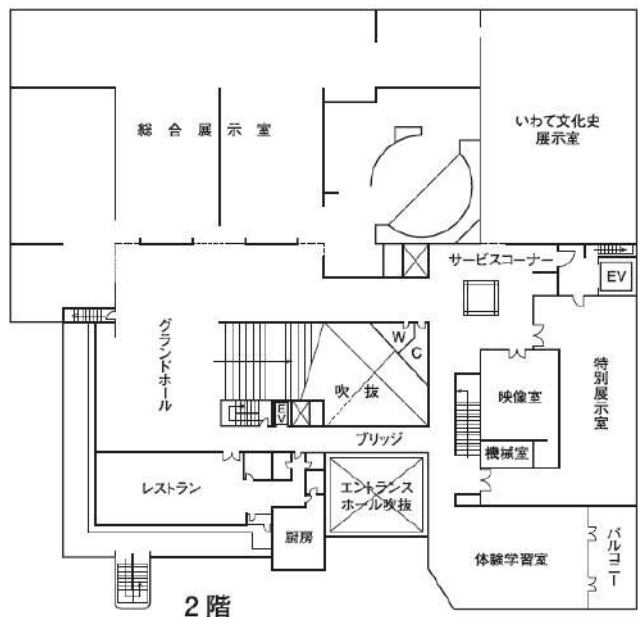
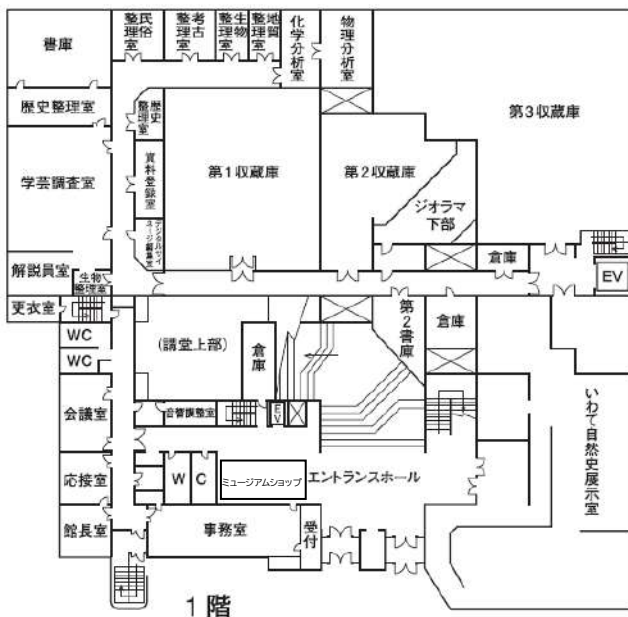
※仮設施設の面積等は含んでいない

(2) 施設配置図・展示室等平面図



駐車場面積

第1駐車場	2,804.4㎡	普通車62台
第2駐車場	1,251㎡	普通車12台、大型バス14台
第3駐車場	410.9㎡	普通車8台
身障者等用駐車場	93.5㎡	普通車5台





(3) 各室面積表

部屋名	面積 (㎡)
空調機械室	766.09
発電機室	50.26
蓄電機室	9.71
ボイラー室	64.36
中央監視室	64.67
電話交換機室	8.89
電気室	142.54
ハロンポンベ室	37.86
消火栓ポンベ室	17.14
エレベーター機械室	20.52
第4収蔵庫	464.48
第5収蔵庫(液浸)	39.72
エレベーターシャフト	18.24
車庫	38.33
器具庫	25.24
消毒室	37.86
工作室	35.90
暗室	11.91
作業室	4.06
写真室	52.94
荷受場	79.63
荷解場	113.75
用務員室	26.39
守衛室	18.00
宿直室	21.17
湯沸室	3.81
浴室	5.71
便所	6.75
タラップ室	6.75
フォークリフト置場	12.75
廊下・階段・その他	280.32
小計	2,485.75
いす保管庫	98.61
外部用倉庫	20.38
教室	81.07
準備室	22.83
実技室	115.66
便所	29.02
講堂	164.09
効果室	14.50
ホワイエ	68.29
タラップ室	5.14
廊下・その他	232.78
小計	852.37

部屋名	面積 (㎡)
いわて自然史展示室	729.27
パネル倉庫	35.56
風除室	3.21
受付	18.65
印刷室	8.50
事務室	116.01
館長室	43.33
応接室	41.40
会議室	64.23
倉庫	14.25
身障者便所	6.47
No.3 便所	43.85
No.2 便所	39.67
音響調整室	20.84
同上前室	10.28
予備室	32.07
ロッカー室	10.45
女子更衣室	20.55
学芸調査室	236.04
歴史整理室	59.21
書庫	113.36
民俗整理室	35.84
考古整理室	35.84
生物整理室	25.10
地質整理室	25.20
歴史整理室	35.43
第1資料登録室	21.90
化学分析室	41.66
物理分析室	53.94
デジタルサイネージ編集室	20.72
第1収蔵庫	365.15
第2収蔵庫	188.25
第3収蔵庫	608.38
倉庫	9.18
第2書庫	42.69
ジオラマ下部	119.13
グランドホール	133.19
ロビー1	101.79
ロビー2	35.84
階段・廊下・その他	888.10
小計	4,454.53

部屋名	面積 (㎡)
総合展示室	1,553.85
県土の誕生	102.35
いわての夜明け	187.60
いわてのあゆみ	743.20
庶民のくらし	210.00
いわての今	310.70
いわて文化史展示室	489.07
ミニプラザ(1)	210.42
ミニプラザ(2)	129.50
特別展示室	292.20
映像室	124.00
No.4 便所	30.11
体験学習室	217.17
厨房	54.93
休憩室	160.08
休憩室便所	10.98
厨房事務室	10.24
厨房便所	4.16
食品庫	6.90
グランドホール	213.66
階段・廊下・その他	618.20
小計	4,125.47
塔屋	133.44
合計	12,051.56

- 展示面積 3,404.31 ㎡
- 収蔵庫面積 1665.98 ㎡
- 学芸調査室 236.04 ㎡
- 研究室 274.91 ㎡

3 博物館協議会

岩手県立博物館協議会は、館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し調査審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置されている。令和7年度の開催期日・協議事項は次のとおりである。

- 期日：令和8年1月28日（水）
- 場所：岩手県立博物館教室
- 報告・協議事項
 - ・ 会長選任
 - ・ 令和6年度 岩手県立博物館協議会の意見等への対応状況について
 - ・ 令和7年度 岩手県立博物館 事業実施状況について
 - ・ 令和8年度 岩手県立博物館 事業計画(案)について

岩手県立博物館協議会委員名簿

委員任期 令和7年 6月23日 ～令和9年 6月22日

公募委員 令和7年12月23日 ～令和9年12月22日

氏名	職名	分野
山本 一行	盛岡市立北厨川小学校長	学校教育 県小学校長会
熊谷 治久	盛岡市立下橋厨川中学校長	学校教育 県中学校長会
川崎 広幸	岩手県立盛岡第四高等学校長	学校教育 県高等学校長協会
桂川いづみ	岩手県青年団体協議会会員	社会教育
佐藤 洋子	特定非営利法人 岩手県地域婦人団体協議会副会長	社会教育
福田 育英	一般社団法人岩手県PTA連合会副会長	社会教育
森本 陽	奥州市牛の博物館主任学芸員	学識経験者 県博物館等連絡協議会
太田 厚子	滝沢市教育委員会教育長	学識経験者 県市町村教育委員会協議会
細田 清	(株)岩手日報社編集局次長兼記事審査部長兼論 説委員会委員	学識経験者
鈴木 正貴	岩手県立大学准教授	学識経験者
酒井 宗孝	花巻市教育委員会文化財課 文化財専門官	学識経験者
山本 玲子	啄木研究家（元石川啄木記念館学芸員）	学識経験者
石川 京子	盛岡ふるさとガイドの会副会長兼事務局長	学識経験者
佐藤 祐子	元博物館友の会会員	学識経験者
松本 勝徳	田老和心会特別養護老人ホーム ふれあい荘施設長	公募委員

(令和8年3月31日現在)

4 予算

(単位:千円)

項目	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
管理運営費	170,462							
総務企画調整費	5,243	3,759	4,172	3,945	3,782	5,317	4,471	3,984
展示活動費	11,673	10,074	7,090	10,826	8,115	3,949	7,443	6,619
資料収集保管活動費	40,319	29,894	27,599	21,846	21,983	22,817	20,911	21,109
調査研究活動費	7,273	7,326	7,585	7,276	7,304	7,556	6,921	6,703
教育普及活動費	1,987	1,633	1,683	1,798	1,558	1,616	1,664	1,770
業務管理費		37,699	34,282	34,155	33,251	32,439	32,122	32,529
指定管理者事業費		127,861	130,034	129,269	132,832	131,395	132,600	130,502
計	236,957	218,246	212,445	209,115	208,825	205,089	206,132	203,216

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総務企画調整費	3,807	3,442	3,882	3,401	3,380	3,328	3,152	4,082
展示活動費	6,811	7,589	9,686	11,321	8,262	6,198	10,095	16,253
資料収集保管活動費	21,446	19,911	20,086	18,304	18,951	18,342	31,125	37,095
調査研究活動費	6,611	5,956	4,986	3,438	3,428	3,460	3,339	3,936
教育普及活動費	1,515	1,295	1,275	444	454	507	493	471
業務管理費	33,880	35,950	36,277	34,449	34,735	32,085	41,130	43,448
指定管理者事業費	130,401	133,050	132,345	134,334	134,146	136,914	138,015	139,213
計	204,471	207,193	208,537	205,691	203,356	200,834	227,349	244,498

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総務企画調整費	4,099	4,671	4,204	4,096	3,556
展示活動費	7,416	5,633	41,691	5,770	5,364
資料収集保管活動費	34,494	33,989	33,602	29,523	25,772
調査研究活動費	3,450	3,685	3,131	3,551	3,375
教育普及活動費	460	440	445	382	379
業務管理費	43,730	47,916	50,787	52,763	52,335
指定管理者事業費	137,271	139,290	141,891	141,769	142,021
計	213,351	235,624	275,751	237,854	232,802

- ※ 1 職員の人件費を除く。
- 2 予算は、いずれも各年度の当初予算であるが、平成27年度は特別展「近代へのとびら」展、平成28年度は特別展「スポーツ博覧会いわて」展開催に係る特別予算を加算した。
- 3 総務企画調整は平成17年度から項目を起こした。
- 4 平成18年度から、指定管理者制度が導入されたことにより業務管理費・指定管理者事業費の項目を起こした。
- 5 令和2年度・3年度予算のうち展示活動費には、40周年特別展の開催経費全体が含まれる。(当該事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年度から3年度に延期となった。)
- 6 令和5年度は特別展「ポケモン化石博物館」展開催に係る特別予算を加算した。

5 事業の概要

(1) 展示活動

開館以来、県民の皆様からの寄贈資料や学芸員が自ら収集した資料をはじめ、入手困難なものについては購入等による資料収集活動を行い、令和7年度（2026年3月31日）までに収蔵された博物館資料の総数は393,083点に達している。その中で常設展示されるものは約2,000点で、他の資料は5つの収蔵庫に保管されている。これらについては、企画展やテーマ展の他、季節や年中行事に合わせた展示替え、トピック展示やコラム展示の際に活用し、多くの県民の目に触れることが出来るよう心がけている。

総合展示室では地質・生物・考古・歴史・民俗の各部門、いわて文化史展示室では考古・歴史・民俗に関する人文系資料、いわて自然史展示室では地質・生物など自然史に関する資料を展示している。この他に、2階のグランドホールやミニプラザでトピック展示を行うなど、展示の機会を増やすよう努めている。

令和7年度の特別展示は、夏期に歴史部門の企画展「星にねがいを一宇宙といわての年代記ー」を、テーマ展は前年度から継続して春期に全部門共通「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」、秋期に民俗部門「いわての酒造り～酒から SAKE への今昔物語～」、冬期に地質部門「石を愉しむ展覧会」、春期に生物部門「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」（翌年度まで継続）を開催した。

企画展「星にねがいを」は、金銅製前立（県指定文化財）、九戸神社妙見菩薩立像、伊能忠敬関連資料（国宝）、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』の原稿、国立天文台の資料、SL 銀河のヘッドマークなど多くの資料を通じて、人と宇宙の関わりから岩手の歴史をひもとく企画展である。星に関する展覧会ということもあり、星空観察会や特別上映会、JAXA 宇宙教室！などの関連行事も多彩で、多くの方が来館された。満足度も高く好評であった。

テーマ展「驚異の部屋」は、普段は展示されない資料や怪奇珍品、蒐集資料などを一堂に集め、自由に展示したものである。当館所有資料の幅広さを知ってもらうとともに、博物館の役割として重要な、日頃の調査研究、資料収集・保管、展示などの博物館活動についても紹介しており、多くの来館があった。

「いわての酒造り」は、南部杜氏を中心としたいわての酒造りに着目し、その歴史や製造技術、岩手の酒文化などについて展示・紹介したものである。2024年に伝統的酒造りがユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載されたこともあり、興味深く見学された方が多かった。また、酒蔵見学会にて酒蔵周辺の街歩きを加えたことにより、面として酒造りが理解できたという声もあった。

「石を愉しむ展覧会」は、石が持つ様々な側面を紹介し、その魅力に触れてもらい、「愉しむ」をキーワードにした展示である。岩絵具で描く絵馬づくりをはじめとしたワークショップも好評で、多くの方に来館いただいた。

なお、「驚異の部屋」「星にねがいを」「石を愉しむ展覧会」では展覧会期間中に館外施設でサテライト展示を行ったことは特筆される。当該施設には御協力に感謝申し上げます。

「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」でも様々なイベントを企画しているが、3月28日開幕のため詳細は次年度に譲る。本年度の特別展示の詳細については16～24ページを参照頂きたい。

トピック展（僅かな展示ケースの小規模な展覧会）は17回、常設展示の展示替えは31回行った。季節に応じた展示や展覧会関連のものが多いが、各部門から特筆するものを挙げる。

地質部門では国際誌に受理されたアンモナイト類の研究結果の公開に合わせて、「洋野町のアンモナ

イトと貝化石」を開催した。生物部門では令和7年秋のツキノワグマ市街地出没頻発を受け、「緊急企画！ ツキノワグマってどんな動物？」を開催した。来館者の関心も高く、子ども向け解説で触察可能な剥製も展示した。考古部門では在野の研究者であった高橋昭治氏から調査資料を当館に寄贈されていたが、令和8年1月に逝去されたことから、「追悼展示 高橋昭治二コレクション」を開催した。歴史部門では、全国の毛皮獣養殖を調査している上智大学の研究者から、その成果を発表する場の提供依頼を受け、「忘れ去られたケモノたち 農林省毛皮獣養殖所と滝沢」を開催した。博物館で学ぶ岩手の歴史講座の特別講座ともなっており、マスコミからの取材も多かった。民俗部門では公益財団法人水・地域イノベーション財団助成事業による研究成果を公表するものとして、比較的大規模なトピック展「岩手の川と釣り文化」を開催した。当館外のもりおか町家物語館 DOMA でも出張展示を行っており、好評を博した。詳細は25ページを参照頂きたい。

このように、特別展示ばかりでなく、トピック展においても多彩な展示活動を行っているので、今後も継続してまいりたい。

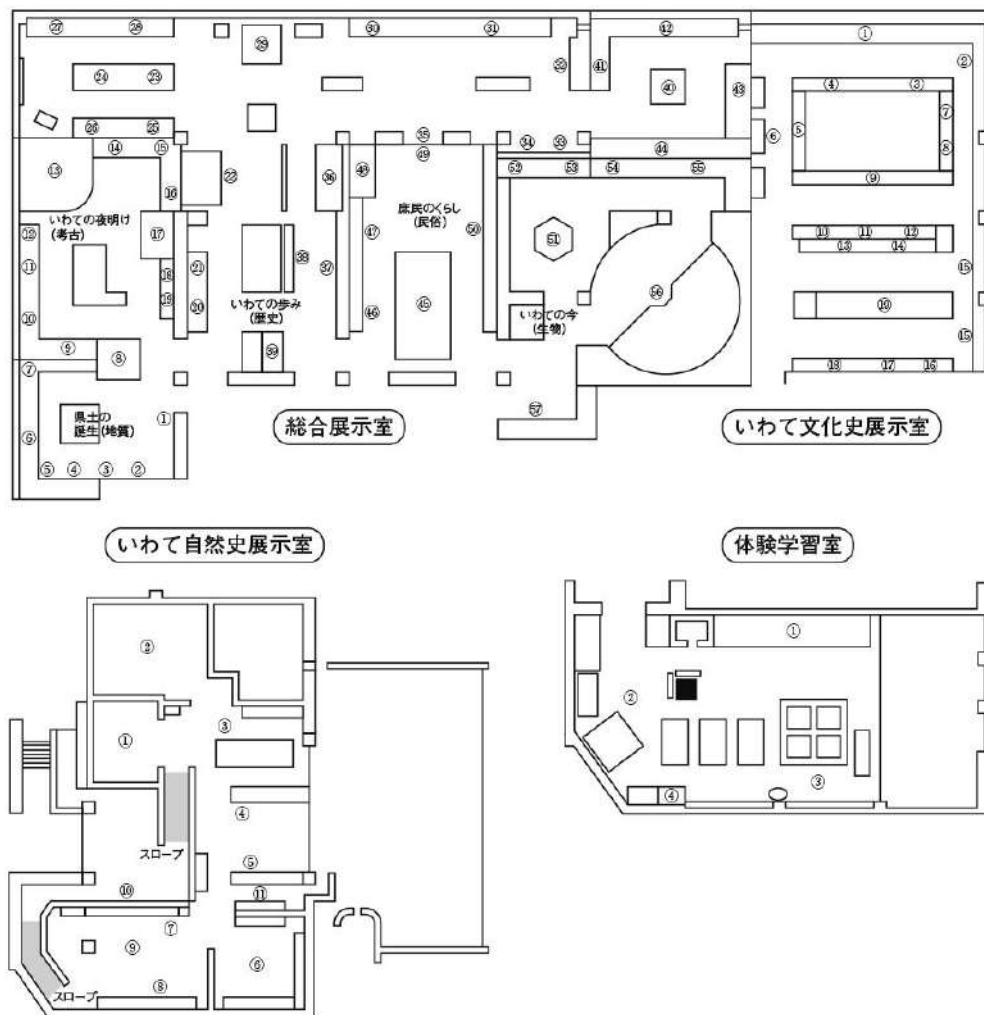


図5. (1)-1 展示室配置図

ア. 展示構成

エントランスホール

- ・兜跋毘沙門天立像
- ・モシリユウとマメンキサウルス
- ・岩手山の眺望

総合展示室

- 県土の誕生(地質)
 - 1 県土のおいたち
 - (1) 東北地方の地下断面
 - (2) 気仙隕石
 - (3) 岩手県の地質と岩石
 - 2 いわたの古生物相の変遷
 - (4) 生命史以前
 - (5) 古生代の生きもの
 - (6) 中生代の生きもの
 - (7) 古第三紀～中生代の生きもの
 - (8) 鮮新世～第四紀の生きもの
- いわたの夜明け(考古)
 - 3 旧石器時代
 - (9) 氷河期の人びと
 - 4 土器の時代
 - (10) 岩手の縄文土器
 - (11) 貝塚の形成
 - (12) 埋葬と装飾品
 - (13) 縄文人の暮らし
 - (14) 大洞文化
 - 5 稲作を始めた時代
 - (15) 弥生文化と岩手
 - 6 古墳を築いた時代
 - (16) 拓かれる北上平野
 - (17) 群集墳
 - (18) 集落と住居
 - (19) 生産技術の変革
- いわたの歩み(歴史)
 - 7 蝦夷から奥州藤原氏へ(古代)
 - (20) 古代の城柵
 - (21) 安倍氏の台頭
 - (22) 奥州平泉とその文化
 - 8 戦乱の時代とその文化(中世)
 - (23) 文治五年奥州合戦
 - (24) 豪族たちの動きと庶民
 - (25) 新しい仏教文化
 - (26) 九戸政実の乱
 - 9 藩政時代の人々(近世)
 - (27) 藩政の確立
 - (28) 凶作と一揆
 - (29) 盛岡城と町づくり
 - (30) 産金と製鉄
 - (31) 南部と馬

- (32) 街道と舟運
 - (33) 藩学と寺子屋
 - (34) 先駆者たち
 - (35) 維新前夜
- 10 進む近代化(近代)
 - (36) 生活の洋風化
 - (37) 岩手県の誕生
 - (38) 明治時代から大正時代へ
 - (39) 太平洋戦争
 - 11 古美術
 - (40) 鐺
 - (41) 絵画・工芸
 - (42) 刀剣
 - (43) 絵画・工芸
 - (44) 絵画
 - 庶民の暮らし(民俗)
 - 12 家の暮らし
 - (45) いろいろ
 - (46) 正月の行事
 - (47) 庶民の信仰
 - 13 働く人びと
 - (48) 農村の人びと
 - (49) 漁村の人びと
 - (50) 山村の人びと
 - 14 まつりと芸能
 - いわたの今(現勢・生物)
 - 15 わたしたちの郷土いわた
 - (51) 岩手県の地勢
 - (52) 岩手の四季
 - (53) 県の鳥・木・花
 - (54) 岩手の風土
 - 16 岩手の生き物
 - (55) 山や川の生き物
 - (56) イヌワシの山
 - (57) 三陸の海

いわた自然史展示室

- (1) 大地の中の小さな輝き
— 鉱物コレクション —
- (2) 地球史の中の岩手
- (3) 早池峰山の自然
- (4) 東日本大震災と
被災文化財等救援活動
- (5) 山と森の生きもの
- (6) 里と川の生きもの
- (7) 浜と海の生きもの

- (12) トピック展コーナー
- (13) 東日本大震災と
被災文化財等救援活動

いわた文化史展示室

考古

- (1) 岩手の土器
- (2) 北上山系の洞穴遺跡
- (3) 岩手の石器と鉄器
- (4) 三陸の貝塚
- (5) 豊岡遺跡
- (6) 柳之御所遺跡

歴史

- (7) 近代
- (8) 災害の歴史
- (9) 信仰
- (10) 近世
- (11) 農林省毛皮獣養殖所
- (12) 中国古印

民俗

- (13) 森口多里コレクション
- (14) オンラサマ
絹と麻・いわたの養蚕
- (15) いわたの暮らし
- (16) いわたの民芸
- (17) 郷土料理
- (18) 南部絵巻
- (19) むかしの暮らし大図鑑

体験学習室

- (1) 身につける
鎧、ドレス、野良着等
- (2) ためす
虫の鳴き声ボックス、機織等
- (3) あそぶ
かるた、板がえし等
- (4) よむ

屋外展示

民家

- ・直屋 旧藤野家住宅(重文)
奥州市江刺区伊手御堂
- ・曲屋 旧佐々木家住宅(重文)
下閉伊郡岩泉町指畑

散策広場

- ・植物園
県内の植物等 345 種
- ・岩石園
火山岩、変成岩、堆積岩 49 種

イ. 常設展示の展示替え及び展示コーナー

長期間の展示による資料の劣化や退色の防止、および季節や年中行事などに合わせた展示とするため、常設展示では不定期に展示替えを行っている。さらに、企画展やテーマ展に間接的に関わる資料や、夏休み・冬休みに合わせた子供向けの資料などをトピック展示した。

表 5. (1)-1 令和7年度の主な展示替え・トピック展

No.	担当	展示場所	種別	テーマ	展示資料	期日
1	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の暮らし」	トピック展	端午の節供	武者人形4組6点、土人形17点、着物1点 計24点	令和7年4月1日～6月1日
2	民俗 (川向)	いわて文化史展示室	展示替え	おしらさま	おしらさま 計6組	令和7年4月8日～
3	民俗 (川向)	いわて文化史展示室	トピック展	驚異の部屋 ANNEX	鉄造異形神像懸仏、天保五年田山暦 計2点	令和7年4月8日～5月25日
4	地質 (望月)	いわて自然史展示室	展示替え	地質	魚類の歯、サメの歯、魚類の鱗 計3点	令和7年4月9日～
5	歴史・民俗 (久保・工藤・川向)	総合展示室「古美術」	展示替え	桜	掛幅3点、漆器3点 計6点	令和7年4月11日～6月1日
6	考古 (米田)	いわて文化史展示室	トピック展	平安時代の須恵器	須恵器 計12点	令和7年4月15日～7月12日
7	生物 (高橋)	いわて自然史展示室「山と森の鳥たち」	展示替え		夏鳥本剥製8種8体(冬鳥本剥製8種9体と入替)	令和7年4月17日～10月11日
8	生物 (高橋)	総合展示室「現勢」	展示替え	果実を食べて種を運ぶ鳥	鳥類本剥製5種5体(森の中の夜行性の鳥類の鳥類本剥製3種3体と入替)	令和7年4月22日～常設
9	民俗 (戸根)	総合展示室「庶民の暮らし」	—	製炭、漆掻き、狩猟コーナー	解説パネル3枚新設	令和7年5月5日～常設
10	民俗 (戸根)	いわて文化史展示室	—	無形文化遺産	解説パネル2枚更新(伝統的酒造り追加)	令和7年5月5日～常設
11	地質 (望月)	ミニプラザ	トピック展	洋野町のアンモナイトと貝化石	解説パネル5枚、洋野町産アンモナイト化石9点ほか	令和7年5月17日～6月8日
12	歴史 (久保)	総合展示室「いわての歩み」	展示替え	南部家の武具	金小札茶糸緘二枚 胴具足	令和7年5月19日～常設
13	考古 (金子)	いわて文化史展示室	展示替え	岩手の土偶	土偶16点	令和7年5月20日～常設
14	民俗 (川向)	いわて文化史展示室	展示替え	いわての暮らし(夏秋)	森口多里写真コレクション 計12点	令和7年5月27日～11月18日
15	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	南部家にまつわる資料	掛幅3点、漆器1点	令和7年6月2日～10月7日
16	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の暮らし」	トピック展	夏に活躍する道具	かき氷関係道具18点、衛生害虫捕獲道具4点 計22点	令和7年6月3日～8月31日
17	考古 (金子)	総合展示室「いわての夜明け」	—	ここに注目!(縄文時代の動物形土製品)	展示解説1枚のみ	令和7年6月18日～9月18日

18	普及 (米田)	体験学習室	トピック展	たなばたかざり	笹竹4本 短冊等	令和7年7月1日 ～8月29日
19	考古 (金子)	いわて文化史展示室	展示替え	岩手の土偶	土偶1点(追加)	令和7年7月9日 ～常設
20	地質・考古 (望月・ 米田)	総合展示室「いわて の夜明け」	展示替え	更新世の動物群	ステップバイソン 頭骨ほか 計6点	令和7年7月11日 ～
21	考古 (高木)	いわて文化史展示室	トピック展	縄文時代の注口土 器 お酒を注いだう つわ?	縄文土器 14点	令和7年7月13日 ～12月7日
22	地質 (望月)	いわて自然史展示室	トピック展	岩手と世界のアン モナイト	標本 20点	令和7年7月19日 ～8月31日
23	生物 (渡辺)	いわて自然史展示室	トピック展	岩手と世界のカブ トムシ・クワガタム シ	標本 215点	令和7年7月19日 ～8月31日
24	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の 暮らし」及びグラン ドホール	—	えんぶり、チャグ チャグ馬コ (※県立雫石高等 学校職場体験メニ ュー)	解説パネル 3枚更 新	令和7年7月30日 ～常設
25	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	屏風	六曲一双 「群鶴図 屏風」本堂蘭室筆	令和7年8月23日 ～常設
26	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の 暮らし」	展示替え	まいりのほとけ	掛幅「六字名号」1点	令和7年9月11日 ～
27	生物 (高橋)	総合展示室「イヌワ シの森」	展示替え		大型猛禽類本剥製3 種 3体を追加	令和7年9月13日 ～常設
28	歴史 (工藤)	総合展示室	展示替え	秋の彼岸特別展示	銅造観音菩薩立像 (源勝寺蔵、実物)	令和7年9月20日 ～9月26日
29	生物 (高橋)	いわて自然史展示室 「水田の鳥たち」	展示替え		本剥製 8種 8体(本 剥製 7種 7体と入 替)	令和7年9月21日 ～常設
30	民俗 (戸根)	ミニプラザ	トピック展	戦時統合前の酒造 家資料	前掛け、婚礼用具一 式(筥迫、ピラ簪、 扇子、角隠し)計9 点	令和7年9月27日 ～12月7日
31	歴史 (工藤)	いわて文化史展示室	トピック展	忘れられたケモノ たち 農林省毛皮 獣養殖所と滝沢	毛皮マフラー4点、 毛皮獣養殖関連 27 点、野鳥観察の森ネ イチャーセンター 関連 10点及び施設 チラシ	令和7年10月4日 ～
32	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	描かれた動物たち	川口月嶺 動物絵5 点+柿に鳥蒔絵硯 箱 計6点	令和7年10月8日 ～12月28日
33	生物 (高橋)	いわて自然史展示室 「山と森の鳥たち」	展示替え		冬鳥本剥製8種9体 (夏鳥本剥製8種8 体と入替)	令和7年10月11日 ～常設
34	普及 (米田)	体験学習室	展示替え	車のおもちゃ	合金製 5点	令和7年11月1日 ～常設
35	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の 暮らし」	展示替え	テキスタイル資料	大漁着 2点、野良着 1点、普段着 1点 計4点	令和7年11月7日 ～
36	生物 (鈴木)	いわて自然史展示室	トピック展	緊急企画! ツキノ ワグマってどんな 動物?	ツキノワグマ剥製 成獣2点、幼獣2点、 嬰兒2点、ヒグマ剥 製1点	令和7年11月7日 ～ 令和8年4月17日

37	民俗 (川向)	いわて文化史展示室	展示替え	いわての暮らし(冬春)	森口多里写真コレクション 計10点	令和7年11月19日～
38	民俗 (川向)	総合展示室「庶民の暮らし」	トピック展	冬の暮らし(※文化財等取扱講習会体験メニュー)	夜着、小夜着、竹スキー2点、下駄スケート2点、箱樋 計7点	令和7年11月20日～2月10日
39	考古 (金子)	いわて文化史展示室	トピック展	縄文時代の岩版・土版	岩版・土版13点	令和7年12月10日～
40	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	千田コレクション 罫	千田コレ 罫22点	令和7年12月13日～常設
41	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	午年の古美術品	川口月嶺 馬関係 絵図5点、南部家「亀甲花菱紋鶴高蒔絵鞍・鏡」1点	令和8年1月4日～3月中旬
42	考古 (高木)	ミニプラザ	展示替え		豊岡遺跡 壺1点 (高見遺跡浅鉢と入れ替え)	令和8年1月10日～常設
43	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	南部鉄器	南部鉄器2点 南部駒函鉄瓶、松皮肌鉄瓶	令和8年2月1日～常設
44	民俗 (近藤)	総合展示室「庶民の暮らし」	トピック展	ひな人形	土人形、くくり雛、享保雛ほか 54点	令和8年2月11日～3月29日
45	民俗 (近藤)	グランドホール・ミニプラザ	トピック展	岩手の川と釣り文化	盛岡竿、ウキの試作品、飢饉考など	令和8年2月17日～3月15日
	民俗 (近藤)	(もりおか町家物語館 DOMA)	トピック展	岩手の川と釣り文化	盛岡竿、毛鉤、ウキの試作品など	令和8年3月19日～3月22日
46	考古 (米田)	いわて文化史展示室	トピック展	追悼展示「高橋昭治コレクション」	パンフレット2点、縄文土器16点、旧石器4点、土師器8点、近世陶器1点、焼き台3点	令和8年2月25日～
47	歴史 (久保)	総合展示室「古美術」	展示替え	山口清房 太刀	盛岡住山口清房作之 賜第十九回高松宮賞太刀1振	令和8年3月1日～常設

※平成24年度から各部門4回以上のトピック展・展示替えの実施を努力目標としている。

ウ. 特別展示の概要

予定どおり、下記の企画展とテーマ展を実施した。

表5. (1)ー2 令和7年度の特別展示

種別	名称	会期	年度会期中の 来場者数
テーマ展	驚異の部屋 ～博物館の珍品・お宝大集合～	令和7年3月29日(土)～5月18日(日)	7,278 (R7:6,921)
企画展	星にねがいを —宇宙といわての年代記—	令和7年6月14日(土)～8月17日(日)	8,460
テーマ展	いわての酒造り ～酒から SAKE への今昔物語～	令和7年9月27日(土)～12月7日(日)	7,879
テーマ展	石を愉しむ展覧会	令和8年1月10日(土)～3月8日(日)	6,965
テーマ展	岩手の絶滅危惧種と ネイチャーポジティブ	令和8年3月28日(土)～5月24日(日)	402

展覧会実施日数：217日／開館日303日 展覧会の年度会期中の来場者数：30,587名

(ア) テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」



16～18世紀のヨーロッパでさかんにつくられた「ヴンダーカンマー」（ドイツ語で Wunderkammer、意味：驚異の部屋）。ここでは、動植物の標本、美術品や貴重品、奇怪なコレクションなどが多数陳列されていた。この「驚異の部屋」は今日の博物館の原型ともいわれている。今回は、何でもありの展示室「驚異の部屋」を模して、岩手県立博物館にある珍品怪奇な資料、高額な資料、ちょっと危ない資料を一堂に展示した。

[会期] 令和7年3月29日(土)～5月18日(日)、開催日数51日

[会場] オザワ工業ギャラリー(特別展示室)、いわて文化史展示室

[会期中の来館者数] 7,263名(4月1日～6,906名)

[展示内容] 展示資料 250点 写真・図 45点

プロローグ 「museum(ミュージアム)」・博物館の始まり～

「ヴンダーカンマー(驚異の部屋)」とは?岩手県立博物館の歴史をたどります。

<主な資料>「東方見聞録」(復刻本)、「内国勧業博覧会図」、「倭漢三才図会」ほか。

第1章 驚異の部屋 ～怪奇珍品・これは一体何ですか!?!～

謎、珍奇な資料を各部門から展示

<主な資料>地質:異常巻アンモナイト、三葉虫、アスピデラ、考古:八木貝塚出土石剣、民俗:経緯儀、生物:ジャイアントパンダの糞、蚕体解剖模型ほか。

第2章 高額な部屋 ～必見!高額資料～

評価額などが高額な資料を展示

<主な資料>考古:カワシンジュガイ真珠玉、歴史:享保大判金、太刀(助真)※古美術展示室展示、鯰尾兜(燕尾形兜)、民俗:金銀細工(小山和吉作金銀細工指輪)、生物:象牙ほか。

第3章 蒐集の部屋 ～執念のコレクション～

昆虫化石や中国古印コレクション、縄文柴犬頭蓋骨、外国産昆虫標本などを展示

第4章 危険な部屋 ～ヤバイ資料たち・毒、武器、迷信!?!～

毒、武器、書いてあることがヤバイ資料を展示

<主な資料>地質:ムカシオオホホジロザメの右下顎歯、生物:毒キノコ類、メガネカイマン、歴史:幽霊の図(川口月嶺下絵)、短刀(手柄山甲斐守正義)、民俗:巫女の道具、狼駆除の毒薬ほか。

第5章 学芸員の部屋

「〇〇学芸員の調査部屋」～私、こんな調査研究しています～

★トピック展 「剥製と骨の部屋」

人体骨格標本、ヒグマ、ツキノワグマ、ゾウ頭骨などを展示

エピローグ ～プライスレスな資料たち～

貴重な資料を未来に残すための博物館の取り組みを紹介

[関連事業]

1. 展示解説会 (計4回)

① 展示解説会Ⅰ (大人向け) 14:30-15:30 4月6日(日)25名、4月19日(土)21名

② 展示解説会Ⅱ (こども向け) 14:30-15:00 4月26日(土)8名、5月5日(月・祝)20名

※協力: kawagarasu craft 代表・千葉照雄氏

2. GW子ども向けイベント

① 鳥の羽のしおりづくり (事前予約制)

内容: 鳥の剥製や羽を観察し, 羽をラミネートしてしおりづくり

令和7年5月3日(土) 午前の部 10:00~ 10名、午後の部 13:00~ 9名

② 化石のクリーニング体験 (事前予約制)

内容: 化石のクリーニングをとおして学芸員の仕事を体験

令和7年5月6日(火) 午前の部 10:00~19名、午後の部 13:00~18名

3. 県博日曜講座 (計3回 各 13:30~15:00 講堂)

① 令和7年4月13日(日) 参加者42名

演題: テーマ展・驚異の部屋鑑賞ガイド~博物館ってこんな物も所蔵しています~

講師: 近藤良子(当館)

② 令和7年4月27日(日) 参加者31名

演題: 宝探し! 魅惑の昆虫標本室

講師: 渡辺修二(当館)

③ 令和7年5月11日(日) 参加者32名

演題: 「驚異の部屋」を守る~県博の文化財科学~

講師: 丸山浩治(当館)

4. 展示会付帯イベント: サテライト展示「“裏” 驚異の部屋 ~総合博物館のおもしろさを知る~展」

場所: 書肆みず盛り (盛岡市南大通1丁目12-18)

日程: 令和7年4月16日(水)~5月11日(日)

内容: ① テーマ展関連資料: 岩石・化石・昆虫標本、マタギ衣装、火縄銃等の展示

② トークイベント「書肆みず盛りの知りたい世界」

日程: 令和7年4月27日(日)17:00~19:00

[印刷物]

ポスター B2判カラー 500部 チラシ A4判両面カラー 22,000部

[主担当] 近藤 良子 (主任専門学芸員)

(イ) 第74回企画展「星にねがいを一宇宙といわたの年代記」

「人と星や宇宙との関わりの歴史」を切り口として、岩手県域で展開した歴史を通史的にたどるなかで、郷土の歴史のユニークさ、ゆたかさを再確認するとともに、宇宙や星にまつわる現代的な諸事象の歴史的背景について紹介した。

[会期] 令和7年6月14日(土)～8月17日(日)

実開催日数 59日

[会場] オザワ工業ギャラリー(特別展示室)

[会期中の来場者数] 8,460名

[展示内容] 資料点数: 143点



序章 星にねがう

「星めぐりの歌」とともに、2011年3月11日に撮影された東北の星空や、同曲に登場する天体の画像などを提示する映像作品を上映し、導入とする。

<主な資料>オリジナル映像(大型モニターで投影)

1章 星をまつる

坂上田村麻呂の到来以降、極北の地において展開した北の護り神への信仰に北の星に対する信仰が重なっていく過程を軸に、岩手県の古代史を俯瞰する。

<主な資料>達谷窟毘沙門堂木造毘沙門天立像、黒石寺鬼子登り衣装、興田神社金銅製前立

2章 星をまとう

星への信仰との関わりを中心に、中世の岩手県域周辺で台頭した千葉氏、南部氏、伊達氏といった中世武士団の動向を紹介する。

<主な資料>九戸神社妙見菩薩立像、紙本著色千葉妙見大縁起絵巻(複製)、銀装衛府太刀拵

3章 星をはかる

渋川春海らによる天文学・暦法の開拓とその展開、その成果の一つである伊能図の成立と岩手との関わりといった視点から近世天文学の発展を概観する。

<主な資料>伊能忠敬関連資料(国宝)、貞享暦、星座石(複製)、気仙隕石破片

4章 星にせまる

相馬大作→田中館愛橘→木村榮という岩手に縁の深い学系により、日本の近代天文学が世界的な達成を遂げるまでの過程をたどる。

<主な資料>相馬大作佩刀、眼視天頂儀、木村榮Z項論文、田中館愛橘絶筆原稿

5章 星をめぐる

「銀河鉄道の夜」、「鳥の北斗七星」に焦点化し、宮沢賢治が描いたコスモロジーの社会的背景としての岩手の近現代史像を提示する。

<主な資料>三省堂星座早見(宮沢賢治が使用したものと同型)、国譯妙法蓮華経、「日輪と山」

終章 星といきる

現在の岩手県において、地域の活性化に貢献している宇宙関連事業とその史的前提を合わせて紹介することで、循環する人のいとなみと歴史のダイナミズムを伝える。

<主な資料>SL 銀河ヘッドマーク、人工衛星 YODAKA(模型)、宇宙空間における細胞培養実験機器

[関連事業]

1. 展示解説会 (計2回)

- ① 令和7年6月14日(土) 13:30~14:30 参加者 5名
- ② 令和7年8月9日(土) 13:30~14:30 参加者 25名

2. 県博日曜講座

- ① 令和7年6月22日(日) 13:30~15:00 講堂 参加者 41名
演題:「草稿から作品を見つめる」
講師:宮澤明裕氏(宮沢賢治記念館)
- ② 令和7年7月13日(日) 13:30~15:00 講堂 参加者 51名
演題:「もうひとつの『星にねがいを』展—展示しそこねたものがたりたち—」
講師:目時和哉(当館)
- ③ 令和7年7月27日(日) 13:30~15:00 講堂 参加者 47名
演題:「世界の中の岩手—星と暦と人—」
講師:工藤健(当館)
- ④ 令和7年8月10日(日) 13:30~15:00 講堂 参加者 119名
演題:「緯度観測からブラックホールへ—岩手から探る宇宙の謎」
講師:本間希樹氏(国立天文台水沢 VLBI 観測所)

3. ミュージアムシアター

- ① 令和7年7月5日(土) 13:30~ 講堂 参加者 37名
「銀河鉄道の夜」(対象:一般、48分)
- ② 令和7年8月2日(土) 13:30~ 講堂 参加者 18名
「グスコブドリの伝記」(対象:幼児以上、85分)

4. 展示会付帯イベント

① 星空観察会

会場:当館講堂及び芝生広場

日程:令和7年8月2日(土) 19:00~21:00

内容:講師(星空ナビゲータ ホシミネスカ)を招いて行う星空の観望会。40名参加。

② 特別上映会

会場:当館映像室

日程:令和7年7月19日(土)、21日(月・祝)、8月11日(月・祝)、16日(土)、
17日(日) 14:00~14:45

内容:仙台市天文台制作によるプラネタリウム作品「星よりも、遠くへ」の上映会。
のべ168名参加。

③ JAXA 宇宙教室!

会場:当館講堂

日程:令和7年8月9日(土) 14:30~15:30

内容:JAXA 職員石毛智子氏による、宇宙を舞台にした仕事の実際についての講演会。

<主な資料>盛岡藩『雑書』(県指定文化財)、『増補行程記』(以上もりおか歴史文化館)、『秘伝名酒造法』(花巻市博物館)ほか。

第3章 酒を造る

酒を造るにあたり必要となる原料、道具、記録等を工程に沿って紹介。

<主な資料>酒米、麴、精米サンプル(以上岩手県工業技術センター)、大国神社酒造図絵献額(盛岡市指定文化財)(盛岡市大国神社)、「南部杜氏」映像(国立歴史民俗博物館)、製造工程パネル ほか。

コラム 近現代の酒造行政

近現代には自家醸造禁止令や戦時中の酒造会社統合があった。また醸造技術を高めるために県に試験研究機関が設置された。これらをコラムとして紹介。

<主な資料>「税務署長の冒険」原稿(花巻市宮沢賢治記念館)、一紙物「濁酒密造予防に関する注意」(当館) ほか。

第4章 酒を売る

酒の販売や宣伝等に関する資料を紹介。

<主な資料>引札(藤正宗)、売掛札(以上、喜久盛酒造(株))酒票(石鳥谷歴史民俗博物館)ほか。

第5章 暮らしと酒

祭礼や冠婚葬祭等、日本酒は普段の暮らし、日本文化と不可分であり、その中で使用される道具や信仰等について紹介。

<主な資料>陸奥の土風(二戸市指定文化財)(個人)、三々九度用盃、提子、土人形「祝い酒」、鳩徳利(以上、当館)、松尾神社(盛岡市)写真パネルほか。

エピローグ いわたの酒造りのこれから

東日本大震災などの自然災害における酒蔵間の協力、岩手の酒蔵において現在活躍する杜氏などを紹介。

<主な資料>被災した四斗樽(酔仙酒造(株))、岩手で活躍する杜氏のコメントパネル(赤武酒造(株)、岩手銘醸(株)、菱屋酒造店(株)、(株)福来、(有)月の輪酒造店)

〈併設〉もりおか角打ちものがたり

2023年に閉店し、当館に寄贈された資料を使用して、平興酒店の角打ちスペースを展示室内に再現するとともに、盛岡市内にある角打ちのお店を紹介。

[関連事業]

1. 展示解説会(計5回)

- ① 令和7年9月27日(土) 14:30~15:30 参加者11名(大人向け)
- ② 令和7年10月13日(月) 11:00~11:30、15:00~15:30 参加者計6名(子ども向け)
- ③ 令和7年10月26日(日) 15:10~16:00 参加者11名(大人向け) ※県博日曜講座から連続
- ④ 令和7年11月29日(土) 15:00~16:00 参加者15名(大人向け)

2. 県博日曜講座

- ① 令和7年10月26日(日) 13:30~15:00 講堂 参加者18名
演題: いわたの酒造りの展示から

講師：戸根貴之（当館）

② 令和7年11月9日（日） 13:30～15:00 講堂 参加者 29名

演題：江戸の酒を読む—物語に見る酒の文化—

講師：畑 有紀氏（名城大学外国語学部准教授）

3. 文化講演会

令和7年11月3日（月・祝） 13:30～15:30 講堂 参加者 70名

演題：「いわての酒造り技術について ～酒米・酵母・麴のお話～」

講師：山下 佑子 氏（岩手県工業技術センター）

演題：「いわての日本酒との関わりについて」

講師：藤村 恵一 氏（株式会社エフエム岩手）

質疑応答・パネルディスカッション

登壇者：山下佑子氏、藤村恵一氏、戸根貴之

4. 展示会付帯イベント

いわての酒蔵見学会（(株)あさ開昭和旭蔵見学及び鉾屋町周辺散策

開催日時：令和7年10月18日（土） ①午前10:30から ②午後2時からの2回開催

参加者 17名

5. トピック展「戦時統合前の酒造家資料」

昭和19年（1944）に、戦時統合により気仙酒造が設立されたが、統合前の酒造店のひとつ、佐々木酒造店の「前掛け」及び「婚礼道具」が最近発見された。所有者から資料を借用することができたので、本テーマ展に合わせ、当館ミニプラザにて紹介した。

[印刷物]

ポスター B2判片面カラー 500枚 チラシ A4判両面カラー 10,000枚

[主担当] 戸根 貴之（学芸普及課長）

（エ）テーマ展「石を愉しむ展覧会」

石（岩石と鉱物）にスポットを当て、「愉しむ」という言葉をキーワードに、石が持つ様々な側面を紹介しその魅力に触れて欲しいという思いで企画した。石本来の形や色に魅力をもつ石や、誕生石を例に輝く宝石、私たちの生活を支えている金属を含む石など、石本来の姿から資源に至るまで、石が持つ面白さを提供した。

[会期] 令和8年1月10日（土）～3月8日（日）開催日数 58日間

[会場] オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）

[会期中の来館者数] 6,965名



[展示内容] 展示資料 550 点

- (1) はじめに (2) 光る石 (3) 魅力的な石 (4) 石英のなかま (5) 石が生まれる場所
(6) 石の色 (7) 金属を含む石 (8) 県の石 (9) 石材 (10) 教科書に載る石
(11) 磁石につく石 (12) 誕生石 (13) 個性的な石 (14) 人工的な石

※協力機関・個人：青森県立郷土館 秋田大学大学院附属鉱業博物館 西和賀町歴史民俗資料館
山形県立博物館 花立ゆかり氏

[関連事業]

1. 展示解説会 (計 2 回)

- ① 令和 8 年 1 月 17 日 (土) 13 : 30 ~ 14 : 30 参加者 17 名
② 令和 8 年 2 月 21 日 (土) 13 : 30 ~ 14 : 30 参加者 20 名

2. 県博日曜講座 (13 : 30 ~ 15 : 00 講堂)

令和 8 年 2 月 8 日 (日) 参加者 47 名

演題：収蔵地質標本の産地を巡ってⅡ～テーマ展にも触れながら～

講師：佐藤修一郎 (当館)

3. ワークショップ 講師：花立ゆかり氏 (岩手県日本画協会会長)

- ① 【事前予約制】「岩絵具で描く絵馬づくり」 参加者 10 名

令和 8 年 1 月 24 日 (土) 10 : 00 ~ 12 : 00

対象：小学生以上 会場：実技室

- ② 【随時受付】「日本画の絵具でお絵描き体験」 参加者 32 名

令和 8 年 1 月 24 日 (土) 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分

対象：幼児以上 会場：サービスコーナー

4. サテライト展示

令和 8 年 1 月 21 日 (水) ~ 2 月 15 日 (日)

場所：書肆みず盛り (盛岡市南大通り一丁目 12 - 18 松栄館 2 階)

[印刷物]

ポスター B 2 判カラー 500 部 チラシ A 4 判両面カラー 11,000 部

[主担当] 佐藤 修一郎 (主任専門学芸調査員)

(オ) テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」

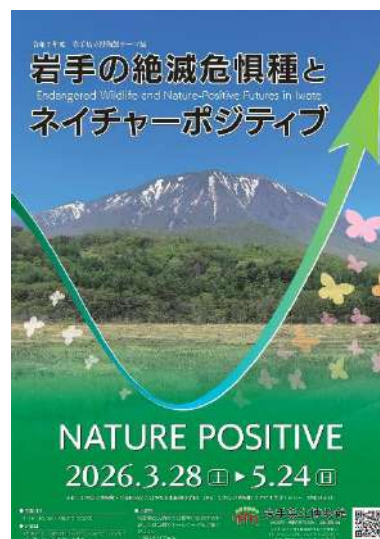
岩手の生物多様性が失われつつある現状を紹介するとともに、自然を回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を実現するために、私たちに何ができるのかを考えるきっかけとなることを目指して開催した。

[会期] 令和8年3月28日(土)～5月24日(日)

令和7年度中の開催日数3日間

[会場] オザワ工業ぎやらりー(特別展示室)

[会期中の来館者数] 402名(令和7年度)



[展示内容] 展示資料 488点

第1章 生物多様性とは

第2章 岩手の生物多様性の現状

第3章 岩手のネイチャーポジティブ

第4章 岩手の自然を次世代に繋ぐために

[協力機関・個人]

一般社団法人 久保川イーハトーブ自然再生研究所 大小迫つむぎの家 金ヶ崎町生活環境課
宗教法人 知勝院 書肆みず盛り 積水メディカル株式会社 北越コーポレーション株式会社
盛岡セイコー工業株式会社 澤崎なのは 澤崎わかな 鈴木正貴

[関連事業]

1. 展示解説会

① 3月29日(日) 13:30-14:30 20名

[印刷物]

ポスター B2判カラー 500部 チラシ A4判両面カラー 11,000部

[主担当] 渡辺 修二(主任専門学芸員)

(カ) トピック展「岩手の川と釣り文化」

公益財団法人水・地域イノベーション財団助成事業による研究成果を公表した。盛岡に伝わる「盛岡竿」と、川の流れを利用する「盛岡市式流し毛鉤」を「川の流れを読む文化」として紹介する展示。2024年度から岩手大学と岩手県立博物館が共同研究し、ウキの最適な流れの可視化や製作工程の記録、新出資料等の研究成果を紹介した。

[会期] 令和8年2月17日(火)～3月15日(日)

開催日数 24日

[会場] グランドホール、ミニプラザ

[協力] 石澤和竿毛鉤工房 認定NPO法人日本釣り環境保全連盟
国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所



[展示内容] 展示資料 54点 写真・図 25点

ウキの3D模型、盛岡竿(溪流竿・研ぎ出し)、タナゴ竿、盛岡式流し毛鉤、テンカラ竿、釣具、和竿制作道具、生分解ハードルアー試作品、研究成果・認定NPO日本釣り環境保全連盟活動パネル報告、研究成果(動画)テレビモニター上映

[関連事業]

1. 出張展示会

日時: 令和8年3月19日(木)～3月22日(日)

場所: もりおか町家物語館 DOMA、入館料無料

入館者: 53名

2. シンポジウム「盛岡竿と盛岡式流し毛鉤 ～岩手の川と釣り文化～」

日時: 令和8年3月8日(日) 13:30～15:00

場所: 講堂、参加者: 75名

講師: 三好俊樹氏(盛岡竿職人)、田中貴光氏(岩手大学理工学部教授)、小笠原俊樹氏(岩手大学理工学部教授)、近藤良子

3. 和竿制作の実演会

日時: 令和8年3月8日(日) 10:00～16:30、場所: グランドホール

講師: 三好幸喜氏(和竿職人、石澤和竿毛鉤工房)

[印刷物] チラシ A4判片面カラー 5,000部

[主担当] 近藤 良子(主任専門学芸員)

(2) 教育普及活動

令和7年度は、教育普及活動として27件の事業を行った。展示付帯事業として10事業、教育普及事業として17事業である。

展示付帯事業では、各特別展において展示解説会を行うとともに、趣向を凝らした関連イベントを開催したことにより展示解説会、関連イベントとも参加者数を増やしている。企画展「星にねがいを」では、特別上映会やJAXA宇宙教室！を開講するとともに、普段は開館していない時間に夜間イベントとして、星空観察会を開催したのは特筆される。テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」、「石を愉しむ展覧会」ではものづくりのワークショップを行うとともに、「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」では館を飛び出し、盛岡市内の酒蔵見学と酒蔵周辺の街並み歩きを組み合わせた見学会を行った。

このほかに解説員による依頼解説、長期休暇期間中の子ども向け解説、展示を見ながらワークシートを解いていくチャレンジ！はくぶつかん、ワードクイズ、閉館後の博物館を見学するナイトミュージアムを行った。チャレンジ！はくぶつかんでは20名の皆勤者がいた。

教育普及事業では、博物館友の会解散に伴う「岩手県立博物館友の会 話のサロン」とテーマ展関連イベント開催に伴う「ゴールデンウィークスペシャルイベント」の2本が減少したが、県博日曜講座などの講演会、バックヤードツアーなどの見学会、ミュージアムコンサートなどの鑑賞会、たいけん教室などのワークショップ、博物館で学ぶ岩手の歴史講座などの実習・講習会、第14回博物館まつり、出前講座などを行った。日曜講座では、特別展示関連の講座として多くの外部講師を招聘したが、特にブラックホールに関する講演は講堂がほぼ満席になるほどの参加者だった。ミュージアムコンサートはアンサンブルこずかたによるクリスマスコンサートを開催し、定員を上回る211名が来場した。第14回博物館まつりでは盛岡チアダンスクラブ煌(きらり)によるダンスパフォーマンスを披露いただいた。

さて、令和7年度事業において、秋以降のツキノワグマ出没頻発は教育普及活動においても影響が生じている。第90回地質観察会では直前の行程変更等が生じた。クマ鈴やスプレー等、物的な対策を講じることはできるものの、今後の状況によっては観察会など野外系見学会について開催方法の検討等が必要になることも想定される。

ア. 開催事業

(ア) 展示付帯事業（入館料を要する区域〔展示室内〕での事業）

表5. (2)-1 令和7年度展示付帯事業参加者総数

	イベント名	回数	参加者総数
1	学芸員による展示解説会	14	204
2	テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」関連イベント	4	56
3	企画展「星にねがいを～宇宙といわての年代記～」関連イベント	7	325
4	テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」関連イベント	2	17
5	テーマ展「石を愉しむ展覧会」関連イベント	2	42
6	解説員による依頼解説	76	1,620
7	長期休暇期間子ども向け解説	336	988

8	チャレンジ!はくぶつかん	55	1,861
9	ワードクイズ	51	264
10	ナイトミュージアム	2	36

合計 5,413

表 5. (2)-2 令和7年度展示付帯事業別参加者詳細

■学芸員による展示解説会（展覧会／定時）

延べ 204 名

	期日		時間	演題・イベント名ほか	講師等	参加者数
	月・日	曜日				
1	4月6日	日	14:30-15:30	テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」展示解説会	近藤・大銚地・金子 望月・鈴木・丸山	25
2	4月19日	土	14:30-15:30	テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」展示解説会	近藤・目時・金子 望月・高橋・丸山	21
3	4月26日	土	14:30-15:30	テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」(子ども向け展示解説会)	近藤・千葉照雄氏 (Kawagarasu craft)	8
4	5月5日	月・祝	14:30-15:30	テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」(子ども向け展示解説会)	近藤・千葉照雄氏 (Kawagarasu craft)	20
5	6月14日	土	13:30-14:30	企画展「星にねがいを一宇宙といわての年代記」展示解説会	目時	5
6	8月9日	土	13:30-14:30	企画展「星にねがいを一宇宙といわての年代記」展示解説会	目時	25
7	9月27日	土	14:30-15:30	テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」展示解説会	戸根	11
8・9	10月13日	月・祝	11:00-11:30 15:00-15:30	テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」(子ども向け展示解説会)	戸根	6
10	10月26日	日	15:10-16:00	テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」展示解説会	戸根	11
11	11月29日	土	14:30-15:30	テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」展示解説会	戸根	15
12	1月17日	土	13:30-14:30	テーマ展「石を愉しむ展覧会」展示解説会	佐藤	17
13	2月21日	土	13:30-14:30	テーマ展「石を愉しむ展覧会」展示解説会	佐藤	20
14	3月29日	日	13:30-14:30	テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」展示解説会	渡辺	20

※展覧会担当学芸員が展示の見どころを解説。

■テーマ展「驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～」関連イベント

延べ 56 名

	期日		イベント	会場	参加者数	備考
	月・日	曜日				
1・2	5月3日	土	鳥の羽のしおりづくり	当館実技室	19	午前・午後の2回開催 参加者数は子どものみ
3・4	5月6日	火	化石のクリーニング体験	当館実技室	37	午前・午後の2回開催 子ども20名、大人17名

■企画展「星にねがいを—宇宙といわたの年代記—」関連イベント

延べ 325 名

期日		イベント		会場	参加者数	備考
1	8月2日 土	星空観察会（講師：奥州宇宙遊学館 星空ナビゲーター「ホシミネスカ」）		当館講堂及び芝生広場	40	子ども 13 名、 大人 27 名
2	8月9日 土	JAXA 宇宙教室！ （講師：JAXA 石毛智子氏）		当館講堂	116	子ども 67 名、 大人 49 名
3	7月19日 土	特別上映会「星よりも、遠くへ」		当館映像室	23	
4	7月21日 月	特別上映会「星よりも、遠くへ」		当館映像室	33	
5	8月11日 月	特別上映会「星よりも、遠くへ」		当館映像室	35	
6	8月16日 土	特別上映会「星よりも、遠くへ」		当館映像室	43	
7	8月17日 日	特別上映会「星よりも、遠くへ」		当館映像室	35	

■テーマ展「いわての酒造り～酒から SAKE への今昔物語～」関連イベント

延べ 17 名

期日		イベント		会場	講師	参加者数	備考
1・2	10月18日 土	いわての酒蔵見学会		(株) あさ開昭和旭蔵 及び盛岡市鉾屋町周辺	あさ開職員・ 戸根貴之	17	午前・午後の 2回開催

■テーマ展「石を愉しむ展覧会」関連イベント

延べ 42 名

期日		イベント		会場	講師	参加者数	備考
1	1月24日 土	岩絵具で描く絵馬づくり		当館実技室	花立ゆかり氏 (岩手県日本 画協会会長)	10	午前開催
2		日本画の絵具でお絵描き体験		当館サービスコーナー		32	午後開催

■解説員による依頼解説（随時）

76 件 1,620 人

実施日	参加者数		解説・案内 回数										利用 件数
			総合展示室					いわて 文化史展示室			いわて 自然史展示室		
			地 質	考 古	歴 史	民 俗	現 勢 生 物	考 古	歴 史	民 俗	地 質	生 物	
4月	学校等	19	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	一般	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1
5月	学校等	148	5	4	4	4	4	0	0	0	0	0	3
	一般	91	9	9	8	7	7	0	0	0	0	0	7
6月	学校等	44	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	一般	49	9	6	4	5	6	1	1	0	2	1	8
7月	学校等	12	3	1	1	1	1	0	0	1	0	0	3
	一般	216	12	10	9	9	11	0	0	0	0	0	7
8月	学校等	25	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	一般	85	9	7	5	4	4	3	3	4	3	3	7
9月	学校等	445	6	6	6	12	9	0	0	9	0	0	5
	一般	38	4	2	2	3	3	0	0	0	0	0	3

10月	学校等	96	4	3	3	5	3	0	0	2	0	0	3
	一般	19	1	1	2	1	1	0	0	1	1	1	2
11月	学校等	134	3	1	2	7	1	0	0	4	0	0	5
	一般	16	3	2	2	2	2	0	0	0	0	0	2
12月	学校等	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	一般	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2
1月	学校等	100	2	0	1	2	1	0	0	3	0	0	3
	一般	12	3	2	1	2	2	1	1	1	1	2	4
2月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	21	3	3	2	1	1	0	0	0	0	1	6
3月	学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	31	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	計	1,620	85	64	57	68	61	8	6	26	8	9	76

■長期休暇期間子ども向け解説

336件 988人

期日(随時)		演題・イベント名ほか	回数	参加者数
7月23日～8月8日	17日間	夏休み子ども向け解説(総合展示室)	128	371
12月23日～1月16日	17日間	冬休み子ども向け解説(自然史展示室)	110	306
3月17日～3月31日	13日間	春休み子ども向け解説(自然史展示室)	98	311

■チャレンジ!はくぶつかん(常設展示室ほか/随時)

延べ1,861人

回数	期日		テーマ	シート作成者	参加者数	月別参加者総数	備考
1	4月12日	土	珍しい	大銃地	61	167	大人34人
2	4月13日	日			40		大人19人
3	4月19日	土			14		大人6人
4	4月20日	日			52		大人25人
5	5月10日	土	魚	渡辺	67	258	大人29人
6	5月11日	日			61		大人30人
7	5月17日	土			57		大人26人
8	5月18日	日			73		大人34人
9	6月14日	土	草木	米田	31	122	大人16人
10	6月15日	日			41		大人20人
11	6月21日	土			19		大人10人
12	6月22日	日			31		大人16人
13	7月12日	土	星	佐藤	21	168	大人10人
14	7月13日	日			32		大人17人
15	7月19日	土			26		大人12人
16	7月20日	日			61		大人30人
17	7月21日	月・祝			28		大人13人
18	8月9日	土	暑い	丸山	16	215	大人9人
19	8月10日	日			77		大人36人
20	8月11日	月・祝			59		大人27人
21	8月16日	土			26		大人11人
22	8月17日	日			37		大人18人
23	9月13日	土	骨	高橋	50	176	大人29人
24	9月14日	日			19		大人9人
25	9月15日	月・祝			27		大人13人
26	9月20日	土			38		大人18人
27	9月21日	日			42		大人19人

28	10月11日	土	走る	工藤	22	269	大人11人
29	10月12日	日			145		大人69人
30	10月13日	月・祝			50		大人25人
31	10月18日	土			30		大人15人
32	10月19日	日			22		大人11人
33	11月8日	土	水	望月	13	77	大人6人
34	11月9日	日			13		大人7人
35	11月16日	土			30		大人13人
36	11月17日	日			21		大人11人
37	12月13日	土	つつる	近藤	32	104	大人13人
38	12月14日	日			17		大人7人
39	12月20日	土			29		大人15人
40	12月21日	日			26		大人14人
41	1月11日	土	馬	古舘	42	121	大人21人
42	1月12日	日			18		大人9人
43	1月13日	月・祝			38		大人18人
44	1月17日	土			20		大人9人
45	1月18日	日			3		大人1人
46	2月14日	土	石	久保	23	125	-
47	2月15日	日			29		-
48	2月21日	土			20		-
49	2月22日	日			21		-
50	2月23日	月・祝			32		-
51	3月14日	土	とぶ	高木	7	59	-
52	3月15日	日			9		-
53	3月20日	金・祝			16		-
54	3月21日	土			12		-
55	3月22日	日			15		-

※当館学芸員が毎月作成するワークシート（展示に関するクイズ）を配布。2月以降は大人を数えていない。

※今年度は20名の最優秀チャレンジャー（全12回に参加した皆勤賞）が誕生した。内訳は8回目1名、7回目4名、5回目1名、4回目2名、3回目6名、初めて6名。

■ワードクイズ（常設展示室／随時）

延べ264人

	期日	テーマ	作成者	参加者数	参加者総数
1	4月1日（火）～11日（金） ※R6年度3/18からの続き	石・化石	久保・高橋	19	62
		生き物		21	
		歴史		22	
2	7月23日（水）～8月8日（金）	総合	近藤・久保	150	150
3	12月23日（火）～ 令和8年1月9日（金）	総合	金子・望月	31	31
4	令和8年3月24日（火）～ 3月31日（火）※R8年4/10まで	総合	米田・大銃地	21	21

※当館学芸員作成のワードクイズの配布。本年度7月よりテーマを分割せず、総合に一本化した。

■ナイトミュージアム（常設展示室／定時）

延べ36名

	期日	曜日	時間	概要	参加者数
1	8月8日	金	16:30～17:30	閉館後、照明を落とした展示室をツアーガイドにしたがって見学し、各部門学芸員の解説を受ける。	14
2	8月9日	土	16:30～17:30		22

※平成28年度より実施。

■展示資料解説「けんぱくものしりシート」

	発行日		テーマ		シート作成者
	日	曜日	ジャンル	内容	
1	4月5日	土	民俗	アワビカギ	解説員
2	5月3日	土	生物	ヒレンジャクとキレンジャク	
3	6月7日	土	体験学習室	ブリキのおもちゃ	
4	7月5日	土	地質	磁鉄鉱	
5	11月25日	土	考古	花泉（金森）遺跡の生き物	解説員・米田
6	9月13日	土	歴史	金小札茶糸織二枚胴具足	解説員
7	10月4日	土	民俗	オカザリ	
8	11月1日	土	生物	クモ	
9	12月6日	土	体験学習室	将棋	
10	1月10日	土	地質	トuppクスアラ	
11	2月7日	土	考古	台太郎遺跡の平瓶	
12	3月7日	土	歴史	罈	

※当館解説員が毎月作成している展示資料解説カードを配布するとともに、当館HPに掲載。当初8月号に予定していた考古の「花泉（金森）遺跡の生き物」については諸事情により学芸員も作成に加わり、11月発行となった。

（イ）教育普及事業

表 5. (2)-3 令和7年度教育普及事業別参加者総数

	種別	イベント名	回数	参加者総数
1	講演会	文化講演会	1	70
2	講演会	県博日曜講座	23	985
3	見学会	県博バックヤードツアー	2	17
4	見学会	地質観察会	2	29
5	見学会	自然観察会	2	38
6	見学会	植物園案内	1	6
7	鑑賞会	ミュージアムコンサート	1	211
8	鑑賞会	ミュージアムシアター	10	306
9	ワークショップ	たいけん教室～みんなのためそう～	49	846
10	ワークショップ	民俗講座	1	29
11	ワークショップ	冬のワクワクワークショップ	4	72
12	実習・講習会	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	9	134
13	実習・講習会	館園実習	1	13
14	実習・講習会	文化財等取扱講習会（4日間）	4	19
15	実習・講習会	教員のための博物館の日（2日間）	2	22
16	その他	博物館まつり	2	1,782
17	その他	県博出前講座	20	479

合計

5,058

表 5. (2)-4 令和7年度教育普及事業別参加者詳細

■文化講演会（講演会）

延べ70人

期日	曜日	演題	講師名（所属）	参加者数
11月3日	月・祝	「いわての酒造り技術について」	山下佑子氏（岩手県工業技術センター）	70
		「いわての日本酒との関わりについて」	藤村恵一氏（エフエム岩手）	

※テーマ展「いわての酒造り」関連事業として実施。

■県博日曜講座（講演会）[全23回]

延べ985人

	期日	曜日	テーマ	講師名（所属） ※（）なしは当館学芸員	参加者数
1	4月13日	日	テーマ展・驚異の部屋鑑賞ガイド ～博物館ってこんな物も所蔵しています～	近藤良子	42
2	4月27日	日	宝探し！魅惑の昆虫標本室	渡辺修二	31
3	5月11日	日	「驚異の部屋」を守る～県博の文化財科学～	丸山浩治	32
4	5月25日	日	鳥の新しい分類と進化	高橋雅雄	38
5	6月8日	日	生命史をひも解く 新第三紀・第四紀	望月貴史	35
6	6月22日	日	草稿から作品を見つめる	宮澤明裕氏（宮沢賢治記念館）	41
7	7月13日	日	もう1つの「星にねがいを」展 ～展示しそこねたものがたりたち～	目時和哉	51
8	7月27日	日	世界の中の岩手～星と暦と人～	工藤建	47
9	8月10日	日	ブラックホールについて	本間希樹氏（国立天文台水沢 VLBI 観測所所長）	119
10	8月24日	日	旧石器時代のモバイルツール 「細石刃」が語るもの	米田寛	32
11	9月14日	日	縄文人の移動と交流	高木晃	45
12	9月28日	日	モノ・コトが資料になるまでの物語り ～民俗資料を例に～	川向富貴子	28
13	10月26日	日	「いわての酒造り」の展示から	戸根貴之	18
14	11月9日	日	江戸の酒を読む－物語に見る酒の文化－	畑有紀氏（名城大学）	29
15	11月23日	日	出土した箔椀のはなし－岩手の漆椀－	清水香氏（岩手大学）	26
16	12月14日	日	考古学者がやっていること－「編年」て何？	金子昭彦	27
17	12月28日	日	気仙隕石落下一件を読む	大銃地駿佑	33
18	1月11日	日	和紙資料の修復について	古舘祥子	27
19	1月25日	日	鐔の世界～元持コレクションから～	久保賢治	25
20	2月8日	日	収蔵地質標本の産地を巡ってⅡ	佐藤修一郎	47
21	2月22日	日	岩手の草原について	鈴木まほろ	73
22	3月8日	日	盛岡竿と盛岡式流し毛鉤 ～岩手の川と釣り文化～	田中隆充氏・小笠原敏記氏（岩手大学）／近藤良子／三好幸喜（石澤和竿毛鉤工房）	75
23	3月22日	日	発掘調査のリアル～工夫・失敗・こぼれ話～	高木晃	64

■ 県博バックヤードツアー（見学会）

延べ 17 人

	期日	曜日	概要（会場）	講師名	参加者数
1	5月18日	日	自然史コース（第2・4・5収蔵庫）	当館学芸職員	9
2			歴史コース（第1・3・4収蔵庫）		8

※平成16年度～、5月18日の「国際博物館の日」記念事業として実施。事前申込制。

■ 地質観察会（見学会）

延べ 29 人

	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属）	参加者数	備考
1	6月22日	日	第89回地質観察会「大船渡市の三畳系・白亜系露頭を巡る」	大船渡市大船渡町須崎川周辺	古澤明輝氏（大船渡市立博物館）	18	
2	10月25日	土	第90回地質観察会「雫石盆地周辺の層序と地質構造を知る」	盛岡市御所ダムならびに雫石町	越谷信氏（岩手大学）	11	

※事前申込制

■ 自然観察会（見学会）

延べ 38 人

	期日	曜日	イベント名	会場	講師名（所属）	参加者数
1	6月7日	土	第89回自然観察会「森林の生き物を観察しよう」	滝沢森林公園	高橋雅雄	16
2	9月23日	火・祝	第90回自然観察会「秋の草花と虫を観察しよう」	網張の森・網張温泉スキー場	鈴木まほろ	22

※事前申込制

■ 植物園案内（見学会）

延べ 6 人

期日	曜日	回数	会場	講師	参加者数	備考
4月29日	火・祝	1	当館植物園	鈴木まほろ	6	午前の部は雨のため中止。午後の部のみ実施。

■ ミュージアムコンサート（鑑賞会）

延べ 211 人

期日	曜日	演題・イベント名ほか	参加者数
12月13日	土	アンサンブルこずかた クリスマスコンサート	211

■ ミュージアムシアター（鑑賞会）

延べ 306 人

回数	期日	曜日	内容	種別	運営	参加者数
1	4月5日	土	GOING WEST 西へ・・・	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	21
2	5月3日	土	くまのプーさん イーヨのおたんじょう日 プーさんと虎	アニメ	中央地域視聴覚ライブラリー	6
3	6月7日	土	橋のない川	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	59
4	7月3日	土	銀河鉄道の夜	デジタル映像	中央地域視聴覚ライブラリー	37

5	8月2日	土	グスコーブドリの伝記	アニメ	中央地域視聴覚ライブラリー	18
6	10月4日	土	戸田家の兄妹	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	26
7	11月1日	土	午後の遺言状	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	33
8	12月6日	土	ムーミン谷とウィンターワンダーランド	パペット アニメ	中央地域視聴覚ライブラリー	23
9	2月7日	土	こつなぎ 山を巡る百年物語	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	59
10	3月7日	土	愛妻物語	実写	中央地域視聴覚ライブラリー	24

※【平成14年度～】盛岡教育事務所中央地域視聴覚ライブラリーとの共催による映画会。映写は16ミリ映写機操作技術講習会修了証を有するライブラリー映写ボランティア「シネマ友の会」が担当した。

■たいけん教室～みんなでためそう～（ワークショップ）

延べ 846 人

	期日	曜日	テーマ	講師	参加者 実数	参加者総数 (保護者込)
1	4月13日	日	スライムであそぼう①	当館解説員	10	21
2	4月20日	日	まが玉アクセサリー①	当館解説員	8	15
3	4月27日	日	こいのぼりづくり	当館解説員	10	22
4	5月4日	日	手づくり万華鏡	当館解説員	10	20
5	5月11日	日	化石のレプリカ①	当館解説員	10	20
6	5月18日	日	オリジナル卵をつくらう	当館解説員	10	19
7	5月25日	日	草木のそめもの	当館解説員	10	19
8	6月1日	日	チャグチャグ馬コづくり	当館解説員	9	20
9	6月8日	日	カラフルクモづくり①	当館解説員	7	14
10	6月15日	日	アンモナイトの消しゴムづくり①	当館解説員	10	21
11	6月22日	日	まが玉アクセサリー②	当館解説員	10	18
12	6月29日	日	ウォータードームづくり	当館解説員	10	20
13	7月6日	日	ちぎり絵のうちわ	当館解説員	8	16
14	7月13日	日	土器づくり	当館解説員	10	19
15	7月20日	日	ミニさんさだいこ①	当館解説員	10	20
16	7月27日	日	ミニさんさだいこ②	当館解説員	10	17
17	7月27日	日	ミニさんさだいこ③	当館解説員	10	20
18	8月3日	日	化石のレプリカ②	当館解説員	10	18
19	8月3日	日	化石のレプリカ③	当館解説員	10	19
20	8月10日	日	天然石のフォトフレーム①	当館解説員	10	19
21	8月10日	日	天然石のフォトフレーム②	当館解説員	10	20
22	8月17日	日	紙コップのあやつり人形	当館解説員	8	17
23	8月24日	日	スライムであそぼう②	当館解説員	10	18
24	8月31日	日	いわてのどうぶつしょうぎ	当館解説員	7	14
25	10月5日	日	天然石のフォトフレーム③	当館解説員	7	15
26	10月19日	日	スライムであそぼう③	当館解説員	2	5
27	10月26日	日	カラフルクモづくり②	当館解説員	10	20
28	11月2日	日	まが玉アクセサリー③	当館解説員	10	19
29	11月9日	日	ヨーヨーの絵つけ	当館解説員	6	13
30	11月16日	日	砂絵	当館解説員	7	14
31	11月23日	日	土偶づくり	当館解説員	10	21
32	11月30日	日	松ぼっくりのXmas ツリー①	当館解説員	10	21
33	12月7日	日	松ぼっくりのXmas ツリー②	当館解説員	9	20

34	12月14日	日	かんたん門松	当館解説員	8	16
35	12月21日	日	まゆで干支づくり(午)①	当館解説員	10	19
36	12月21日	日	まゆで干支づくり(午)②	当館解説員	9	17
37	12月28日	日	まゆで干支づくり(午)③	当館解説員	6	13
38	12月28日	日	まゆで干支づくり(午)④	当館解説員	6	9
39	1月4日	日	木のかまの絵つけ	当館解説員	10	17
40	1月18日	日	たこづくり	当館解説員	8	18
41	1月25日	日	3Dメガネで万華鏡	当館解説員	10	17
42	2月1日	日	スライムであそぼう④	当館解説員	6	14
43	2月8日	日	アンモナイトの消しゴムづくり②	当館解説員	9	16
44	2月15日	日	おひなさまづくり	当館解説員	7	14
45	2月22日	日	猫絵馬づくり	当館解説員	10	19
46	3月8日	日	お絵かきはんこ	当館解説員	2	4
47	3月15日	日	化石のレプリカ④	当館解説員	9	20
48	3月22日	日	天然石のフォトフレーム④	当館解説員	10	20
49	3月22日	日	天然石のフォトフレーム⑤	当館解説員	9	19

※【昭和56年度～】当館解説員による主に幼児（3歳以上）～小学生対象のワークショップである。定員はプログラムごとに20～30名の範囲で設定してきたが、コロナ禍後は定員を子ども10名とした。

■民俗講座「たいけん！むかしのくらし」（ワークショップ）

延べ29人

	期日	曜日	会場	講師等	子ども参加数	参加者数
1	9月21日	日	旧佐々木家住宅	戸根貴之・近藤良子・川向富貴子	16	29

※令和4年度～実施。

■冬のワクワク！ワークショップ

延べ72名

期日	曜日	回数	テーマ	講師	参加者実数	参加者総数 (保護者込)
1月10日	土	4	化石のレプリカ	望月貴史	37	72

※【平成24年度～】幼児（3歳以上）～小学生向けワークショップ（有料各100円）。

■博物館で学ぶ岩手の歴史講座（実習・講習会）

延べ134人

	期日	曜日	時間	内容	講師（所属）	参加者数
1	9月13日	土	13:30～14:30	いわての歴史概観～展示解説～	工藤健・目時和哉	9
2	9月20日	土	13:30～14:30	いわての古代～中世史	目時和哉	9
3	9月27日	土	13:30～14:30	いわての現代史	工藤健	9
4	10月4日	土	13:30～14:30	いわての近代史	北條勝貴氏（上智大学）	8
5	10月4日	土	10:30～12:00	特別講座（講演会）	北條勝貴氏（上智大学） 平井勇介氏（岩手県立大学） 今野公顕氏（岩手県立大学）	52
6	10月18日	土	13:30～14:30	いわての歴史資料	久保賢治	10
7	10月19日	日	13:00～15:00	特別講座（現地見学会）	平井勇介氏（岩手県立大学） 今野公顕氏（岩手県立大学）	20
8	10月25日	土	13:30～14:30	いわての近世史	大銃地駿佑	11
9	11月1日	土	13:30～14:30	いわての古文書	大銃地駿佑	6

■館園実習（実習・講習会）

受講者 13 人

	日付	曜日	講師	講座内容
1	8月21日	木	普及課長	実習にあたって
2			普及課長	岩手県立博物館概要説明
3			館園実習担当	施設見学
4			資料課長補佐	博物館資料管理の実務
5			特別展担当	博物館展示の実務
6	8月22日	金	生物部門	博物館展示の実務
7				博物館資料整理の実務（自然史系）
8	8月23日	土	参事	講義「地方博物館の使命と役割」
9			歴史部門	博物館展示の実務
10				博物館資料整理の実務（人文系）
11	8月24日	日	文化財科学部門	博物館環境保全の実務
12				博物館資料保存の実務（文化財科学）
13			解説員・館園実習担当	博物館教育普及の実務
14			文化財科学部門	博物館環境保全の実務
				博物館資料保存の実務（文化財科学）
15	8月26日	火	民俗部門	博物館展示の実務
16				博物館資料整理の実務（人文系）
17			地質部門	博物館展示の実務
18	8月27日	水	地質部門	博物館資料整理の実務（自然史系）
19				博物館展示の実務
20			解説員	展示資料解説の実務
21			考古部門	博物館展示の実務
22	8月28日	木	考古部門	博物館資料整理の実務（人文系）
23				博物館展示の実務
24			企画課	博物館事業広報の実務
25			総務課	博物館管理業務の実務
26			館長	実習終了にあたって

※今年度は、東北生活文化大学、広島大学、聖心女子大学、盛岡大学、琉球大学、金沢美術工芸大学、岩手大学、帯広畜産大学、北里大学、東北芸術工科大学から合計 13 名を受け入れた。

■文化財等取扱講習会（実習・講習会）

受講者 19 人

前期

月日	時間	A 班	B 班
5月15日（木）		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	20分	開講式・オリエンテーション 〔 教室 〕 10:00～	
	90分	【資料および環境管理】 (1) 文化財科学 〔 教室 〕 10:30～	
	60分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	

	90分	【資料および環境管理】 (2) 文化財科学 〔 館内巡検 〕 13:00～	
		休憩 15分	
	75分	【人文系資料取扱基礎】 (3) 歴史① 〔 第1収蔵庫ほか 〕 14:45～	
1 6 日 (金)		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	10分	連絡〔 教室 〕 10:00～10:10	
	110分	【人文系資料取扱基礎】 (3) 歴史② 〔 第1収蔵庫ほか 〕 10:10～	
	60分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	60分	【自然史資料取扱基礎①】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 13:00～	【自然史資料取扱基礎①】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 13:00～
		休憩 10分	
	60分	【自然史資料取扱基礎②】 (5) 生物 〔 第2収蔵庫 〕 14:10～	【自然史資料取扱基礎②】 (4) 地質 〔 第4収蔵庫 〕 14:10～
		休憩 10分	
	30分	質疑応答 〔 教室 〕 15:20～15:50	
	10分	閉講式 〔 教室 〕 15:50～16:00	

後期

月日	時間	A 班	B 班
1 1 月 2 0 日 (木)		受 付 〔 教室前 〕 9:40～10:00	
	10分	開講式・オリエンテーション 〔 教室 〕 10:00～	
	110分	【人文系資料取扱基礎①】 (8) 民俗 〔 第3収蔵庫 〕 10:10～	【人文系資料取扱基礎①】 (9) 考古 〔 第4収蔵庫 〕 10:10～
	60分	昼食〔 教室・実技室 〕 12:00～13:00	
	110分	【人文系資料取扱基礎②】 (9) 考古 〔 第4収蔵庫 〕 13:00～	【人文系資料取扱基礎②】 (7) 歴史③ 〔 第1収蔵庫 〕 13:00～
		休憩 10分	
	60分	【(10) 情報交換会】 〔 教室 〕 15:00～	
(金) 2 1 日		受 付 〔 教室前 〕 9:40～9:55	
5分	連絡〔 教室 〕 9:55～10:00		

110分	【人文系資料取扱基礎③】 (7) 歴史③② 〔第1収蔵庫〕 10:00～	【人文系資料取扱基礎③】 (8) 民俗 〔第3収蔵庫〕 10:00～
	【閉講式】 〔教室〕 11:50～12:00	

※令和5年度から、受講者の希望も踏まえ、前期・後期4日間の講習とした。

■教員のための博物館の日（実習・講習会）

延べ22人

期日	曜日	講師等	会場	参加者数	備考
8月8日・9日	金・土	当館職員	展示室、教室、収蔵庫	22	こども3名

※学校との連携を深める目的で、平成28年度から実施し、講座以外に参加者から博物館の利用法について相談を受ける。参加者の子供同伴を可としている。

■岩手県立博物館まつり（その他）

延べ1,782人

期日	曜日	イベント名	運営	参加者総数
10月12日	日	松ぼっくりのフクロウづくり、化石のレプリカづくり、スライムどけいづくり、たんけん！がんせきえん・しょくぶつえん、たのしい！あそびとまなび(組紐作りほか)、チャレンジ！はくぶつかん、博物館にかくされた化石をさがせ！、招聘イベント(チアダンス)、けんぱく！わんぱく！広場	当館職員	1,119
10月13日	月	松ぼっくりのフクロウづくり、化石のレプリカづくり、スライムどけいづくり、たんけん！がんせきえん・しょくぶつえん、たのしい！あそびとまなび(組紐作りほか)、チャレンジ！はくぶつかん、博物館にかくされた化石をさがせ！、けんぱく！わんぱく！広場、テーマ展展示解説会	当館職員	663

■県博出前講座（その他）

延べ479人

	期日	曜日	派遣職員	依頼者	演題・イベント名ほか	会場	参加者数	備考
1	5月27日	火	丸山	津波で被災した資料の再生（博物館資料保存論における講義および質疑応答）	岩手大学人文社会科学部	岩手大学	17	大学2年生16名、教員1名
2	5月30日	金	高橋	地球環境調査実習C「滝沢森林公園の鳥類」	岩手県立大学総合政策学部	岩手県立大学および滝沢森林公園	14	大学3年生12名、教員2名
3	6月3日	火	川向	岩手の手しごと～染めと織り～	岩手県立青松支援学校	岩手県立博物館教室	6	高等部1～3年生3名、教員3名
4	6月14日	土	鈴木	花と虫の関係	食を育む会 子どもひろば	奥州市江刺愛宕地区センターから北上川周辺	20	児童生徒12名、一般8名
5	6月30日	月	川向	助産学概論「助産の文化論/わが国の助産習俗」	岩手医科大学看護学部	岩手医科大学	13	大学3年生10名、教員3名
6	7月11日	金	目時	総合的な探究の時間	岩手県立山田高等学校	岩手県立山田高等学校	23	1年生18名、教員5名
7	8月1日	金	渡辺	公園内の昆虫の観察等のフィールドワーク	奥州市立水沢中学校	滝沢市・外山森林公園	18	生徒16、教員2

8	9月3日	水	目時	教科融合・博学連携授業	岩手県立岩谷堂高等学校	岩手県立岩谷堂高等学校	14	
9	11月7日	金	久保	日本刀入門	岩手県立青松支援学校	岩手県立青松支援学校	28	生徒16、教員12
10	11月14日	金	鈴木	校庭の植物観察	岩手県立青松支援学校	岩手県立青松支援学校	18	生徒11、教員7
11	11月26日	水	丸山	火山噴火と遺跡	岩手大学人文社会科学部	岩手大学	13	大学生・研究生12名、教員1名
12	12月3日	水	望月	いわてのかせき	岩手県立盛岡となん支援学校	岩手県立盛岡となん支援学校	16	
13	12月5日	金	高木	土器の文様のひみつ	岩手県立青松支援学校	岩手県立青松支援学校	16	生徒7、教員9
14	12月18日	木	近藤	昔のくらしの知恵	盛岡市立本宮小学校	盛岡市立本宮小学校	78	児童75名、教員3名
15	1月27日	火	古舘	津波で被災した資料の再生	岩手県立杜陵高校奥州校定時制	岩手県立杜陵高校奥州校定時制	20	生徒17、教員3
16	2月4日	水	古舘	津波で被災した資料の再生	岩手県立岩谷堂高等学校	岩手県立岩谷堂高等学校	21	生徒20、教員1
17	2月5日	木	古舘	津波で被災した資料の再生	岩手県立岩谷堂高等学校	岩手県立岩谷堂高等学校	12	生徒10、教員2
18	1月28日	水	近藤	昔のくらしの知恵	盛岡市立高松小学校	盛岡市立高松小学校	71	児童69名、教員3名
19	2月5日	木	近藤	昔のくらしの知恵	盛岡市立北松園小学校	盛岡市立北松園小学校	32	児童31名、教員1名
20	2月9日	月	戸根	いわての郷土芸能－鹿踊を中心に－	岩手県立岩谷堂高等学校	岩手県立岩谷堂高等学校	29	生徒27名、教員2名

※当館が講師派遣に係る実費を負担したもの

(ウ) 講演会・講座に係る職員派遣

表5. (2)-5 令和7年度職員派遣

延べ1,348人

	期日	曜日	派遣職員	依頼者 (主催者)	演題・イベント名ほか	会場	参加者数
1	4月23日	水	鈴木	岩手県立大学宮古短期大学部	岩手三陸学「岩手と三陸の自然(植生)」	岩手県立大学宮古短期大学部	90
2	4月27日	日	近藤	書肆みず盛り	書肆みず盛りの知りたい世界「まさに驚異の部屋！科学の礎…総合博物館の世界」	書肆みず盛り	23
3	5月23日	金	大銚地	黒沢尻西区自治協議会	第1回ひまわり学級「史料から読み解く岩手の歴史～旅、伊達政宗、大肝入～」	北上市黒沢尻西地区交流センター	27
4	6月20日	金	戸根 近藤 鈴木	盛岡市松園地区公民館	松園を学ぶ「屋外展示で学ぶ～重要文化財の古民家、植物園、岩石園～」	岩手県立博物館	17
5	6月27日	金	目時	盛岡市松園地区公民館	松園を学ぶ「企画展覧会で学ぶ～星にねがいを～」	岩手県立博物館	10
6	6月28日	土	鈴木	紫波の里山を守る会	ニホンジカの生態と森林生態系に与える影響	紫波町情報交流館	20
7	7月5日	土	渡辺	岩手県民の森	県民の森で昆虫観察	岩手県民の森	15
8	7月17日	木	望月	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド 地域各論「三陸の大地の成り立ち」	宮古市地域創生センター	12

9	7月19日	土	目時	書肆みず盛り	書肆みず盛りの知りたい世界「星は人の営みを見つめ続けてきた…博物館学芸員の世界」	書肆みず盛り	20
10	7月25日	金	目時	名桜大学	沖縄学「北から見た沖縄」	名桜大学	85
11	7月26日	土	渡辺	こども食堂キッチンスマイル	自然観察会	みちのく民俗村	20
12	8月2日	土	渡辺	網張ビジターセンター	よるの森をのぞいてみよう！コウモリ調査体験と昆虫ライトトラップ	網張ビジターセンター	20
13	8月3日	日	渡辺	滝沢環境パートナー会議	キッズ観察会	木賊川遊水地	32
14	8月23日	土	高橋	菊池寛実記念智美術館	ともびdeバードウォッチング	菊池寛実記念智美術館	55
15	9月2日	火	金子	盛岡市松園地区公民館	縄文講座「縄文時代と遮光器土偶」	盛岡市松園地区公民館	10
16	9月18日	木	金子	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド	岩手県久慈地区合同庁舎	6
17	9月18日	木	鈴木	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパーク認定ガイド	岩手県久慈地区合同庁舎	3
18	9月20日	土	鈴木	住田町教育委員会	シカから始まる森林生態系の変化	住田町役場	19
19	9月26日	金	望月	一関市石と賢治のミュージアム	グスコブドリ学園「東山小学校6年生対象 岩手・東山の地質と化石」(講話・化石採集)	一関市立東山小学校ほか	34
20	9月27日	土	川向	岩手大学平泉文化研究センター	令和7年度岩手大学 社会人学び直しプログラム「地域の文化的基盤～岩手の歴史と文化を実務するために～」 5コマ目「演習/民俗芸能記録の実務」	岩手大学	4
21	9月28日	日	高橋	日本野生動物医学会	第31回日本野生動物医学会大会市民公開講座「野生動物との共存：地域との連携～地元視点で考える野生動物保全～」	アイーナ・いわて県民情報交流センター	60
22	9月30日	火	大銚地	岩手県立図書館指定管理者	令和7年度岩手県立図書館職員向け郷土資料研修会「吉田家文書について」	岩手県立図書館	49
23	10月1日～ 1月14日 ※全15回		丸山	盛岡大学	盛岡大学文学部「博物館資料保存論」	盛岡大学	39
24	10月3日	金	鈴木	八幡平自然散策ガイドの会	岩手山焼走りの植生・植物相について	岩手山焼走り溶岩流散策路	15
25	10月4日	土	丸山	おいらせ町教育委員会	おいらせ阿光坊古墳館歴史講座「十和田平安噴火とおいらせの人々」	おいらせ阿光坊古墳館	20
26	11月2日	日	金子	十腰内文化研究会	十腰内I式土器編年シンポジウム	ねぶたの家ワラッセ(青森市)	40
27	11月7日	金	鈴木	大船渡市立中央公民館	増えすぎたニホンジカによる生態系への影響	大船渡市立三陸公民館	20
28	11月8日	土	金子	仙台市教育委員会	土偶に込められた祈り	仙台市メディアテーク	70

29	11月8日	土	高橋	日本鳥類標識協会	第39回日本鳥類標識協会全国大会 開催記念公開シンポジウム「鳥を調べ、鳥に学ぶ」	アイーナ・いわて県民情報交流センター	120
30	11月16日	日	望月	御船町恐竜博物館	パレオプログラム「せいこん化石の不思議」	オンライン	37
31	11月16日	日	近藤	大船渡市立博物館	長谷寺の文化財	大船渡市長谷寺しんしん館	38
32	11月23日	日	工藤	岩手古文書学会	岩手古文書学会40周年記念シンポジウム	岩手県立図書館	40
33	11月29日	土	高木	北海道立埋蔵文化財センター	令和7年度連続講座「北海道と東北の交流を読む」第3回「古墳時代における北海道と東北の交流」	北海道立埋蔵文化財センター	60
34	12月16日	火	鈴木	岩手町一方井公民館	岩手の外来植物	岩手町一方井公民館	30
35	12月18日	木	工藤	盛岡市中央公民館	先人講座「王朝のコレクター 太田孝太郎を知る」	岩手県立博物館	25
36	12月19日	金	近藤	遠野市内	岩手の民芸とお正月	あえりあ遠野	32
37	1月30日	金	戸根	北上市立花自治振興協議会	立花地区交流センター新春講演会「ユネスコ無形文化遺産といわての伝統的酒造り」	北上市立花地区交流センター	32
38	2月4日	水	米田	一関市花泉先人顕彰会	金森遺跡と動物骨化石	花泉町交流研修施設「花夢バル」	51
39	2月13日	金	高木	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	所内専門研修「古代の水田遺構の調査について」	埋蔵文化財センター	20
40	3月15日	日	川向	奥州市教育委員会・えさし郷土文化館	地域史研究講座2026「民俗芸能が紡ぐ祈りの系譜」内「神樂とおまじない」	奥州市えさし郷土文化館	28

※依頼者が講師派遣に係る実費を負担、もしくは共同プロジェクトとして実施したもの。

イ. 学校教育との連携

(ア) 博物館展示活動を活用した学習利用の受け入れ

今年度の教育機関の来館状況は下記のとおりである。合計で44校2,281人（前年度は64校2,1565人）が来館した。

表5. (2)-6 令和7年度学習利用状況（区分別） ※団体利用（20名以上）として入館した引率と児童生徒の数

a. 幼稚園・保育園等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月11日	岩手県	めぐみ幼稚園	親子遠足	42	31	73
2	6月13日	岩手県	みたけ保育園	親子遠足	45	24	69
3	7月4日	岩手県	聖パウロ幼稚園	園外学習	3	14	17
4	8月5日	岩手県	MH ナーサリー	園外学習	5	21	26
5	9月30日	岩手県	なでしこ保育園	親子遠足	5	60	65
6	1月3日	岩手県	上田保育園	園外活動	3	19	22
7	2月25日	岩手県	青葉幼稚園・二葉幼稚園	卒園遠足	2	88	90
				小計	105	257	362

b. 小学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	6月12日	岩手県	奥州市立南都田小学校	修学旅行	7	38	45
2	6月13日	岩手県	盛岡市立渋民小学校	社会科見学	4	42	46
3	6月19日	宮城県	仙台市立東六番丁小学校	修学旅行	11	71	82
4	9月11日	宮城県	気仙沼市立階上小学校	修学旅行	5	28	33
5	9月12日	岩手県	盛岡市立見前小学校	社会科見学	4	87	91
6	9月24日	宮城県	盛岡市立津志田小学校	社会科見学	6	106	112
7	9月24日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	生活科学習	2	20	22
8	9月25日	岩手県	盛岡市立緑が丘小学校	社会科学習	13	109	122
9	9月25日	岩手県	盛岡市立城北小学校	校外学習	3	82	85
10	10月30日	岩手県	盛岡市立飯岡小学校	社会科見学	5	47	52
11	11月5日	岩手県	盛岡市立中野小学校	社会科見学	4	66	70
12	11月6日	岩手県	矢巾町立矢巾東小学校	社会科見学	5	83	88
13	11月18日	岩手県	盛岡市立北松園小学校	社会科見学	3	30	33
14	11月18日	岩手県	岩手町立沼宮内小学校	社会科見学	3	37	40
15	11月21日	岩手県	一戸町立奥中山小学校	社会科見学	2	18	20
16	1月28日	岩手県	盛岡市立東松園小学校	社会科学習	2	19	21
17	1月30日	岩手県	盛岡市立厨川小学校	社会科学習	4	55	59
				小計	83	938	1021

c. 中学校

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月15日	岩手県	湯沢市立湯沢北中学校	校外学習	4	65	69
2	5月16日	岩手県	湯沢市立稲川中学校	校外学習	5	46	51
3	5月28日	岩手県	花巻市立湯口中学校	総合的な学習	4	36	40
4	9月17日	岩手県	洋野町立種市中学校	研修旅行	4	51	55
5	10月16日	東京都	桐朋中学校	修学旅行	4	81	85
6	10月30日	岩手県	盛岡市立飯岡中学校	校外学習	2	31	33
7	11月5日	岩手県	花巻市立花巻中学校	総合学習	1	25	26
8	11月27日	秋田県	仙北市立生保内中学校	研修旅行	3	34	37
				合計	27	369	396

d. 高等学校

	日時	都道府県	学校名	利用目的	引率	生徒	合計
1	7月4日	岩手県	北日本高等学院 北星高等学園	遠足	3	21	24
				合計	3	21	24

e. 支援学校等

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月9日	岩手県	盛岡峰南高等支援学校	校外学習	7	15	22
2	10月16日	岩手県	気仙沼支援学校中学部	修学旅行	11	10	21
3	10月21日	岩手県	盛岡峰南高等支援学校	校外学習	6	15	21
4	1月23日	岩手県	盛岡峰南高等支援学校	校外学習	8	15	23
				合計	32	55	87

f. その他（児童デイサービス・学童保育等）

	来館日	都道府県	団体名	利用目的	引率	生徒	合計
1	5月16日	岩手県	なでしここども園	園外活動	12	71	83
2	5月23日	岩手県	愛育園	親子遠足	4	26	30
3	5月30日	岩手県	津志田つばさ園	親子遠足	47	30	77
4	6月3日	秋田県	愛生園	社会見学	9	26	35
5	7月31日	岩手県	滝沢中央学童クラブ	レクリエーション	9	100	109
6	8月4日	岩手県	沼宮内学童保育クラブ	社会見学	3	23	26
7	3月31日	岩手県	住田町教育委員会「すみたっ子探検隊」	社会見学	5	26	31
合計					89	302	391

表 5. (2)-7 令和7年度都道府県別学習利用状況（都道府県別校数）

県内	秋田県	宮城県	東京都	合計
39	2	2	1	44

表 5. (2)-8 令和7年度区別学習利用状況（区別校数）

幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	大学等	専門学校 専修学校	支援学校	その他	合計
7	17	8	1	0	0	4	7	44

表 5. (2)-9 令和7年度都道府県別学習利用状況（都道府県別・区別受入人数）

	県内	青森県	秋田県	宮城県	他	合計
小学校	794			227		1,021
中学校	274		37		85	396
高等学校	24					24
支援学校	87					87
大学等						0
幼稚園・保育園	552					552
専門・専修学校						0
その他	166		35			201
合計	1,897	0	72	227	85	2,281

(イ) 教材貸出

2件25点の貸出を行った（昨年度は3件32点）。なお、貸出資料一覧にない資料の貸出についての相談もあり、これは部門毎に対応して貸出を行っている（本件数には含めていない）。多様なニーズを踏まえ、貸出可能な資料の再選定やメニューの充実を図りたい。

表 5. (2)-10 令和7年度の教材貸出一覧

貸出日	貸出先	点数	資料
4月15日	書肆みず盛り	17	中学校示準化石標本(5)・植物化石標本(4)・動物化石標本(4)・始祖鳥骨格標本(1)・昆虫標本(2)・火縄銃(1)・皮製トランク(1)・アイロン(1)・ランプ(1)・マタギ衣装(1)

2月1日	矢巾町立矢巾北中学校	8	蝶の標本（クジャクヤママユ・ワモンキシタバ・コムラサキ・キアゲハ）(1)・標本箱 (1)・展翅版 (1)・ランプ (1)・胴乱 (2)・三角シート (1)・三角紙 (1)
------	------------	---	---

(ウ) 展示資料目録ならびに新学習指導要領対象目録の改訂

a. 新学習指導要領対照目録の改訂

今年度は学習指導要領対照目録の一部更新（歴史分野）を行った。今後も順次改訂版を当館ホームページに公開する。

(エ) 県内学校等との博学連携プロジェクト

a. 岩手県立盛岡青松支援学校

高等部の授業の充実を目的として、当館学芸部門の学芸員による連続出前講座を令和4年度から開催しており、令和7年度で4年目となる。学校側が県博出前講座のプログラムから講師と講義内容を選定し、地質・生物・考古・歴史・民俗の5部門の各学芸員による計5回の講義を行った。内、2回は会場を県博とし、「岩手の酒造り」展示解説（民俗）、体験プログラム「化石のレプリカ」（地質）を実施した。担当教諭が事前学習と復習授業を行い、生徒に講義内容への理解を深めてもらった。実物の触察を伴う博物館ならではの講義は生徒から大変好評であった。



図5. (2)-1 講座：日本刀入門



図5. (2)-2 講座：化石のレプリカづくり

b. 岩手県立盛岡峰南高等支援学校

当館では平成26年度から盛岡峰南高等支援学校へ体験学習室の教材や白布などのクリーニングを依頼している。今年度は展示作業用養生マット、体験学習室着用教材のクリーニングを依頼した。

また、専門教科の一つである「生活科学科（家政）」の「縫製デザイン班」で行っている「裂き織」の技術を生かし、令和4年度よりクリーニングに加えた新たな連携がスタートした。

先に他校との博学連携で製作したあねこ衣装の帯は、子どもたちが着用しやすいよう前掛け部分と帯を縫い合わせた一体型のもので、昨年度に引き続き本来のように「裂き織」で製作することとした。学芸員は、単に資料を提供する立場ではなく、学習の方向性をともに考える伴走者という位置づけで関わることとした。

今年度も資料の説明や野良着の役割等について学芸員が生徒たちにレクチャーし、県指定実物資料を収蔵庫で見学することで資料理解を深めてもらった。これまで生徒たちが製作してきた裂き織製品は、文化祭で販売することを目的としていたが、博物館に設置する触察資料になるということで、織

り方にもこだわってもらい、見た目の美しさ、耳の部分の丁寧な処理、隙なく織りを固めに打ち込むこと等、本物志向で製作してもらった。

さらに生徒からは、利用者層を意識した色の工夫や体験学習室の整備について提案が出された。本年度は着用サイズの明記、遊具の遊び方紹介、英語表記、ポップ作り等のアイデアを取り入れることとした。

なお、本博学連携事業については、「全科教ニュース」vol.56にて報告した。

【裂き織の帯】縫製デザイン班（3年生3名、2年生3名）

5月9日（金）出前授業（これまでの博学連携事業の取組み、展覧会見学、雫石あねこ衣装など岩手の野良着について）

9月5日（金）体験学習室整備に向けた生徒との打ち合わせ

10月25日（土）峰岡峰南高等支援学校文化祭「峰南祭」、「岩手県立博物館とのあたたかいつながりー博物館のために今、私たちができることー」（衣装の洗濯、雫石あねこ衣装、裂き織についてポスター展示・意見コーナー設置）

10月～ 生活学科「縫製デザイン」において「雫石あねこ衣装の帯」を裂き織で製作開始

12月16日（火）教員との打ち合わせ

1月23日（金）資料（7点）、クリーニング資料引き渡し・感謝状贈呈式



図 5. (2)-3 贈呈式の様子



図 5. (2)-4 体験学習室整備後の様子

c. 岩手県立盛岡聴覚支援学校

県立盛岡聴覚支援学校には開校以来の教材や貴重な書籍類が資料室に保管されている。これらの資料を活用して11月の学校祭「盛輝祭」に向けて展示室として整備したいとの要望があり、展示協力の形で助言等を行った。資料室は、担当教諭はじめ多くの教員・技術員が関わり、観覧者の動線、資料の選択、資料キャプション・解説パネルの文字ポイント、ライトと資料の関係性等、工夫を凝らした展示室としてリニューアルされた。授業でも活用できるようテーブルと椅子も設置された。

(オ) 博物館館園実習

学芸員資格取得に係る館務実習について、当館の実習生受入方針に基づいて実施した。当館における実習は、主に県内大学に在学する者、また県出身者を対象としている。地質・生物・考古・歴史・民俗・文化財科学に係る博物館資料の整理や展示作業、教育普及事業の実務などの実習、及び社会教

育機関としての博物館の役割について講義等を行っている。実習・講義一覧表は36頁にある。実習期間と受け入れ人数等は次のとおり。

○期間：令和7年8月21日（木）から28日（木）※8月25日（月・休館日）を除く7日間

○受講者：東北生活文化大学1名、広島大学1名、聖心女子大学1名、琉球大学1名、盛岡大学2名、岩手大学3名、金沢美術工芸大学1名、帯広畜産大学1名、北里大学1名、東北芸術工科大学1名 計13名

ウ. 職場体験・インターンシップ

今年度は2件6名の職場体験の申し込みがあり、中学校1校と高等学校1校で実施した。

表5. (2)-11 令和7年度実施職場体験・インターンシップ参加校一覧

	実施日時	所属校	人数	体験内容
1	7月29日（火）～31日（木）	岩手県立雫石高等学校	1	職場の仕事内容の説明と学芸員体験
2	11月26日（水）～27日（木）	盛岡市立黒石野中学校	5	

エ. 問い合わせ受付

学芸員が一年間に対応した問い合わせについて集計を行っている。内容は、質問や要望、調査研究に関することなど多岐にわたり、即答が可能な場合もあれば回答に相当期間を要する場合もある。なお、この中には計画された事業に関するものや外部研究者との連絡調整等を含んでいない。

表5. (2)-12 令和7年度の問い合わせ受付状況

部門	件数	問合せ方法	件数	主な対応内容
地質	39	来館	26	石・化石の鑑定依頼、化石の産地、展示解説の表記、鉱物標本の展示状況、恐竜の名前の由来、石の取り扱いについて、など
		電話	9	金の産地、アーカイブ掲載標本の画像利用、鉱物の展示について、など
		FAX、メール、手紙、その他	4	化石の鑑定依頼、化石の採集場所、P/T境界の場所、旧職員の連絡先について、など
生物	134	来館	30	標本閲覧、生物の同定依頼、資料寄贈の相談、開発事業における自然環境配慮のための調査及び保全方法について、など
		電話	30	半自然草原の価値について、県内で記録された珍しい鳥について、昆虫に対する温暖化の影響について、など
		FAX、メール、手紙、その他	74	生物の写真の同定依頼、県北で大量発生したチョウについて、ツキノワグマ対策について、など
考古	48	来館	24	石器・土器の鑑定依頼、県内の土偶の出土状況やその用途など、石棒の産地、源勝寺聖観音像の文化財指定について、など
		電話	15	土偶や土器の展示状況、出版物の内容照会、遺跡の関連資料や出土物について、など
		FAX、メール、手紙、その他	9	雫石川流域採取の有孔石器、考古学教育、土偶の展示、「岩手考古学」掲載図の内容、文化財調査員募集に応募することへの助言について、など

歴史	62	来館	14	資料寄贈の相談、所蔵資料の解説や保管方法、先祖の経歴、鉄瓶の作り方の変遷、歴史教育の伝え方、盛岡での美術展覧会について、など
		電話	22	先祖のルーツ、地割表記の由来、展覧会事業の画像利用、南部家関連資料の所蔵、毛皮獣養殖所関連資料および展示、古文書講座、千田家文書の閲覧について、など
		FAX、メール、手紙、その他	26	資料の所在確認、石碑の内容の解説、資料の画像利用、先祖の経歴、文書修復業者の照会、気仙隕石について、など
民俗	149	来館	17	来訪神の分布、神楽面の分類方法、県内の九相図の所在、遺品整理の相談、南部杜氏の酒の造り方、閉伊紙ほか
		電話	49	社堂や宝物の管理相談、県内民家の押し板、昔の給食、絵心経の解説、糸染めの紫根染作品の所在、盛岡の豆腐文化、地域おこしの相談、蘇民将来譚ほか
		FAX、メール、手紙、その他	85	自筆論文の校正依頼、博物館における伝統文化教育、念仏剣舞の唄の復元協力依頼、石造物の銘解説、郷土探求学習の題材ほか
文化財科学	14	来館	1	閉伊和紙・桑透き台について
		電話	10	くん蒸サービス、くん蒸薬剤、滅菌装置の保守点検、蛍光灯製造中止に係る代替措置、虫害の対応方法について、など
		FAX、メール、手紙、その他	3	古銭に付いたテープを除去する方法、文化財保存に関するインターンシップ、板絵額装絵馬の修繕について
合計	446			

(3) 調査研究活動

博物館における調査研究は、展示や教育普及等を展開する上での基幹活動に位置づけられている。各学芸員は、研究テーマを小テーマとこれを包括する大テーマに区分した上で、各テーマに関する調査研究を行っており、これらの中には当館の研究協力員や他機関に所属する研究者と共同で進められているものも含まれる。また、3月2日には「令和7年度館内調査研究報告会」を開催し、全学芸員から調査研究の進捗や成果が報告された。

なお、一定の成果が得られたものについては、『岩手県立博物館研究報告』第43号および『岩手県立博物館調査研究報告書』第39冊をはじめ、関連する学術誌や各種報告書等への掲載、学会での発表によって成果の公表に努めている。

ア. 調査研究活動の概要

地質部門4テーマ、生物部門14テーマ、自然史部門（地質・生物）1テーマ、考古部門6テーマ、歴史部門9テーマ、民俗部門5テーマ、文化財科学部門4テーマで設定し調査研究を行った。個々の成果は下表のとおり。

表5. (3)-1 令和7年度 調査研究テーマとその実施状況

部門	大テーマ	小テーマ	氏名	成果
地質	地域地質に関する研究A	北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究	望月 貴史 佐藤 修一郎	洋野町沿岸部において、神奈川大学や深田地質研究所と共同で上部白亜系種市層の調査を行い、柱状図の作成や標本のサンプリングを行った。
	地域地質に関する研究B	奥羽山脈ならびに北上低地帯における地質学的資料に関する基礎的研究	佐藤 修一郎 望月 貴史	滝沢市の玉髓産地である燧堀山や高峰山を調査し、標本採取を主に行った。また、一戸町檜山に分布する四ツ役層小祝泥岩部層から産出する貝類化石について調査し、巻貝等の化石を採取した。
	古生物学的研究	古生代および中生代に関する古生物学的研究	望月 貴史	継続調査として、花巻市大迫町のシルル系名目入沢層の化石の調査及びサンプリングを行い、その成果について2025年度の日本古生物学会年会において発表した。
	地域環境に関する研究	火山・地震・気象・災害・資源に関わる研究	佐藤 修一郎	継続して県内に設置されている地震計の分布を調べている。分布図とともに地震学習の教材として活かしたい。
生物	地域生態系の研究	岩手県内の絶滅危惧種の生息状況の把握	鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	岩手県内の絶滅危惧種の生息状況について情報を収集し、一部の種については現地調査や撮影を実施した。成果はR7年度テーマ展で公表した。
	所蔵資料の研究	当館で所蔵する生物学関連資料に関する研究	鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	当館へ移管予定の県立岩泉高等学校所蔵生物標本・理科教材・生物部の活動記録等について、来歴等の調査を行い、リストを作成した。（鈴木） 根口コレクション、市川コレクション、岩手大学昆虫学教室コレクション等について、資料情報公開に向け、標本データのデジタル化と採集地データや採集年月日の補完、再同定等の整理を研究協力員やボランティアの協力により進めた（渡辺）
	脊椎動物の生態学的研究	湿性草原の生物多様性保全における耕作放棄地の生態的価値：鳥類を指標とした評価	高橋 雅雄	富士フィルム・グリーンファンドの助成を得て、沖縄本島・宮古島・石垣島で湿性草原棲鳥類（オオセッカ・シマクイナ等）の越冬確認調査を実施した。東北地方のオオセッカの越冬状況について論文化し、日本鳥学会誌に投稿し受理された。

生物	脊椎動物の生態学的研究	東北地方の草原棲鳥類の繁殖生態に関する研究	高橋 雅雄	湿性草原棲鳥類のオオヨシキリについて、岩手大学獣医学部・岩手県立大学総合政策学部と共同で盛岡市と滝沢市で捕獲調査を実施した。また、ホオアカについて、青森県八戸市で捕獲調査を実施した。それらで得られた血液サンプルを用いて、血中寄生虫の感染率を明らかにした。
		東北地方の希少猛禽類の繁殖生態に関する研究	高橋 雅雄	オジロワシについて、青森県での営巣数・営巣環境・繁殖成績を野外調査した。チゴハヤブサについて、岩手県内でNHK総合「ダーウィンが来た」の撮影を実施した。ハヤブサについて、岩手県内での採餌内容を野外調査した。
		カワウの生態と保全管理に関する研究	高橋 雅雄	岩手県と青森県において、カワウの生息状況について野外調査を実施した。岩手県のカワウ駆除個体の胃内容を解剖調査で記録し、内部寄生虫を回収した。青森県八戸市のカワウ越冬個体のサケ稚魚捕食被害について論文化し、魚類学系の英文誌に投稿した。
		タヌキ溜糞場の生態的価値の解明	高橋 雅雄	博物館敷地内のタヌキの溜糞場にてセンサーカメラを用いたカメラトラップ調査を長期間実施した。
	岩手県内の脊椎動物の生息分布に関する研究	岩手県の脊椎動物の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	両生類・爬虫類・鳥類・哺乳類について岩手県内で標本の収集に努めた。
		博物館周辺の鳥類と哺乳類の生息状況に関する研究	高橋 雅雄	当館周辺の雑木林において、鳥類の捕獲調査と哺乳類を対象としたカメラトラップ調査を実施した。
	鳥類の文化利用に関する研究	絵画芸術に描かれた鳥類に関する研究	高橋 雅雄	埼玉県立自然の博物館で令和7年度に開催された特別展「群れる鳥」の展示図録にて、「絵画に描かれた鳥の群れ」について執筆した。菊池寛実記念智美術館で令和7年度に開催された「鳥々 藤本能道の色絵磁器」展の関連イベントとして8月23日に開催された講演会「ともびdeバードウォッチング」にて、「藤本能道が色絵磁器に描いた鳥類」について講演した。
	地域の無脊椎動物相と生態に関する研究	県内の無脊椎動物相の研究	渡辺 修二	八幡平市の農業水路に生息するカワシンジュガイの分布を調査した。また、金ケ崎町で水路改修によりカワシンジュガイが大量斃死した状況を調査した。これらの内容をまとめ、水環境学会東北支部会のセミナーで講演した。盛岡市の昆虫相の調査を岩手虫の会会員等の協力者と共に実施した。調査結果の一部は盛岡市が実施している「盛岡市自然環境調査」に提供し、今後執筆される報告書を通して公表される。
		県内の無脊椎動物の分布に関する研究	渡辺 修二	岩手県の山地に分布するイブキヒメギス類及び、比較用のヒメギス標本の整理を進めた。
		県内の洞穴性無脊椎動物の分布及び生態に関する研究	渡辺 修二	龍泉洞及び龍泉新洞における地下水生生物相の調査のため、日本洞穴学研究所からの支援を受け、釧路公立大学、北海道大学と共同で調査を行った。令和6年度実施分については「水生動物」第2025巻に査読論文として掲載された(共著)。住田町の空穴第四洞の第二回調査を京都大学、東山ケイビングクラブ等と共同で実施した。
地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の絶滅危惧植物を中心とする植物の分布と生態に関する研究	鈴木 まほろ	岩手県レッドリストで絶滅危惧種とされているハクセンナズナ、カンチスゲ、チシマセンブリ、マツムシソウ等について、生育環境および個体数の調査を行った。また早池峰山において、ニホンジカ等の出没状況及び植生への影響を調査したほか、気象観測を行った。早池峰山の調査結果については県及び東北森林管理局に報告書を提出した。県振興局からの依頼により、北上地区及び大船渡地区において、公共工事に先立つ絶滅危惧種の確認調査及び移植作業の立ち会いを行った。朝倉書店からの依頼により、絶滅危惧種が多く生育する安比高原の野草草原について文献調査・聴き取り調査等を行い、『図説 日本の草原(仮)』に収録される予定の原稿を執筆した(R8年度刊行予定)。	

生物	地域の植物相と植物生態に関する研究	県内の植物相の研究	鈴木 まほろ	盛岡市からの依頼により、岩手県植物誌調査会会員有志と合同で、盛岡市内4箇所の山林において植物相の調査を行い、標本を収集した。結果は盛岡市へ報告した。また、引き続き岩手県植物目録の編集を行った。目録は岩手植物の会より令和8年度に刊行予定。
自然史(地質・生物)	自然史標本の管理・公開に関する研究	自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究	望月 貴史 佐藤 修一郎 鈴木 まほろ 渡辺 修二 高橋 雅雄	被災した植物標本・昆虫標本の応急処置法と修復方法について執筆し、『必携 文化財防災の手引き』(日高真吾・小谷竜介編著、丸善出版株式会社、令和8年1月30日発行)に収録された。また、事業団創立40周年記念企画展において、被災自然史資料の修復について展示を行った。(鈴木・渡辺) 文化庁助成 Innovate Museum 事業として、他館と連携し、化石標本について画像および3D データを製作してデジタルアーカイブに追加したほか、3D プリンタを用いて模型を製作し、教育普及・展示活動に活用した。(望月・佐藤)
考古	考古学史の研究	岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ	金子 昭彦 高木 晃 米田 寛	当館所蔵草間俊一コレクション整理をとおして、岩手の考古学史を振り返り、館内資料収蔵目録として公開する予定だったが、担当者が来年度の『研究報告書』を引き受けたこともあり、わずかしか進まなかった。
	先史時代の考古学的研究	岩手における縄文期～古墳時代墓制関連遺跡の調査研究	高木 晃 金子 昭彦 米田 寛	県受託県内遺跡調査事業として、令和6年度から5年間の計画で本県における縄文期から古墳時代にかけての墓制について考古学的な調査を実施中である。今年度は一戸町親久保Ⅱ遺跡の発掘調査を行ったが、当初の見込みに反して関連する時期の遺構、遺物等成果は得られていない。次年度は対象遺跡変更を計画中である。
	先史時代の考古学的研究	縄文時代の土偶の研究	金子 昭彦	来年度担当するテーマ展「日本一多い岩手の土偶」に実数を示すため『研究報告書』を図録代わりに引き受け作成中である。『青森県考古学』第33号に「東北地方北部・縄文時代後期前～中葉の土偶編年」、『岩手考古学』第37号に「亀ヶ岡文化の弧線踏張土偶ほか」、(公財)岩手県埋蔵文化財センター『紀要』第45号に「東北地方・縄文晩期の土偶(9)」を執筆した。
		岩手の後期旧石器時代前半期の研究	米田 寛	科学研究費基盤A関連調査として、金ヶ崎町柏山館跡、雫石町板橋Ⅲ遺跡、一関市下金森遺跡の発掘調査を実施した。また、関連調査として、花巻市宿内遺跡の年代測定実施、風穴洞穴の再検討を行った。これらの成果により、旧石器時代の年代感が大きく更新されることを見込む。その成果は次年度以降の当館研究報告等で公表する。
		岩手の旧石器時代の石材研究	米田 寛	県内の石材調査を進め、集団の移動を論じる基礎データの蓄積を行った。
		縄文時代の遺跡立地に関する研究	高木 晃	前年度から引き続き岩洞湖畔の遺跡踏査を行い、過去の踏査結果と合わせて研究報告43号に報告を投稿した。合わせて、岩洞湖H遺跡において、岩手県教育委員会と合同で発掘調査を実施した。調査成果は令和9年度県教委発刊の調査報告書に掲載予定。
	古墳時代の考古学的研究	岩手県内における古墳時代社会についての研究	高木 晃	予定していた方割石の用途分析調査は諸事情により実施できなかったが、関連として北海道埋蔵文化財センター主催講演会で北東北の古墳時代についての講演を行った。
歴史	館蔵資料の研究	当館で所蔵する歴史学関連資料に関する研究	工藤 健 久保 賢治 目時 和哉 大鈿地 駿佑	当館所蔵の資料について、古文書を中心に整理を行った。また、大船渡市の千田家文書約36,000点を受贈し、外部組織の協力を得ながら目録作成を進めている。次年度の本テーマに係る調査研究の成果はテーマ展で公開する。当館での古文書整理の取組について、岩手古文書学会主催のシンポジウムで紹介した。また、紺紙金銀字一切経とされる館蔵資料について、文化財科学部門と連携して、金・銀字部分に蛍光X線分析を加え、実物とする上で大きな矛盾がないことを確認した上で企画展中で展示を行った。

歴史	古代～中世史の研究	古代・中世の東北史の研究	目時 和哉	本県の古代～中世史の展開とその特性について、天文事象との関わりという視点から再整理し、成果を企画展において公表した。また、当館蔵「後三年合戦絵巻」について、徳川美術館の協力を得て検討を加えた結果、尾張藩の支藩である高須松平家に伝世したものである可能性がきわめて高いことが確認された。
	近世史の研究	当館所蔵史料群の整理・分析による岩手地域の近世藩領村落・地域社会史の研究	大銚地 駿佑	陸奥国気仙郡綾里村千田家文書(約 36,000 点)及びそのデジタルデータの寄贈を受け、長年にわたり千田家文書の調査研究に取り組んできた千田家文書研究会と共同で目録作成を進めている。また、千田家文書の解読・分析にも取り組んでいる。次年度以降も引き続き千田家文書の目録作成と解読・分析を進め、その成果の一部は令和8年度テーマ展等で公表していく予定である。
	古美術の研究	当館所蔵の古美術コレクションに関する研究	久保 賢治	元持コレクションについて記録整理を進めた。特に鐔と刀剣について調査整理を進め、デジタルアーカイブで公開する準備を整えた。コレクション全体を把握することができる目録作成を進めた。
	近代・現代史の研究 近代・現代史の研究	太田孝太郎コレクション中国古印に関する調査	工藤 健	当館で所蔵する、太田孝太郎が収集した中国古印のコレクションのうち印面が未解読のものについて、山東大学劉海宇氏とともに、東北大学金属材料研究所の協力を得て解読を進めた。現在、劉氏が論文を執筆中で、本研究の取り組みについて盛岡市中央公民館主催の講座で紹介した。
		近現代岩手県における人的ネットワークに関する研究	工藤 健	情報収集を進め、次年度にトピック展を開催する準備を進めた。成果の一部は、盛岡市中央公民館主催の講座で発表した。
		戦時中の記録継承の方法と課題に関する研究	工藤 健	戦時中に現滝沢市に置かれた毛皮獣養殖所について、上智大学北條勝貴氏らとともに調査研究を進めた。成果はトピック展及び歴史特別講座を開催して公表した。本研究により得られた新たな情報は、次年度での公表を目指す。また、戦時中の当県満州開拓団について、岩手県立大学三須田善暢氏とともに調査を進めており、年度内のトピック展開催を目指して準備を進めている。
	災害史・災害文化に関する研究	岩手県の災害の歴史に関する研究	目時 和哉	県内に所在する津波関連のモニュメント群について、悉皆的に行った調査結果を整理し、定性・定量両面から検討を加え、その成果を調査研究報告書にまとめた。
民俗	有形民俗資料に関する研究	岩手の民具一般に関する基礎研究	川向 富貴子	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料目録発刊に向けて暦関係資料の再整理を実施、うち20点をデジタルアーカイブにて先行公開した。また、適切な保存管理のためアーカイバル容器の仕様を検討し製作した。 ・切り紙細工による正月飾りの分布調査を実施した。このうち、軽米町小軽米月山神社、陸前高田市横田町熊野神社、一関市旧大東町熊野神社のものを採集し資料化を進めた。 ・二戸市二戸歴史民俗資料館と合同で二戸市内の神仏調査(金田一延命地藏堂、個人所蔵おしらさま)を実施しデータの共有化をはかった。
	無形民俗資料に関する研究	岩手の無形民俗一般に関する基礎研究	川向 富貴子	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究報告書発刊に向けて森口多里コレクション写真のデジタル化を進めた。一部は館内展示「いわての暮らし」で公開した。 ・民間巫者による口寄せ等を収録した音源資料を採集し資料化をはかった。「祈りとごちそう」をテーマにテレビ岩手と民俗調査及び番組制作を行った。また、宮古市北上山地民俗資料館の協力により旧川井村の行事食レプリカを製作し資料化した。 ・県内民俗芸能のデータを集積し、国立歴史民俗博物館基幹研究プロジェクト(日本歴史文化知)に係る研究会にて報告を行った。(3/15)
	無形文化遺産に関する研究	岩手の無形文化遺産に関する研究	戸根 貴之	当館所蔵資料及び各酒蔵、機関所有資料等をもとに、いわての酒造りに関する歴史、文化、技術等についてまとめ、テーマ展で成果を公表した。また、その成果の一部は酒蔵見学会、北上市立花地区センター新春講演会でも解説した。

民俗	民家の保存と活用に関する研究	岩手の民家に関する研究	近藤 良子	南部曲がり屋及び直屋での住まい方や昔の道具等についての調査結果を民俗講座等の教育普及事業において活用した。
	手仕事に関する研究	盛岡竿に関する研究	近藤 良子	盛岡竿や盛岡毛鉤の発祥についての文献調査を行った。また、盛岡竿の竿師から制作工程等について聴き取り・記録調査を行い、寄贈された制作道具について整理を進めデータ化した。結果は、当館日曜講座やトピック展で公表し、研究報告にまとめた。
文化財科学	文化財の保存修復に関する研究	水損資料の安定化処理法および抜本修復法に関する研究	丸山 浩治 古舘 祥子	仮設修復施設解体の現実性が増したため、水損資料の安定化処理における乾燥方法について見直しを迫られた。方法を模索し、川崎市市民ミュージアムで行っている乾燥方法を導入した。当該施設の方法を単に真似るのではなく、作業効率を向上させ、資料の紙質に合わせた乾燥方法を実践出来ている。結果は調査研究報告会で発表した。
		大量にある紙製資料の効率的な修復方法に関する調査及び研究	古舘 祥子	大量資料を短時間で修復できる漉き嵌め方法について、今まで実施した中で直面した課題を解決するために調査を行った。当館で使用している漉き嵌め機と同機種を導入しており運用実績の高い国立公文書館に相談と調査を兼ねて見学を実施した。見学で得られた知見は、今後当館の漉き嵌め運用に活用していく予定。
	展示・収蔵環境に関する研究	施設設備が不十分な環境下での資料保全に関する研究	丸山 浩治	<ul style="list-style-type: none"> ・当館内で光（自然光・人工光）が資料にどの程度影響を及ぼしているか、和紙試料の色差測定による変退色調査を行った。結果は調査研究報告会で発表した。 ・大規模改修が行われた石川啄木記念館・盛岡市玉山歴史民俗資料館の館内環境について、空調装置等機器類がどのように作用するか共同でモニタリングを実施した。空気汚染物質、照明等環境調査も含めて次年度も作業を継続する。 ・岩泉町歴史民俗資料館と共同で、生物資料（ミイラ化したもの）の展示公開方法について安全かつ安価な方法を検討し、実践した。次年度もモニタリングと改善を継続する。
	前近代における自然災害史研究	火山噴火イベントと物質文化の変遷に関する研究	丸山 浩治	南部地方における八郎太郎伝説と十和田 10 世紀噴火との関わりを地形と遺跡から検証し、二戸市浄法寺の伝承がラハール災害を伝えたものである可能性を指摘した。成果は専門誌で公表し、令和 8 年度の日曜講座で紹介予定である。

表 5. (3) -2 調査研究活動に関わる製作・同定

部門	事業名	内容
地質	岩石標本箱製作	木箱（浅箱）8 個を製作した。
	岩石薄片製作	岩石薄片 7 点を製作した。

イ. 館内調査研究報告会

〔日 時〕 令和 8 年 3 月 2 日（月）

9：30～9：35 開会行事・挨拶

坂本 美知治（館長）

I 個別調査研究

（午前の部）

9：45～10：00 光の影響による紙の変退色 丸山 浩治（文化財科学）

10：00～10：15 紙製資料の安定化処理における乾燥方法の考察
－エア・ストリーム乾燥法を中心に－ 古舘 祥子（文化財科学）

10：15～10：30 タヌキとハンコ
－外部連携による近現代史の可能性－ 工藤 健（歴史）

10：30～10：45 元持コレクションの罎にみる素材・色絵象嵌技法 久保 賢治（歴史）

10：45～11：00 〔休憩〕

- 11:00~11:15 陸奥国気仙郡綾里村千田家文書の受入れについて 大銃地駿佑 (歴史)
- 11:15~11:30 科学研究費助成事業による発掘調査成果報告
「金ヶ崎町柏山館跡、雫石町板橋Ⅲ遺跡、一関市下金森遺跡」
米田 寛 (考古)
- 11:30~11:45 岩手の山地・沿岸に土偶が少ないのはなぜか 金子 昭彦 (考古)
- 11:45~12:00 令和7年度考古部門の発掘調査
—盛岡市岩洞湖H遺跡、一戸町親久保Ⅱ遺跡— 高木 晃 (考古)
- (午後の部)
- 13:00~13:15 盆行事探訪 川向富貴子 (民俗)
- 13:15~13:30 釣り随筆『四季の蓑笠』の内容とその位置づけ 近藤 良子 (民俗)
- 13:30~13:45 「いわての酒造り」を振り返る 戸根 貴之 (民俗)
- 13:45~14:00 調査出張で訪れた沖縄諸島と先島諸島 高橋 雅雄 (生物)
- 14:00~14:15 [休憩]
- 14:15~14:30 龍泉新洞の地底河川に生息する生物 渡辺 修二 (生物)
- 14:30~14:45 早池峰山高山帯における7年間のセンサーカメラ調査
鈴木まほろ (生物)
- 14:45~15:00 上部白亜系種市層の層序の再検討 望月 貴史 (地質)
- 15:00~15:15 滝沢市の玉髓 佐藤修一郎 (地質)

II 部門別調査研究

- 15:15~15:45 [地質・生物・歴史・文科・民俗・考古]
- 15:45~ 閉会行事・講評 石田 知子 氏 (岩手県文化振興事業団 理事長)

ウ. 調査研究成果の公表

(ア) 岩手県立博物館研究報告 第43号

(A4判相当PDF版・66頁 発行日：令和8年3月31日 当館HPにて公開)

1. 山本好和・佐藤幸子・鈴木まほろ 岩手県岩手山の地衣類
2. 山本好和・佐藤幸子・鈴木まほろ 岩手県花巻市大沢温泉の地衣類
3. 高橋雅雄・浅川崇典・金野悠・荒木美智代・村上悦夫・安藤泰彦・関川實 2020-2025年に岩手県内で確認された稀な鳥類
4. 佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二 岩手県雫石町のトンボ相 (3) ールリイトトンボとオオトラフトンボの初記録を含めて一
5. 高木 晃 岩洞湖畔遺跡群の踏査報告
6. 米田 寛 花泉(金森)遺跡出土動物骨化石の線状痕
7. 近藤良子 横川良助と釣り～釣り随筆『四季の蓑笠』をめぐって～

(イ) 岩手県立博物館調査研究報告書 第39冊

(A4判相当PDF版・104頁 発行日：令和8年3月11日 当館HPにて公開)

編集：目時和哉 (岩手県立博物館) 刊行：公益財団法人岩手県文化振興事業団

「岩手県内に所在する近現代の津波に関するモニュメント群の研究」

(ウ) 学会・研究会・他機関での発表および著作 (*：共同発表の際の当館職員)

a. 口頭発表等

- ・今西貞夫・田中正彦・安西英明・久下直哉・森茂晃・高橋雅雄*・松村万知子：北海道のノビタキは

本州を通過する. 日本鳥学会 2025 年度大会, 2025 年 9 月, 札幌市, 口頭発表

- ・佐々木未悠・高橋雅雄*・蛭名純一・東信行・沓掛展之:「ニューナイスズメの繁殖生態:一巢の価値に着目して. 日本鳥学会 2025 年度大会, 2025 年 9 月, 札幌市, 口頭発表
- ・立石淑恵・高橋雅雄*・東信行:北海道および東北地方におけるチゴハヤブサの営巣環境. 日本鳥学会 2025 年度大会, 2025 年 9 月, 札幌市, ポスター発表
- ・石川智絵・高橋雅雄*・菅澤颯人・関まどか・佐藤雪太:国内の湿性草原で繁殖する鳥類における住血原虫保有状況の解明. 第 71 回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会, 2025 年 10 月, 十和田市, 口頭発表
- ・佐々木未悠・高橋雅雄*・蛭名純一・東信行・沓掛展之:ニューナイスズメの攻撃性と繁殖生態. 第 39 回日本鳥類標識協会全国大会 (岩手大会), 2025 年 11 月, 盛岡市, 口頭発表
- ・金子昭彦:十腰内 I 式併行期の岩手県. 十腰内 I 式土器編年シンポジウム, 2025 年 11 月, 青森市, 口頭発表
- ・水野翔太・ルグラン ジュリアン・滝本秀夫・大花民子・中島保寿・望月貴史*・加藤太一・吉川広補:岩手県下部白亜系宮古層群から産出した孢子・花粉化石. 日本古生物学会 2025 年年会, 2025 年 6 月, 札幌市, ポスター発表
- ・望月貴史:岩手県花巻市大迫町のシルル系名目入沢層から産出した藻類化石. 日本古生物学会 2025 年年会, 2025 年 6 月, 札幌市, ポスター発表
- ・青木大輔・先崎理之・安藤温子・小田谷嘉弥・HEIM Wieland・北沢宗大・WULF Tom・TRENSE Daronja・BASTARDOT Marc・福田篤徳・高橋雅雄*・今藤夏子:島嶼が大陸集団の動態に果たす役割:シマクイナにおける集団ゲノミクスによる検証. 第 73 回日本生態学会大会, 2026 年 3 月, 京都市, 口頭発表
- ・直江将司・鈴木まほろ*・梶本卓也:ハイマツの結実豊凶と温暖化の関係:標高間での比較および 30 年前との比較から. 第 73 回日本生態学会大会, 2026 年 3 月, 京都市, ポスター発表
- ・矢原徹一・廣田峻・鈴木まほろ*・尾関雅章・大西亘・布施健吾・佐藤広行・夫婦石千尋・社川武徳・高野温子・長谷川匡弘・永濱藍・志賀隆・田金秀一郎・松元颯紀・末次健司・陶山佳久:1 種から 14 種へ:日本におけるニワトコ複合体の MIG-seq による解析と形態比較. 日本植物分類学会第 25 回大会, 2026 年 3 月, 熊本市, ポスター発表

b. 論文・報文

- ・Daisuke Aiba and Takafumi Mochizuki*. (2025) Ammonoids and inoceramid bivalves from the Upper Cretaceous shallow marine deposits of Taneichi Formation in Hirono Town, Iwate Prefecture, northeastern Japan: implication for biostratigraphy. *Cretaceous Research*, 175: 106148. 査読あり
- ・佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二* (2025) 岩手県内陸部におけるマダラヤンマの追加記録—滝沢市内 2 ヲ所での採集—. 月刊むし, 658: 33. 査読なし
- ・川瀬啓祐・渡辺修二* (2025) 岩手県盛岡市でアメリカピンクノメイガを確認. 月刊むし, 658: 40. 査読なし
- ・佐々木 全・佐々木悠太・渡辺修二* (2026) 岩手県滝沢市におけるマルタンヤンマの初採集. 月刊むし, 661: 53. 査読なし
- ・Takayuki Suenaga, Takumi Saito, Osamu Kagawa, Yoshihisa Suyama, Yoshihiro Tsunamoto, Shuji

- Watanabe*, Tadaaki Yanagisawa, Muneo Taira, Satoshi Chiba (2026) Hidden in the dark: complex evolutionary history revealed by genome-wide analyses of cave amphipods. *Journal of Evolutionary Biology*, 39: 412-422. 査読あり
- ・太田 瑞希・元村優介・宗像みずほ・安藤奏音・渡辺 修二* (2025) 龍泉洞外河川(清水川)から採集された地下水生微小甲殻類. *水生動物*, 2025: AA2025-34. 査読あり
 - ・高橋雅雄 (2025) 石川県におけるクイナ *Rallus indicus* とヒクイナ *Zapornia fusca* の越冬状況. *河北潟総合研究*, 27: 1-5. 査読あり
 - ・Daisuke Aoki, Masayuki Senzaki, Haruko Ando, Yoshiya Odaya, Wieland Heim, Munehiro Kitazawa, Tom Wulf, Daronja Trense, Marc Bastardot, Atsunori Fukuda, Masao Takahashi* & Natsuko Kondo. (2025) Phylogenomics Supports Island Contribution to Metapopulation Dynamics in a Predominantly Continental Bird Species. *Journal of Biogeography*, 52(11): e70038. 査読あり
 - ・金子昭彦 (2026) 亀ヶ岡文化の弧線踏張土偶ほか. *岩手考古学*, 37: 19-26. 査読なし
 - ・金子昭彦 (2026) 東北地方・縄文晩期の土偶(9). (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要, 45: 1-20. 査読なし
 - ・金子昭彦 (2026) 東北地方北部・縄文時代後期前～中葉の土偶編年. *青森県考古学*, 33: 53-72. 査読あり
 - ・金子昭彦 (2026) x字形土偶. *物質文化*, 105: 103-118. 査読あり
 - ・金子昭彦 (2026) 土偶・土製品. 玉清水(1)遺跡(遺物編): 30-33. 査読なし

c. 普及書、新聞の著作、その他

- ・丸山浩治 (2025) 平安期の十和田噴火と災害伝承(太平洋側). *季刊考古学* 173 災害・防災考古学と現代日本. 雄山閣
 - ・鈴木まほろ (2026) 植物標本の応急処置. 日高真吾・小谷竜介(編著) 必携 文化財防災の手引き, pp 165-170. 丸善出版
 - ・渡辺修二 (2026) 昆虫標本の応急処置. 日高真吾・小谷竜介(編著) 必携 文化財防災の手引き, pp 171-177. 丸善出版, 東京.
-
- ・読売新聞岩手版「ミュージアムリポート」
 - 近藤 良子 「アナコンダの皮ー収蔵庫に眠るお宝 大集合ー」 2025年4月18日
 - 高橋 雅雄 「ニタリの剥製ー巨大な目に小さなローー」 2025年5月2日
 - 高木 晃 「軒平瓦の派遣ー歴史解く 重要資料ー」 2025年5月9日
 - 望月 貴史 「種市層ー化石 地層の観察・記録大切ー」 2025年6月6日
 - 工藤 健 「国絵図ー地図で読み解くメッセージー」 2025年6月20日
 - 目時 和哉 「唐丹村測量之日ー岩手に刻まれた忠敬の足跡ー」 2025年8月1日
 - 米田 寛 「縄文期木製品ー用途分からぬ出土資料ー」 2025年8月8日
 - 目時 和哉 「向鶴紋刀装具ー鶴と星 南部氏戦の守り神ー」 2025年8月15日
 - 丸山 浩治 「学校日誌ー戦中戦後 大切な記録ー」 2025年8月22日
 - 川向富貴子 「せなかあてー先祖いたわる 盆のお土産ー」 2025年9月5日
 - 鈴木まほろ 「気象観測装置ー高山 気候変動の影響探るー」 2025年9月19日

高木 晃	「注口土器―縄文人が酒を注いだ?―」	2025年10月3日
戸根 貴之	「松尾様―酒造りの守り神 まつる―」	2025年10月17日
渡辺 修二	「クマの剥製―クマとの距離 鈴が一役―」	2025年11月14日
古舘 祥子	「エアタイトケース―文化財 保存環境整え展示―」	2025年11月21日
大銃地駿佑	「手扣帳―目録作成で史実解明―」	2025年12月5日
金子 昭彦	「大型土偶の頭部―身長1メートル前後 規格外の謎―」	2025年12月12日
望月 貴史	「化石の3D画像―骨格標本にレプリカ重宝―」	2026年1月9日
久保 賢治	「河川で発見 餅鉄―粘着力強く軟らかな性質―」	2026年1月23日
佐藤修一郎	「滝沢産の玉髓―賢治が詠んだ『山の結晶』―」	2026年2月6日
近藤 良子	「伝統 盛岡毛鉤―英知結集 川釣りの仕掛け―」	2026年2月20日
鈴木まほろ	「マツムシソウ保全―地域で協働 草刈りの効果―」	2026年3月6日
渡辺 修二	「野帳の重要性―自然再興 観察と記録で―」	2026年3月13日
・岩手日報「いわてリレーエッセー 遊歩道」		
川向富貴子	「無用の用」	2025年4月26日
川向富貴子	「変容と消失の民俗」	2025年10月25日
・いわて文化財 vol.296		
戸根 貴之	岩手の酒造りの守り神	2025年6月30日
・全科協 News vol.56(2)		
近藤 良子	「学び手」から「担い手」へ ―特別支援学校との 博学連携がつくる学びのプラットフォーム―	2026年3月1日
・公益財団法人 屋久島環境文化財団「屋久島通信」92号		
高橋 雅雄	屋久島・種子島における湿性草原棲絶滅危惧鳥類の越冬状況	2026年3月

エ. 受託事業実施状況

(ア) 文化財の自然科学的調査・保存修復

岩手県立博物館では、平成2年度から文化財の自然科学的調査・保存修復に関する受託事業を実施している。平成24年度からは東日本大震災で被災した文化財等の安定化処理および修理を開始した。令和7年度の受託事業実績は以下の表に示すとおりである。

表 5. (3)-3 令和7年度実施実績

受託内容	件数	委託機関
被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災鳥羽源藏コレクション安定化処理及び修理業務	1	教育委員会
被災民俗資料安定化処理業務	1	教育委員会
水損紙資料等の真空凍結乾燥処理業務	1	地方自治体
文化財等資料のX線透過撮影業務	1	教育委員会
文化財等資料の赤外線撮影業務	2	教育委員会
文化財等資料の生物学的劣化防除業務	10	教育委員会、資料館等

(イ) 岩手における縄文期～古墳時代墓制関連遺跡調査

考古部門では、令和6年度から5カ年計画の「岩手における縄文期～古墳時代墓制関連遺跡調査事業」を岩手県教育委員会から受託し実施中である。本事業は、本県における縄文期から古墳時代にかけての墓制について考古学的な調査を実施し、遺跡立地、埋葬様式の変遷、地域性の検討を行うことを目的として開始している。初年度の令和6年度は長興寺Ⅰ遺跡（九戸村）の発掘調査を実施したが、調査区に攪乱が入っていたこともあり所期の目的は果たせず、2年目は対象を親久保Ⅱ遺跡（一戸町）に変更した。親久保Ⅱ遺跡は昭和61年度の八戸道関連調査で弥生時代後期の土坑群が検出されており、今回はその隣接地において発掘調査を行った。

調査実施は令和7年11月3日～11月14日に行い、八戸道に隣接する尾根筋の山林中に合計13本のトレンチを設定し遺構・遺物検出につとめたが、縄文時代後期の土器片少量、同時期と推測される小型のフラスコ状土坑1基が確認されたにとどまった。前年度に引き続き成果を挙げられない結果に終わり、改めて当該期の遺構確認の困難さを実感した。次年度はより確実性の高い遺跡を対象とする方針で県教委と協議中である。

オ. 自然史標本データ整備

独立行政法人国立科学博物館が運営する科学系博物館情報ネットワークシステムの自然史標本情報検索システムに掲載するため、当館で所蔵する生物標本資料5,000件について、データ整理・整形を行い、提供した。当館では本事業を平成18（2006）年度から開始し、これまでに提供したデータの総数は15万件を超えている。

カ. 学術研究貢献活動

当館学芸員が依頼を受けた学会の審査員や学術雑誌の査読等、館外の学術研究活動に貢献したものを以下に示す。

表 5. (3)-4 令和7年度学術雑誌の査読等の受託数

学芸員名	学会大会・学術雑誌	実施団体・出版元	備考
鈴木まほろ	日本生態学会東北地区会第70回大会	日本生態学会東北地区会	発表審査
高橋 雅雄	日本生態学会東北地区会第70回大会	日本生態学会東北地区会	発表審査
高橋 雅雄	Ornithological Science	日本鳥学会	担当編集
高橋 雅雄	山階鳥類学雑誌	山階鳥類研究所	査読
高橋 雅雄	山階鳥類学雑誌	山階鳥類研究所	査読
高橋 雅雄	山階鳥類学雑誌	山階鳥類研究所	査読
望月 貴史	全科協ニュース	全国科学博物館協議会	編集委員

キ. 研究協力員制度

当館の調査研究活動の増進に資するため、当館学芸員の推薦により館外研究者を研究協力員として認定し、当館の調査研究等に従事する制度を平成11年度から実施している。研究協力員としての活動期間は3年間で、申請・審査を経て委嘱、更新することができる。

令和7年度は3名の更新が承認された。令和8年3月末現在で10名（順不同）となっている。

○研究協力員（更新）

1. 吉田 裕生（元当館学芸第二課長）
：東北地方産鉱物の記載鉱物学的研究、特にマンガン硼酸塩・硫酸塩鉱物の研究 [地質部門]
2. 千葉 武勝（元岩手県病害虫防除所長）
：昆虫標本の整理、特に鞘翅目、膜翅目昆虫の同定、標本作成、調査研究手法に関する助言 [生物部門]
3. 沼宮内信之（日本森林技術協会）
：北東北の植物相（特にスゲ属） [生物部門]

○研究協力員（継続）

4. 吉田 充（元当館学芸第三課長）
：大鉢森山周辺の母体岩変性岩類から産出する金属資源（金）に関わる調査研究等 [地質部門]
5. 大石 雅之（元当館学芸部長）
：岩手県産脊椎動物化石を中心とする古生物学的研究および地域地質に関する研究 [地質部門]
6. 工藤 紘一（元当館学芸第二課長）
：岩手の年中行事をはじめとする民俗事象の研究 [民俗部門]
7. 大友 令史（岩手県病害虫防除所）
：病害虫の生態的研究 [生物部門]
8. 藤井 千春（元当館主任専門学芸員・岩手県立盛岡北高等学校教諭）
：北日本における発光生物の生態学的研究、洞穴環境に関する研究 [生物部門]
9. 中嶋奈津子（佛教大学総合研究所 特別研究員）
：岩手県内の民俗芸能における継承と伝播について [民俗部門]
10. 千葉 博（元当館学芸調査員 岩手植物の会 岩手県植物誌調査会）
：岩手県内の植物相について [生物部門]

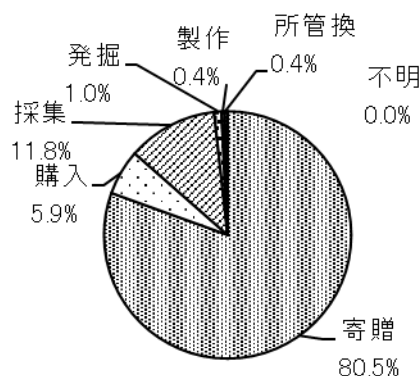
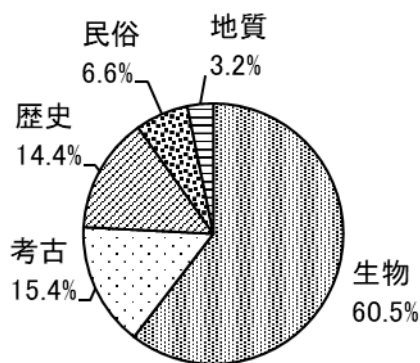
(4) 資料収集保管活動

ア. 資料の収集整理

令和7年度3月末現在の登録資料数は8,291点で、開館以降の累計は393,083点にのぼる(表5(4)-1)。新規登録資料点数は生物部門が最も多く、5,270点で全体の63.6%を占めた。地質部門では五井昭一氏植物化石コレクション等を、生物部門では小田公良氏チョウ類コレクション等を、歴史部門では大船渡山口家資料等を、民俗部門では軽米町月山神社関係資料等を、考古部門では田村壮一氏収集考古資料等をそれぞれ登録した。

表5. (4)-1 令和7年度資料登録状況

	年度区分	地質	生物	考古	歴史	民俗	区分計
採集	令和6年度末累計	3,550	41,309	966	3	240	46,068
	令和7年度計	52	183	-	2	2	239
	累計	3,602	41,492	966	5	242	46,307
発掘	令和6年度末累計	209	-	3,513	-	-	3,722
	令和7年度計	-	-	43	-	-	43
	累計	209	-	3,556	-	-	3,765
寄贈	令和6年度末累計	7,118	178,101	55,259	46,146	21,892	308,516
	令和7年度計	94	5,087	207	2,115	443	7,946
	累計	7,212	183,188	55,466	48,261	22,335	316,462
購入	令和6年度末累計	1,420	12,176	269	6,975	2,547	23,387
	令和7年度計	-	-	-	-	-	-
	累計	1,420	12,176	269	6,975	2,547	23,387
製作	令和6年度末累計	164	590	95	118	521	1,488
	令和7年度計	35	-	-	1	27	63
	累計	199	590	95	119	548	1,551
所管換	令和6年度末累計	1	94	-	1,104	278	1,477
	令和7年度計	-	-	-	-	-	-
	累計	1	94	-	1,104	278	1,477
不明	令和6年度末累計	-	107	-	-	27	134
	令和7年度計	-	-	-	-	-	-
	累計	-	107	-	-	27	134
合計	令和6年度末累計	12,462	232,377	60,102	54,346	25,505	384,792
	令和7年度計	181	5,270	250	2,118	472	8,291
	累計	12,643	237,647	60,352	56,464	25,977	393,083



分野別収蔵点数の割合

受入方法別収蔵点数の割合

県内外の方々のご厚意によって今年度当館が受贈した資料は47件だった(表5(4)-2)。3万点を超える千田家文書など大型歴史資料群の寄贈もあり、収蔵スペースの確保が緊急課題である。ワシントン条約(CITES)および種の保存法で保護されるウミガメ等動物剥製の受け入れも続いている。

資料登録は平成24年4月から早稲田システム開発(株)が提供するI. B. Museum SaaSにより行っている。このシステムを利用し、デジタルアーカイブとして現在1,441件の収蔵資料情報及び画像を公開中である。

表5.(4)-2 令和7年度の主な受贈資料

部門	寄贈者 (敬称略)	居住地 所在地	資料名	数量
地質	佐藤康之	盛岡市	鍾乳石	3
	下之藺朗	洋野町	田野畑村産アンモナイト化石及びガラスケース	2
	佐藤瑞鶴	一関市	東山町産ゾウ類切歯化石	1
生物	大見川遥	宮城県石巻市	フグノクチヤドリ	12
	佐藤幸子	盛岡市	地衣類標本	68
	山崎喜七郎	山田町	アシカ類の毛皮、アオウミガメ剥製	2
	猪苗代充	盛岡市	写真・書籍	一式
	—	—	ヒョウ本剥製、カンザシフウチョウ本剥製	2
	小笠原公	盛岡市	チョウ標本	115
	—	—	テン毛皮(マフラー)	1
	—	—	書籍等	一式
	澤田昭博	盛岡市	ココノオビアルマジロ本剥製	1
	石田知子	矢巾町	ワニ本剥製	1
	三浦肇	盛岡市	オオトカゲ類本剥製	1
	馬場洋子	二戸市	クマタカ本剥製	1
	市川杜夫	盛岡市	標本・調査資料	32
	正木佳代子	盛岡市	ツマグロヒョウモン成虫・蛹殻	2
	岩手県立杜陵高等学校	盛岡市	フォルタン水銀気圧計	1
	佐々木全・悠太	滝沢市	昆虫標本 マルタンヤンマ等	67
考古	田村壮一	西和賀町	考古資料(貝沢出土縄文土器・石器ほか)	210
歴史	金山昱	東京都	太刀 銘 盛岡住山口清房作之	1
	八木隆幸	北海道札幌市	八木家文書	518
	千田基久兵衛	大船渡市	陸奥国気仙郡綾里村千田家文書	一式
	藤島健一	盛岡市	藤島徳之助関連資料	9
	山口和子	大船渡市	大船渡山口家資料	251
	成田伸三	青森県	岩手県職員録(明治8年10月改)	1
	千田家文書研究会	宮城県仙台市	陸奥国気仙郡綾里村千田家文書 画像データ・目録データ(複製)	一式
	和田一幸	青森県八戸市	太刀銘盛岡住山口清房作之、短刀銘三条	2
	熊谷弘和	陸前高田市	2011年東海新報関連資料	一式
	高橋友季	東京都	田村壮一氏蔵書	37
	千田基久兵衛	大船渡市	陸奥国気仙郡綾里村千田家資料	238
今泉美穂	宮城県富谷市	高橋福次郎氏関連資料	2	
歴史・民俗	熊谷弘和	陸前高田市	三陸鉄道開通記念切符ほか	8
民俗	石澤弘	盛岡市	タナゴ竿、盛岡竿(溪流竿)	3
	舟山美知	盛岡市	土人形 谷風	1
	吉田良勝	盛岡市	ながまち梅の湯関係資料	一式
	土樋耕子	雫石町	戦中資料	3
	千葉淳	盛岡市	岩手国体関係資料等	一式
	一條善人	軽米町	幣束、版木・御札	38
煙山信夫	盛岡市	腕時計	4	

民俗	月山神社	軽米町	幣束立て、神籤箱、数珠	3
	森田純巨	奥州市	民俗芸能等映像	87
	熊谷弘和	陸前高田市	カギンほか	7
	湯口靖彦	盛岡市	南部鉄瓶関係資料	4
	熊野神社	陸前高田市	切り紙	1
	—	—	ナショナル製扇風機	1
	小国朋身	花巻市	アイゼン（鉄かんじき）	1

計 47件 1742点・7組

表 5. (4)-3 資料の製作

部 門	名 称	内 容 の 概 略
地 質	動物化石レプリカ	ハナイズミモリウシ頭蓋骨化石レプリカ 1 点
生 物	鳥類の剥製、カエル類のレプリカ	鳥類本剥製 4 点、鳥類仮剥製 7 点、カエル類レプリカ 1 点
民 俗	岩手の郷土料理複製品	宮古市旧川井村のお盆の供物（鼻だんご、まるだんご、せなかあて）複製品
民 俗	音源資料のデジタル化	陸前高田市在住の個人から寄贈された音源資料のカセットテープ計 4 本

表 5. (4)-4 資料の修繕

項 目	部 門	内 容 の 概 略
修 繕	歴史	掛軸 2 点の修繕
修 繕	地質	マメンキサウルス復元骨格標本の補修

表 5. (4)-5 機器類の保守点検と修繕

項 目	部 門	内 容 の 概 略
保守点検	共通	電動リフト

イ. 資料の保管管理

収集整理した資料は部門別または材質別に、第 1～5 収蔵庫で保管される。収集した資料については調査研究が行われ、学術的に重要と判定されたものが博物館資料として登録される。調査研究の過程で得られた学術データはデータベース化される。登録資料および学術データは常設展示や特別展示で公開されるほか、「収蔵資料目録」の刊行、資料貸出し等をとおり、他機関における活用にも積極的に協力している。

(ア) 資料の貸出

本年度も博物館や出版社をはじめとする様々な機関から、実物資料および画像資料について多数の貸出要請があり、実物資料については 28 件（246 点）、画像資料については 47 件 199 点の貸出を行った。実物資料は博物館関係機関のほか、研究機関等における研究材料として、また画像は教科書等教

育用書籍への掲載や、各種報道における利用を目的とする借用が多くを占めた（表5(4)-6・表5(4)-7）。

表5.(4)-6 資料の貸出

部門	貸出先	所在地	資料名	点数
地質	国立科学博物館	東京都	ハナイズミモリウシの全身骨格（複製）等	6
	久慈琥珀博物館	久慈市	モンリュウの上腕骨（レプリカ）等	16
	矢巾町活動交流センター	矢巾町	パラサウロロフスの頭骨（複製）等	17
	東京学芸大学	東京都	アンモナイト	1
	株式会社TBS グロウディア	東京都	ハナイズミモリウシの全身骨格（複製）等	5
	普代村教育委員会	普代村	アパトサウルスの上腕骨化石等	5
	盛岡市見前南地区公民館	盛岡市	プレロダクティルス（レプリカ）等	23
	富山県民会館美術館	富山県	ハナイズミモリウシの全身骨格（複製）等	5
	盛岡市子ども科学館	盛岡市	焼走り溶岩球	1
	奥州市牛の博物館	奥州市	鯨類肋骨片化石等	22
生物	千葉大学教育学部理科教育講座	千葉県	ヒメマルクビゴミムシ標本	21
	宮古市教育委員会	宮古市	哺乳類本剥製	6
	陸前高田市立博物館	陸前高田市	鳥類本剥製	8
	陸前高田市立博物館	陸前高田市	ミズオオバコ（レプリカ）	1
	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター	大槌町	甲殻類標本	31
考古	東北歴史博物館	宮城県	豊岡遺跡 遮光器土偶等	2
	山梨県立考古博物館	山梨県	萩内遺跡出土脚付木皿（複製）	1
	一戸町教育委員会	一戸町	熊穴洞穴出土人骨等	2
	宮古市教育委員会	宮古市	写真資料（カラースライド）	4
	北上市立博物館	北上市	北上市和賀町愛宕山遺跡出土資料	6
歴史	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課	盛岡市	脇差 無銘	1
	一関市博物館	一関市	算額 明治十六年（室根村入沢弥栄神社旧掲）	1
	もりおか歴史文化館	盛岡市	金沢御山大盛之図	1
	（個人）	盛岡市	盛岡城下図（複製）	1
民俗	遠野市立博物館	遠野市	簿冊「符形大事」ほか	15
	村田町歴史みらい館	宮城県村田町	猫図絵馬	41
その他	志和城跡愛護協会	盛岡市	移動展ケース	1
	滝沢市埋蔵文化財センター	滝沢市	移動展ケース	2

計 28件 246点

表5.(4)-7 画像資料の貸出（使用許可含）

部門	貸出先	資料名	点数
地質	めんこいテレビ	石英（玉髄）	1
	株式会社Gakken	気仙隕石ほか	2
	数研出版株式会社	アンモナイトの断面図	1
	株式会社ベネッセコーポレーション	ハナイズミモリウシ	1
	株式会社同成社	ハナイズミモリウシの全身骨格	1
	株式会社幻冬舎	ヒパカンソプリティス カワカミイ（パラタイプ）ほか	2
	株式会社みどりとおおの	オデッサ隕石ほか	4
生物	陸前高田市立博物館	ハマカキラン生態写真ほか	3
	（個人）	イトナルコスゲ標本写真ほか	3

生物	株式会社テレビ岩手	早池峰山のニホンジカ写真（センサーカメラ撮影画像）	3
	岩手県立図書館	ツキノワグマほか	9
考古	一戸町教育委員会	寺場遺跡土偶ほか	2
	山梨県立考古博物館	萩内遺跡出土 岩板ほか	5
	(個人)	総合展示室「いわての夜明け」 竪穴式住居模型ほか	3
	株式会社集英社	手代森遺跡 大型遮光器土偶	1
	株式会社上毛新聞社	豊岡遺跡遮光器土偶	1
歴史	沖縄県教育庁文化財課	ふかひれ（複製）等	3
	(個人)	八木家（波々伯部家）文書	3
	東北大学金属材料研究所	太田コレクション 中国古印	12
	株式会社岩手日報社	後三年合戦絵巻	1
	朝日新聞釜石支局	吉田家住宅の被災状況等	3
	朝日新聞盛岡総局	吉田家文書の洗浄作業等	9
	日本棋院盛岡支部	テーマ展「辿る～岩手の囲碁将棋～」事業写真	3
	めんこいテレビ	三閉伊日記 鉄ヶ崎部分	2
	株式会社 kimika	太田コレクション 中国古印	4
	サイネット株式会社	毛越寺復元模型ほか	4
	(個人)	花巻城下図	1
	紫波町志和公民館	新山神社関連資料	45
	蒲生氏郷公顕彰会日野	鯨尾兜	1
	盛岡市中央公民館	太田コレクション 中国古印	3
	大阪城天守閣	鯨尾兜	1
	盛岡市教育委員会	猪の図（川口月嶺）ほか	14
	北上市役所	木村奎宛南部利直書状（五戸木村家文書）	1
	会津若松市教育委員会	大槌焔屋鍛冶絵巻（複製）	1
	花巻市役所	金田一勝定写真ほか	2
	(個人)	アイヌ風俗画	1
	日本放送協会 コンテンツ制作局・第2制作センター	私残記	1
	株式会社金甲社	鯨尾兜	1
	陸前高田市教育委員会	被災後発見された吉田家住宅の部材	4
(個人)	綾里村当人数御改帳ほか（陸奥国気仙郡綾里村千田家文書）	13	
民俗	三重大学伊賀研究拠点	携帯灯	4
	公益財団法人ニッポンドットコム	おしらさま（貫頭衣）陸前高田市	1
	株式会社テレビ岩手	三陸沿岸のイタコ（森口多里コレクション）ほか	4
	株式会社淡交社東京支社	ケラ（ウシコビキ草製）ほか	5
	日本テレビ放送網株式会社コンテンツ制作局「DayDay.」	岩手日報社主催文化投票入選記念絵はがき「田頭相撲倶楽部」	1
	大船渡市教育委員会	スネカ装束	4
	盛岡市教育委員会	御神楽舞（言立本）ほか	5

計 47件 199点

(イ) 資料の熟覧・撮影等

他機関の職員による展示会等の事前調査や研究者による収蔵資料の熟覧・撮影希望は36件（198点と11組）であった（表5(4)-8）。

表 5. (4)-8 資料調査の熟覧・撮影

部門	貸出先	資料名	点数
地質	(個人)	上八瀬層産の三葉虫標本	一式
生物	(個人)	マルハナバチ属標本	一式
	(個人)	サンショウウオ標本	一式
	(個人)	ニホンオオカミの根付ほか	3
	ふじのくに地球環境史ミュージアム	ラン科ほか	一式
	(個人)	ヤナギ科	一式
考古	一戸町御所野縄文公園	君成田IV遺跡壺形土器ほか	2
	東北大学埋蔵文化財調査室	小田島禄郎コレクション 古代瓦	一式
	一戸町御所野縄文公園	熊穴洞穴出土人骨(頭骨)	1
	えさし郷土文化館	小田島禄郎コレクション 高橋健自講演実録	1
	えさし郷土文化館	小田島禄郎コレクション 瓦ほか	61
	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	小田島コレクション雨滝遺跡出土玉類	1
	奥州市埋蔵文化財センター	弥生時代遺物	一式
	株式会社NTT ArtTechnology	岩手県盛岡市繫科内遺跡出土 土偶頭部ほか	2
群馬県立歴史博物館	奥州市中半入遺跡出土 須恵器	2	
歴史	一関市博物館	算額 明治十六年室根村入沢弥栄神社旧掲ほか	4
	(個人)	鯰尾兜	1
	(個人)	知行新田所被下証文ほか	5
	(個人)	算額 明治十六年室根村入沢弥栄神社旧掲ほか	4
	(個人)	新当流待之鎗之目録ほか	33
	(個人)	田鎖鶴立斎、本堂蘭室、八重樫豊沢関連資料	19
	能楽・喜多流 盛岡喜桜会	松野奏風画「能舞台松羽目及び切戸口」	一式
	仙台市博物館	紙本着色鍛冶神図ほか	2
	岩手日報社	アイヌ風俗図	1
	(個人)	狩野派絵師関連資料	31
	岩手県教育委員会	鉄造異形神像懸仏	1
	佐野美術館	短刀 銘 以餅鉄山内国多作 ほか	5
	もりおか歴史文化館	本小札白糸威二枚胴具足ほか	2
民俗	部落解放同盟栃木県連合会	淡路人形(操人形)ほか	一式
	株式会社めんこいエンタープライズ	卷子「百鬼夜行図」ほか	2
	有限会社笠間書院	おしらさま(包頭衣)	1
	(個人)	数珠	1
	(個人)	かんじき	12
	(個人)	鋤	1
文化財科学	(個人)	被災資料の安定化処理・修復作業	一式
共通	(個人)	民具・剥製ほか	一式

計 36 件 198 点、11 組

(ウ) 収蔵資料目録の刊行

当館収蔵資料を外部の機関や個人が有効利用できるようにすることを目的として、整理・検討が完了した登録資料について、目録を刊行している。令和7年度は新たな目録の刊行はなかった。現在、複数の部門において、令和8年度の公開に向けて準備を行っている。

ウ. 文化財科学部門

岩手県立博物館には、先人から伝えられた貴重な文化財や、自然界の営みを知るうえで重要な自然史標本をはじめとする数多くの学術資料が収蔵・展示されている。これらの資料をできるだけ長くそのままの状態の後世に伝えるとともに、資料が有するさまざまな情報を自然科学的方法で解析し読み解くことを目的として、文化財科学部門が設置されている。

(ア) 資料の保管・管理

博物館資料をできるだけ長く後世に伝えるためには、保存環境を資料の素材に適した整える必要がある。岩手県立博物館では、収蔵庫及び展示室に温湿度記録計を設置し、継続的に温湿度変化を観察している。その結果にもとづき空調機を制御し、さらに必要に応じて除湿機や加湿器を使用しながら、展示室、収蔵庫内の温度を 22°C前後（季節により緩やかな変動あり）、相対湿度を 50～60%に維持することに努めている。なお、特に精密な湿度管理を施す必要がある資料については、調湿剤を設置したエアタイトケースを活用している。

また、資料劣化に係る化学物質（ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、アンモニア）の濃度について、重要文化財展示・収蔵箇所を含む館内各所で年 2 回以上測定し、基準値を超過する箇所については活性炭等の吸着剤を使用して低減を図るなど安定化に努めている。

なお、劣化が進んだ出土金属製品や木製品については、脱酸素剤、調湿剤を入れた透湿抵抗の高いガスバリアフィルムに封入し、劣化の進行防止を図っている。

(イ) 生物学的劣化からの防除

紙製品、木製品、繊維製品、自然史標本等有機物を素材とする資料は、虫やカビにより汚損される心配がある。また、新たに博物館に搬入される資料には有害な虫やカビが付着している可能性があり、有害生物を駆除することなく収蔵庫や展示室に運び込んだ場合、急激に繁殖する恐れがある。有害な虫やカビから資料を守るため、岩手県立博物館では新規に搬入された資料について、基本的に滅菌装置で殺菌殺虫処理（文化財用薬剤によるくん蒸）を行っている。令和 7 年度の滅菌装置によるくん蒸実施状況は、以下の表に示すとおりである。なお、くん蒸を避けるべき資料に対しては、低酸素濃度処理や低温処理で対応している。

表 5. (4)–9 滅菌装置によるくん蒸実施状況

部門・課	数量	資料種別
考古	25 件	骨、土壌、動物標本 他
歴史	127 件	企画展借受資料（木彫仏、同収納木箱他）、行灯、古文書（千田家文書他）、和綴簿冊、新聞、手紙類、図面類、毛皮獣関連資料 他
民俗	68 件	掛軸、正月飾り、谷風人形、裂き織り、玩具、銭湯関連資料、切り紙細工、木製版木、ちゅう木、和竿・毛鉤制作道具、わら細工、テーマ展借受資料（酒造・酒販関連道具） 他
生物	147 件	動物標本、毛皮、昆虫標本、植物標本、書類、写真 他
文化財科学	47 件	陸前高田市立博物館所管東日本大震災被災資料
普及課	11 件	収蔵用資材、展示用資材 他

令和7年9月1日から10日まで、密閉くん蒸法により、第1・第2・第3・第4収蔵庫、歴史・古美術整理室及び第2資料登録室、いわて文化史展示室、特別展示室、いわて自然史展示室をくん蒸した。これら各地点についてはその後、有害な虫やカビの発生源となる空調機の送排風口、収蔵庫の棚及び展示ケース上部に固着する塵埃の除去も行った。なお、令和7年7月及び9月には館内の害虫生息調査及び浮遊菌調査を、同年11月及び令和8年1月には浮遊菌調査を実施している。

令和8年度についても、有害な虫やカビの発生を抑制する良好な展示・収蔵環境の確立を図るため、労働安全衛生法および関連諸規則を順守しつつ、生物学的劣化防除のための対策を施す予定である。

(ウ) 作業環境測定

当部門の業務では、特定化学物質や有機溶剤等を使用することがあり、その作業環境を良好に保つため、第三者機関による作業環境測定を年2回実施している。令和7年度の実施結果は以下の表に示すとおりである。

表 5. (4)-10 作業環境測定結果

実施日	単位作業場所	測定項目	管理区分
令和7年5月19日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	1
令和7年11月25日	器具庫（局所排気装置）	混合有機溶剤	1
	器具庫（室内）	混合有機溶剤	1
	消毒室	酸化プロピレン	1

(エ) 機器類の保守点検と修繕

分析・測定精度や安全性を担保する必要がある機器類及び設備について、定期的に保守点検を行い、不具合が生じた物について修繕を実施している。令和7年度の実施状況は、以下の表に示すとおりである。

表 5. (4)-11 保守点検と修繕の実施状況

事業名	内容
表面分析装置保守点検	エネルギー分散型蛍光X線分析装置及びX線回折装置の安全及び性能確認、漏洩X線測定、消耗部品交換、総合調整等。
博物館資料滅菌システム保守点検	滅菌装置の安全及び性能確認、活性炭・ガス警報器センサー・劣化部品交換、総合調整等。
文化財科学実験システム保守点検	局所排気装置の活性炭フィルター及びプレフィルター交換、総合調整等。空気清浄機のフィルター交換、総合調整等。
保存処理機器保守点検	真空凍結乾燥機のオイルミストトラップ、真空ポンプオイル、HEPAフィルター・プレフィルター交換、総合調整等。

(5) 総務企画調整

ア. 総括出版広報

(ア) 印刷物

a. 博物館だより

185号 目次／表紙 企画展「星にねがいを一宇宙といわての年代記―」／p. 2-3 いわて文化ノート「地方支配の観点から「気仙隕石」落下一件を検討する」／p. 4-5 展覧会案内「第73回企画展 星にねがいを一宇宙といわての年代記―」／p. 6 館長あいさつ「着任にあたって」／エッセイ「いつも上手くいくとは限らない調査の話」／p. 7 事業報告「岩手山の眺望～支障木の伐採～」／資料紹介「岩手県立博物館デジタルアーカイブから（民俗部門）」／p. 8 インフォメーション

186号 目次／表紙 テーマ展「いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」／p. 2-3 いわて文化ノート「考古学者がやっていること―「型式編年」て何？」／p. 4-5 展覧会案内「テーマ展 いわての酒造り～酒からSAKEへの今昔物語～」／p. 6 事業報告「県博バックヤードツアー」／事業報告「第89回自然観察会」／p. 7 事業報告「第89回地質観察会」／事業報告「綾里千田家文書の寄贈受け入れについて」／p. 8 インフォメーション

187号 目次／表紙 テーマ展「石を愉しむ展覧会」／p. 2-3 いわて文化ノート「地域の歴史を未来へつなぐ―東日本大震災で水損した学校日誌から」／p. 4-5 展覧会案内「テーマ展 石を愉しむ展覧会」／p. 6 事業報告「企画展「星にねがいを一宇宙といわての年代記―」関連事業 星空観察会」／事業報告「ナイトミュージアム」／p. 7 活動レポート「館園実習」／事業報告「民俗講座 I 「たいけん！むかしのくらし」」／p. 8 インフォメーション

188号 目次／表紙 テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」／p. 2-3 いわて文化ノート「旧石器時代利用の石器石材 ～岩手の黒曜石と頁岩～」／p. 4-5 展覧会案内「テーマ展 岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」／p. 6 事業報告「第14回岩手県立博物館まつり」／事業報告「歴史特別講座／トピック展「忘れられたケモノたち 旧農林省毛皮獣養殖所と滝沢村の近代」／p. 7 トピック展「緊急企画！ツキノワグマってどんな動物？」／事業報告「「アンサンブルこずかた」クリスマスコンサート」／p. 8 インフォメーション

b. 令和7年度岩手県立博物館年報

令和8年6月2日発行（A4判相当PDF版、93頁、ホームページ掲載）

c. 行事案内リーフレット

令和7年度年間予定（B4変形・巻四ツ折、20,000部、令和7年4月発行）

d. いわはく子ども新聞

令和7年6月発行（A4・55,000部）

*令和2年度より全県の小学生を対象に配付。令和7年度をもって廃止。

(イ) 広報活動

a. 当館独自の広報

①定期発行

- ・博物館だより（年4回、全国の公共施設等へ配布、3,000部）
- ・行事案内リーフレット（年1回、公共施設および観光施設等へ配布、20,000部）
- ・イベントガイド（毎月、市内公共施設及び松園・黒石野・緑が丘地区町内会配布、1,500部）
- ※その他、PDF版を県教育事務所、県内市町村教育委員会、県内小学校・中学校・支援学校、私立高等学校等へ送信
- ・いわはく子ども新聞（年1回[夏・秋号]、全県の小学校等へ配布、55,000部）

②不定期発行

展覧会等、各事業ちらし（随時）

b. その他の公所

日本博物館協会、全国科学博物館協議会、県庁広聴広報課、教育記者クラブ、県政記者クラブ、県観光協会、盛岡観光コンベンション協会

c. 新聞各社への情報提供

胆江日日新聞、東海新報、岩手日報ぼらん、岩手日日新聞いわにちりビング、デーリー東北（青森県）、秋田魁新報（秋田県）、北鹿新聞（秋田県）等

d. ミニコミ誌等

Acute、AREAi、情報誌游悠、rakra、松園新聞、まいふれ盛岡編集部、盛岡経済新聞、岩手の子育て情報誌fam、大人のための情報誌シニアズ等

e. テレビ・ラジオによる広報

株式会社IBC岩手放送に広報業務委託した。期間は、5月8日から3月31日で主に博物館の展覧会をアピールする広報を実施した。主な実績としては、テレビ情報番組を2回、テレビスポットCMを25本、ラジオ情報番組出演を7回、ラジオ番組内告知放送30回を実施した。

f. 主な取材対応

表5. (5)-1 主な取材対応一覧（主としてテレビ・ラジオ）

No.	取材対応日	取材者	対応者	対応案件	放送・掲載	放送日
1	4月1日	ラヂオ・もりおか	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	もりおか経済新聞 web	4月7日
2	4月2日	岩手日報	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	5/1紙面・WEB公開	4月9日
3	4月3日	IBC岩手放送	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	ニュースエコー内	4月7日
4	4月5日	IBC岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	4月5日

5	4月11日	IBC岩手放送	佐藤	盛岡城跡公園の石垣について	金Y0!瓦BAN内	4月18日
6	4月18日	岩手日報	戸根	盛岡の昔の給食	日報ジュニアウィークリー内	4月29日
7	4月23日	岩手めんこいテレビ	近藤	人と馬の関係について	ぶらり地名散歩 (mit ライブニュース内)	5月23日
8	4月23日	岩手朝日テレビ	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	お昼のニュース、Jチャンネルいわて	4月23日
9	4月24日	デーリー東北	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	5/1,5/6WEB公開	5月1日
10	5月3日	IBC岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	5月3日
11	5月14日	IBCラジオ	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	684ラジオカー	5月14日
12	5月14日	FMいわて	近藤	テーマ展「驚異の部屋」	今度ここ行こ	5月14日
13	6月2日	朝日新聞	近藤	盛岡毛鉤	朝日新聞岩手版	6月17日
14	6月7日	IBC岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	6月7日
15	6月18日	IBCラジオ	目時	企画展「星にねがいを」	二宮真佑子のラジオドライブ	6月20日
16	6月24日	IBC岩手放送	工藤	企画展「星にねがいを」	ニュースエコー	6月24日
17	7月5日	IBC岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	7月5日
18	7月16日	テレビ岩手	佐藤	県立博物館の一日	ニュースプラス1 いわて	7月24日
19	7月16日	IBC岩手放送	目時	企画展「星にねがいを」	じゃじゃじゃTV夏SP	7月27日
20	7月17日	IBCラジオ	目時	企画展「星にねがいを」	684ラジオカー	7月17日
21	8月2日	IBC岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	8月2日
22	8月4日	デーリー東北	近藤	盛岡毛鉤	紙面・WEB公開	8月25日
23	8月6日	岩手めんこいテレビ	近藤	妖怪/百鬼夜行図について	山海漬	8月23日
24	8月24日	NHKエンタープライズ	高橋	チゴハヤブサの行動・生態	NHK総合 ダーウィンが来た!	10月19日
25	8月27日	岩手めんこいテレビ	工藤	三閉伊日記の画像を提供	ぶらり地名散歩 (mit ライブニュース内)	9月5日
26	8月31日	NHK盛岡放送局	館長 大銃地	千田家文書寄贈	おぼんですいわて	9月2日
27	8月31日	岩手日報	館長 大銃地	千田家文書寄贈		9月4日

28	8月31日	読売新聞	館長 大銃地	千田家文書寄贈		不明
29	8月31日	河北新報	館長 大銃地	千田家文書寄贈	地域欄	9月1日
30	8月31日	東海新報	館長 大銃地	千田家文書寄贈		9月2日
31	9月12日	株式会社 kimika	工藤	太田コレクション古印の画像 提供	チョコちゃんに叱ら れる	10月3日
32	9月12日	岩手朝日テレビ	渡辺 鈴木	屋上ビオトープの生物	Jちゃんいわて	9月12日
33	9月12日	朝日新聞	渡辺 鈴木	屋上ビオトープの生物	朝日新聞岩手版	10月4日
34	9月13日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびの びサタデー	9月13日
35	9月18日	岩手日報	工藤	特別講座	ネット配信あり	10月3日
36	9月27日	デーリー東北	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	デーリー東北岩手 県北面	10月4日
37	10月1日	IBC 岩手放送	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	じゃじゃじゃ TV 秋 SP	10月13日
38	10月2日	岩手日報	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	文化面 (10/7web)	10月8日
39	10月4日	岩手日報	工藤	特別講座講演会		11月1日
40	10月4日	NHK 盛岡支局	工藤	特別講座講演会	おぼんです岩手 ほか	1月7日
41	10月4日	河北新報	工藤	特別講座講演会		掲載無し
42	10月4日	共同通信	工藤	特別講座講演会		掲載無し
43	10月8日	IBC ラジオ	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	684 ラジオカー	10月8日
44	10月9日	IBC 岩手放送	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	TBS News Dig ほか	10月10日
45	10月19日	岩手日報	工藤	特別講座現地見学会		11月1日
46	10月19日	NHK 盛岡支局	工藤	特別講座現地見学会	おぼんです岩手ほ か	1月7日
47	10月19日	河北新報	工藤	特別講座現地見学会		掲載無し
48	10月19日	共同通信	工藤	特別講座現地見学会		掲載無し
49	10月21日	岩手日報	工藤	トピック展「忘れられたケモノ たち」		11月4日、 11月16日
50	10月23日	ラヂオ・もりおか	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	もりおか経済新聞 web	10月29日
51	10月31日	共同通信	戸根	テーマ展「いわての酒造り」		掲載無し
52	11月1日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびの びサタデー	11月1日

53	11月5日	IBC ラジオ	戸根	テーマ展「いわての酒造り」	684 ラジオカー	11月5日
54	11月29日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	11月29日
55	12月5日	NHK 盛岡支局	工藤	毛皮獣研究所	おぼんです岩手ほか	1月7日
56	12月10日	岩手日報	工藤	平澤屏山「アイヌ風俗図」について		1月29日
57	12月19日	NHK 盛岡支局	鈴木	トピック展「ツキノワグマってどんな動物？」	昼・夜の県内ニュース	12月19日
58	12月24日	朝日新聞	工藤	「地割」表記について		1月21日
59	1月9日	北鹿新聞	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」		1月14日
60	1月10日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	1月10日
61	1月14日	NHK 盛岡支局	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」	昼の県内ニュース	1月14日
62	1月14日	岩手日報	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」		1月21日
63	1月16日	IBC 岩手放送	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」		1月16日
64	1月21日	IBC ラジオ	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」	684 ラジオカー	1月21日
65	1月28日	盛岡経済新聞	佐藤	テーマ展「石を愉しむ展覧会」		1月23日
66	2月5日	オルタスジャパン	高橋	東京都美術館開館100周年記念「スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」	NHK eテレ 日曜美術館「幸せはすぐそばに - 魅惑のスウェーデン絵画」	3月1日
67	2月14日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	2月14日
68	2月17日	岩手めんこいテレビ	近藤	トピック展「岩手の川と釣り文化」	昼の県内ニュース	3月13日
69	3月5日	岩手日報	高木	博物館収蔵庫問題		3月20日
70	3月6日	IBC 岩手放送	工藤	2011 東海新報の寄贈について	ニュースエコー	3月7日
71	3月7日	IBC 岩手放送	高橋	鳥博士の空飛ぶラジオ	神山浩樹ののびのびサタデー	3月7日
72	3月13日	岩手日報	渡辺	テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」	ジュニアウィークリー	4月6日
73	3月22日	岩手日報	高木	日曜講座		3月26日
74	3月28日	IBC 岩手放送	渡辺 高橋	テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブ」	684 ラジオカー	3月28日

(ウ) 博物館ホームページ及び SNS の運営

岩手県立博物館公式ホームページ <https://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>

公式ホームページは、平成 13 年 3 月 1 日に正式公開された。平成 24 年度末に委託製作によりデザインを刷新し、またウェブサーバの cgi プログラムを介して内容を更新できるシステムを導入することにより、更新頻度を高めた。令和 7 年度のトップページの閲覧回数は 115,769 回だった。

I. B. Museum SaaS を利用した当館収蔵資料の公開システム「デジタルアーカイブ」への令和 7 年度のアクセス実績は 72,508 回だった。

SNS の利用としては、開館 30 周年を機に平成 22 年 9 月 30 日から X アカウントを運用している。令和 7 年度内のポスト回数は 286 回であった。年度末時点の X アカウントのフォロワー数は 7,545 人と、前年度に比べて約 4.9% 増加した。

イ. 情報機器の管理

令和 7 年度は、1 月に地質整理室の無線 LAN アクセスポイントの設置作業を行い、3 月に大判プリンタ 2 台を更新した (EPSON SC-T3455、CANON imagePROGRAF GP-2600S)。その他、ネットワーク共有サーバの無停電電源装置のバッテリーを交換した。

ウ. 委員会等職員派遣

県や市町村等の依頼に応じて学芸員を派遣している。令和 7 年度の派遣回数は 77 回であった。

表 5. (5)-2 委員会等職員派遣

No.	月 日	委嘱元	委員会等名称	内 容	派遣職員
1	4 月 22 日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
2	5 月 9 日	大船渡土木センター住田整備事務所	大船渡地区公共事業等に係る希少野生動植物調査検討協議会	土木工事に先立つ希少植物現地調査	鈴木まほろ
3	5 月 20 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
4	5 月 23 日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	青森県環境影響評価審査会に係る全体会議	高橋 雅雄
5	5 月 23 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
6	5 月 23 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
7	5 月 27 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
8	5 月 28 日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二

9	5月29日	県環境生活部環境生活企画室	岩手県環境審議会	第57回岩手県環境審議会	鈴木まほろ
10	5月29日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
11	5月30日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
12	6月3日	大船渡土木センター住田整備事務所	大船渡地区公共事業等に係る希少野生動植物調査検討協議会	土木工事に先立つ希少植物現地調査	鈴木まほろ
13	6月3日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
14	6月4日	八幡平市博物館	八幡平市博物館協議会	R6年度の事業報告、R7年度の博物館基本方針、博物館事業計画	戸根 貴之
15	6月4日	北上農村整備センター	北上地区公共事業等に係る野生動植物保護検討会	土木工事に先立つ希少植物現地調査	鈴木まほろ
16	6月6日	全国科学博物館競技会	全科協ニュース編集委員会	令和7年度「全科協ニュース」の編集についてほか	望月 貴史
17	6月11日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
18	6月13日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
19	6月17日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
20	6月19日	北上土木センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	同左	鈴木まほろ 高橋 雅雄
21	6月19日	遠野土木センター	遠野地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	高橋 雅雄
22	6月19日	北上土木センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	鈴木まほろ
23	6月19日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺修二
24	6月20日	遠野土木センター	遠野地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	高橋 雅雄
25	6月20日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
26	6月21日	遠野土木センター	遠野地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	高橋 雅雄
27	6月25日	大船渡土木センター	大船渡地区希少野生動植物調査検討協議会	現地調査	鈴木まほろ

28	7月2日	北上農村整備センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	鈴木まほろ
29	7月4日	釜石市教育委員会	釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	令和7年度第1回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	丸山 浩治
30	7月8日	宮古市教育委員会	宮古市北上山地民俗資料館運営委員会	宮古市立川井小・中学校授業見学 資料館事業実施報告・事業計画	川向富貴子
31	7月8日	住田町教育委員会	栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員会	第2回栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員会	丸山 浩治
32	7月8日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	現地調査	渡辺 修二
33	7月11日	盛岡市教育委員会	盛岡市子ども科学館協議会	2025年度第1回子ども科学館協議会	高木 晃
34	7月11日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
35	7月16日	盛岡市教育委員会	盛岡市先人記念館協議会	令和7年度第1回盛岡市先人記念館協議会	工藤 健
36	7月17日	岩手県環境生活部環境保全課	岩手県環境影響評価技術審査会	同左 第110回	鈴木まほろ 高橋 雅雄
37	7月17日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	現地調査	渡辺 修二
38	7月17日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	同左	渡辺 修二
39	7月21日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	鈴木まほろ
40	7月22日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
41	7月28日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
42	7月31日	岩手県環境生活部環境保全課	岩手県環境影響評価技術審査会	現地視察	鈴木まほろ
43	8月25日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
44	8月27日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	風力発電1件の審査	高橋 雅雄
45	8月27日	岩手県環境生活部環境保全課	岩手県環境影響評価技術審査会	同左 第112回	鈴木まほろ 高橋 雅雄

46	9月3日	岩手県環境生活部自然保護課	岩手県環境審議会自然・鳥獣部会	同左	鈴木まほろ
47	9月3日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
48	9月6日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	渡辺 修二
49	9月8日	北上農村整備センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	現地調査	鈴木まほろ
50	9月11日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	風力発電1件の審査	高橋 雅雄
51	9月13日	花巻市教育委員会	花巻市史編さん先史部会	資料編「考古」の発行・構成について	金子 昭彦 米田 寛
52	9月26日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	第16回国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	鈴木まほろ
53	9月27日	盛岡市環境部環境企画課	盛岡市自然環境調査員	現地調査	鈴木まほろ
54	10月16日	滝沢市教育委員会	滝沢市文化財調査委員会	同左	渡辺 修二
55	10月21日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	廃棄物最終処分場1件の審査	高橋 雅雄
56	10月22日	岩手県環境生活部自然保護課	令和7年度県希少野生動植物保護検討委員会	現地調査	渡辺 修二
57	10月28日	大船渡土木センター	大船渡地区希少野生動植物調査検討協議会	希少植物調査	鈴木まほろ
58	11月14日	環境省東北地方環境事務所野生生物課	東北カワウ広域協議会	令和7年度 東北カワウ広域協議会	高橋 雅雄
59	11月26日	盛岡市環境部	盛岡市環境審議会	令和7年度第2回環境審議会及び自然・歴史環境部会	高橋 雅雄
60	12月3日	北上市教育委員会	国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	第17回国指定史跡八天遺跡保存活用計画等策定委員会	鈴木まほろ
61	12月12日	岩手県高等学校教育研究会理科部会	研究発表会審査員	高等学校生徒による理科研究発表の審査	渡辺 修二
62	1月20日	盛岡広域振興局	木賊川希少野生動植物検討協議会	同左	渡辺 修二
63	1月21日	盛岡市教育委員会	盛岡市先人記念館協議会	令和7年度第2回盛岡市先人記念館協議会	工藤 健

64	1月23日	青森県環境エネルギー部環境保全課	青森県環境影響評価審査会	風力発電2件の審査	高橋 雅雄
65	1月28日	岩手県環境生活部自然保護課	早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ対策部会	同左	鈴木まほろ
66	1月30日	岩手県環境生活部自然保護課	令和7年度県希少野生動植物保護検討委員会	同左	鈴木まほろ 渡辺 修二
67	2月4日	岩手県土整備部河川課	令和7年度いわての川づくりプラン懇談会	同左	鈴木まほろ
68	2月5日	東北森林管理局	早池峰山周辺地域ニホンジカ生息状況等調査検討委員会	同左	鈴木まほろ
69	2月9日	釜石市教育委員会	釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	令和7年度第2回釜石市橋野高炉跡史跡整備検討委員会	丸山 浩治
70	2月17日	北上農村整備センター	北上地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	同左	鈴木まほろ 高橋 雅雄
71	2月18日	盛岡市環境部	盛岡市環境審議会	令和7年度第3回自然・歴史環境部会	高橋 雅雄
72	2月19日	遠野土木センター	遠野地区公共事業等に係る希少野生動植物保護検討会	同左	高橋 雅雄
73	2月26日	花巻市教育委員会	花巻市史編さん先史部会	資料編「考古」の執筆要項整備と分担について	米田 寛
74	3月4日	盛岡広域振興局	盛岡広域振興局公共事業等に係る希少野生動植物調査検討会	同左	渡辺 修二
75	3月13日	岩手県環境生活部環境保全課	岩手県環境影響評価技術審査会	同左 第115回	鈴木まほろ 高橋 雅雄
76	3月13日	住田町教育委員会	栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員会	第3回栗木鉄山跡保存活用計画等策定委員会（オンライン）	丸山 浩治
77	3月26日	花巻市教育委員会	花巻市史編さん自然部会	第1回部会、市史の執筆について	鈴木まほろ 高橋 雅雄

エ. 外部助成

今年度3件の助成を受けた。うち環境研究総合推進費は令和5年度からの継続である。

表5. (5)-3 令和7年度外部助成金採択状況

氏名	部門	関連事業・研究テーマ名等	助成の名称	金額	申請先
鈴木まほろ	生物	ゲノム情報と正確な同定にもとづく維管束植物の統合データベース構築と多様性指標・保全優先度の地図化技術の開発	環境研究総合推進費	機関配分額 45万円	独立行政法人環境再生保全機構

渡辺 修二	生物	令和7年度テーマ展「岩手の絶滅危惧種とネイチャービジティブ」	2025年度全国科学博物館活動等助成	42.3万円	一般財団法人全国科学博物館振興財団
高橋 雅雄	生物	南西諸島における絶滅危惧種オオセッカと湿性草原棲鳥類の越冬状況の把握	2025年度富士フィルム・グリーンファンド研究助成	76万円	公益信託富士フィルム・グリーンファンド
近藤 良子	民俗	「盛岡式流し毛鉤」における持続可能な技術と伝統の包括的な研究（代表：岩手大学理工学部教授 田中隆充）	2024年度公益財団法人水・地域イノベーション財団研究助成	100万円	公益財団法人水・地域イノベーション財団

オ. 連携協定

三陸地域の活性化と持続的な発展に寄与することを目的とし、三陸ジオパーク推進協議会と連携協力していく事業を推進するための協定を締結した(令和4年12月15日、宮古市イーストピアみやこ)。

連携・協力事業は次のとおりである。

- (ア) 三陸の地域社会のつながりに関する文化・歴史の学術研究（取組）に関すること
- (イ) 三陸地域の生物に関する学術研究（取組）に関すること
- (ウ) 三陸地域の地形・地質等地球化学分野の学術研究（取組）に関すること
- (エ) その他、教育、情報発信など本協定の目的に沿うと認められる事業

表 5. (5)-4 令和7年度連携協定実績

部門	月 日	場 所	事 業 名	内 容	対 応 者
地質	7月17日	宮古市地域創生センター	認定ガイド認定講座	地域各論「三陸の大地の成り立ち」	望月 貴史
考古生物	9月18日	岩手県久慈地区合同庁舎	認定ガイド認定講座	同左	金子 昭彦 鈴木まほろ

6. 被災文化財等再生活動

(1) はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発災した東日本大震災によって、東日本太平洋沿岸部に在った膨大な数の文化財、自然史標本、その関連資料等が被災した。当館ではこの未曾有の大規模自然災害発生を受け、同年 4 月 2 日以降、15 年にわたり岩手県太平洋沿岸部で被災した様々な資料の救出とその再生に取り組んできた。本県内で救出された資料は概ね 50 万点にのぼり、そのうち約 46 万点は最も被害の大きかった陸前高田市の所管資料である。令和 6 年度末までの継続的な作業により約 39 万点（約 85%）の安定化処理を終え、残る約 6 万点の処理を現在も進めている。

他方、東日本大震災後は全国各地で自然災害が頻発しており、その度に文化財等資料も被災している。この 15 年で培ってきた技術や知見をもとに、こうした資料の一時保管や処理の協力も積極的に行っている。

(2) 津波被災資料安定化処理のこれまでと現在

津波を被った資料を再生するには、砂や泥、その後に発生したカビや、塩分など目視では確認困難な資料劣化誘因物質を除去し、資料を長期にわたり安定的に保管できる状態にする安定化処理が不可欠である。そこで当館では、全国の博物館、大学、文化財科学の研究者等と連携しながら試行錯誤を重ね、紙製資料の安定化処理方法構築に努めてきた。

平成 28 年度から、タンパク質・脂質除去工程の追加、嫌気性微生物の発生を抑えるための浸漬時間短縮の試みを進め、現在は図 6-1 の工程で作業を行っている。加えて、今年度は乾燥方法の大規模な刷新（エア・ストリーム乾燥法の導入）を行った。この乾燥法は、紙資料をダンボールと濾紙等で挟み、それを数セット重ねて上から重石等で加圧し、ダンボールの波形部分に空気が流れ続けるように側面から送風機で風を当てるというもので（図 6-2）、構造がシンプルである上、資材も容易に入手しやすく費用対効果が高い。さらに、増設や移動も可能なため、大量にある紙資料を効率的に乾燥することができる。

古文書や書籍類の安定化処理及び修理は、次の 22 工程によって行われています。



図 6-1. 現在の紙製資料の安定化処理工程



図 6-2-1. エア・ストリーム乾燥

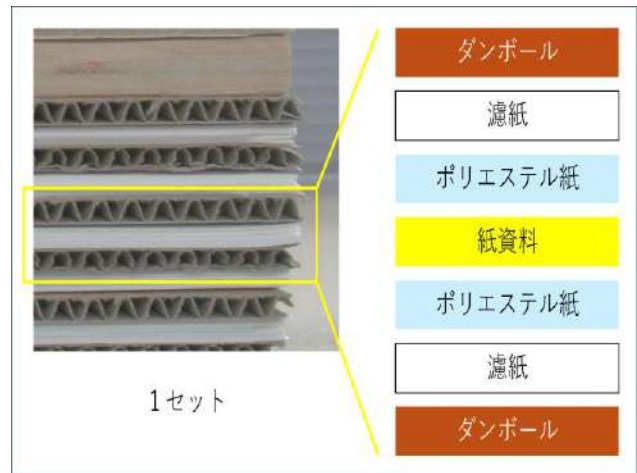


図 6-2-2. エア・ストリーム乾燥の構造

発端は、既存設備が使用できなくなることを想定した代替方法の検討というネガティブなものであったが、結果的に工夫次第で現行方式より良好に、かつ資料に対する負担も少なく処理できる可能性が高いことが明らかとなった。一方、紙質の違いにより乾燥の仕上がりに差が出るという課題も見えており、今後も実施検証しながらさらなる改善に努めていく。

民俗資料（染織品）については、当該研究の専門機関である女子美術大学の指導の下、令和 2・4・6 年度に続き安定化処理業務を実施した（図 6-3）。現時点で未処理の資料は解体を必要とする衣裳類（高田歌舞伎で使用された物等）が大半で、これらは同大で解体され、安定化処理を当館で行った後、再び同大に運び込んで修理と仕立て直しを実施するという分業制を取っている。このため、資料の状態や作業情報などの共有が最重要であり、連携して業務にあたった。

さらに今年度は、令和元年度東日本台風で収蔵庫が水没し甚大な被害を被った神奈川県川崎市市民ミュージアムからの要請で、冷凍・未乾燥状態の紙製資料に対して真空凍結乾燥処理を実施した。被災から 6 年が経過した現在でも、ダンボール 100 箱超の資料が冷凍庫で処理を待っているとのことであり、こちらも継続的な支援が必要となる。



図 6-3-1. 安定化処理前の写真撮影



図 6-3-2. 安定化処理（洗浄）

以上、令和 7 年度に当館で実施した安定化処理及び修理は、表 6-1 に示すとおりである。

表 6-1. 令和 7 年度の安定化処理及び修理の実施状況

陸前高田市立博物館	件 名	件 数
	被災紙製資料安定化処理及び修理業務	1
	被災鳥羽源藏コレクション安定化処理及び修理業務	1
川崎市市民ミュージアム	被災民俗資料安定化処理業務	1
	件 名	件 数
	水損紙資料等の真空凍結乾燥処理業務	1

(3) 今後の課題

令和 8 年 3 月 11 日で東日本大震災の発災から丸 15 年が経過した。ハード面の復旧事業はおおむね完了し、陸前高田市立博物館も令和 4 年 11 月に再開館し 4 年目を迎えている。一方で、安定化処理未了の資料はあと 4 万点弱残っており、これらを安全に保管できる状態にするための取り組みが次年度以降も継続される予定である。なお、安定化処理を施した資料であっても、津波で被災した資料の再生は国際的に未経験であるため、保管の過程で状態に変化が生じないかどうかを当分の間注意深く経過観察する必要がある。地域の文化を将来につなぐため、住民、自治体、博物館等施設、専門機関が協力しながら、今後も長期的な対応が求められる。

当館では、残された資料の再生を進めるとともに、今後も起こり得る大規模自然災害に対する備えの啓発と 2 次レスキューへの協力、被災資料を安全に処理しうる汎用的な方法の構築にさらに取り組んでいきたいと考えている。皆様には引き続き御支援をお願いしたい。

7 三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクトについて

(1) はじめに

岩手県立博物館では、平成 26 年度より、東日本大震災被災地における被災した博物館・文化財等の再生に向けた取組を支援するとともに、その過程で得られた被災文化財等再生のノウハウを、国内外と広く共有することを目的として「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」（通称「大津波プロジェクト」）を立ち上げ、文化庁による助成金も活用しながら、全国各地での展覧会やワークショップ等の活動を続けてきた。

令和 4 年度から同 5 年度にかけては、文化庁によって新たに用意された Innovate MUSEUM 事業の助成を受け、約 10 年にわたる「大津波プロジェクト」の取組を発展的に継承して、東日本大震災を経験した東北から国内の博物館・文化財等防災力の底上げをはかることを目的とした「東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト」を企画・実施した。

さらに令和 6 年度には、引き続き文化庁 Innovate MUSEUM 事業の助成を受けつつ、社会的な要請である DX 化に取り組む中で、東日本大震災以来懸案とされてきた広域的・横断的な資料情報の共有、資料保全と活用の両立、博物館を核とした地域活性化といった諸課題の解決をはかる新たな事業「三陸希望遺産デジタル・アーカイブ構築プロジェクト」を立ち上げ、当館が実行委員会の中核館を担うこととなった。

本章では、令和 7 年度に継続実施した当該プロジェクトの事業成果の概略について報告する。

(2) 事業別成果報告

ア. デジタル・アーカイブの拡充と情報発信の推進

(ア) デジタル・アーカイブの拡充

令和 6 年度に引き続き、三陸地方で採取された化石標本を中心に、県内外の 6 施設計 105 件 112 点の資料のデジタル化を実施し、アーカイブに追加搭載した。当アーカイブが軸足を置く三陸地域自体が岩手県にとどまらない広がりを持つものであり、今年度県外に所在する資料を多数収録したことで、三陸のジオの魅力や特性について、県境を越えて総合的・相対的にとらえることができるものとなり、結果として当初三陸という地域に特別な関心を持っていない利用者に対しても間口を広げることができた。デジタル化の際はアーカイブ掲載用の画像に加え、3D データをあわせて作成し、資料情報の確実な保全に資するとともに、後述する普及活動で活用をはかった。



図 7. (2)-1 デジタル化作業風景



図 7. (2)-2 作成した 3D データ

(イ) ジャパンサーチとの連携

アーカイブに掲載されている資料全 219 点について、ジャパンサーチとの連携を行った。岩手県が新たにジャパンサーチとの「つなぎ役」となるに際し、事前調整に想定以上の時間を要したものの、岩手県に初めて「つなぎ役」が設けられたことは、当アーカイブのみならず、岩手県内諸機関の今後のジャパンサーチとの連携においても大きな前進になったといえる。所蔵資料撮影に協力いただいた当プロジェクトの連携先の多くから CC-BY を二次利用条件とするコンテンツ公開について理解を得ることができ、中核館を含む当プロジェクト参画機関が、自館所蔵資料のデジタル画像等の取扱いについて見直す契機ともなった。

イ. デジタルデータ作成と 3D データ発信に関するノウハウ共有

(ア) 東北地区博物館等職員向け研修会の実施

2 年度にまたがる一連の取組の成果を広く共有するため、東北地区の博物館・文化財等関係者を主たる対象として、無料で使用可能な 3D データ作成アプリケーションと、3D データ公開のプラットフォームを併用することで、特別な機材や予算を用意することなく直ちに実施可能な博物館資料等の 3D データ活用をテーマとする研修を実施した。オンライン形式とオンデマンド形式を併用することで、44 機関からのべ 82 名の参加を得て、参加機関が 1 点以上の資料をデジタル化し、直ちに公開して活用が可能な状態となった。加えて、さらなる広範なノウハウ共有のため、アーカイブ上で使用したテキストの公開を開始した。

《アンケート結果》

- ・理解度（内容が理解できたと回答した割合）
92.3%
- ・有用度（今後の役に立つと回答した割合）
88.5%
- ・総合評価（最低 1 最高 5 で評価）
4.0

《自由記述感想》

- ・今まで気になってはいたもののあまりふれてこなかった分野だったためよい機会になった。
- ・これからデジタル化を進める予定なのでまた研修の機会があればぜひ参加したい。
- ・オンライン、オンデマンド形式があったおかげで参加できた。
- ・休憩が短くなくてもよいので実習時間をより長くしてほしい。



図 7. (2)-3 研修実施風景



図 7. (2)-4 博物館資料の 3D データ作成実習

ウ. デジタルデータを活用した社会還元事業

(ア) 大船渡市の地域再生支援

岩手県立博物館、宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム、陸前高田市立博物館、久慈地下水族科学館もぐらんど、及びイオンタウン釜石において、本事業で作成したアーカイブと簡易レプリカを活用した展示ブースを設置し、林野火災で被災した大船渡市の地域再生を後押しすることを趣旨とした情報発信活動を行った。とりわけ三陸ジオパーク推進協議会と全面的に連携して行ったショッピングモールでのイベントは盛況で、5会場合計 17,095 名の来場者を得ることができた。



図 7. (2)-5 イオンタウン釜石でのイベント風景



図 7. (2)-6 手に取って鑑賞できるレプリカ展示

(イ) 各種コンテンツのユニバーサルデザイン化

視覚障がいを抱えた（アーカイブのコンテンツを視認することが困難な）方を含め、あらゆる方に利用いただけるコンテンツ整備に向けて、視覚障がい者のための手でみる博物館の協力の下、同館と岩手県立博物館において、視覚障がいを持つ方に当プロジェクトが提供している普及

プログラムを体験いただき、フィードバックをいただいた。さらに、視覚障がいを含む多様な障がいを持つ児童・生徒への指導経験を持つ、岩手県立盛岡となん支援学校児童生徒や岩手県立青松支援学校生徒を対象に同様の取組を行い、実際にコンテンツを使って指導する立場からのフィードバックをいただいた。その結果に基づき、解説文中の一般的でない用語にふりがなと簡潔な語義説明を付す、タイムスケールを可視化するための地質年代表を追加するなど、既存のアーカイブの抜本的な刷新をはかった。



図 7. (2)-7 作成したレプリカを用いた触察体験

【フィードバックで得られた主な指摘】

- ・視覚障がい者がレプリカを触察する際は、実物との触感や重量のちがいが気になる。すでに絶滅した生物については、現存の生物でそれに近いものを教えてもらうと理解がしやすい。
- ・視覚障がい者のなかには点字を読むことができない方も少なからずいるため、点字以上に読み上げ機能を重視したコンテンツ整備を進めることが望ましい。
- ・読み上げ機能を用いて利用する際、現在のアーカイブはどのように検索してよいかがよくわからなかった。
- ・アーカイブは一画面あたりの文字数や配色がおさえられており、発達障がいを抱えた方も安心して閲覧できる設計になっている。今後もそうした点に留意いただきたい。

(3) 今後の展望

2年間の取り組みを経て、三陸を中心とする東北地方に関連する古生物標本 200 点強を横断的に検索・閲覧可能なデジタルアーカイブを構築するとともに、掲載資料について、学術情報の保全と活用に資する精細な 3D データを作成することができた。また、学校教育、社会教育、地域おこしなど様々な場面で活用いただくべく、3D データを用いて作成したレプリカと解説パネルのセットを用意した。

今後は取組を通じて獲得したノウハウをもとに、新規資料の追加搭載によるアーカイブの充実をはかるとともに、とりわけ重要なタイプ標本などを中心に、東北地方に所在する貴重標本について 3D データ作成を進めるための予算確保に努めていきたい。

上記のような物質的な成果物もさることながら、一連の取組のなかで、アーカイブのユーザビリティや、公立博物館が所蔵する資料の画像や 3D データの公開・二次利用方法について、専門機関からの助言を得ながら模索できたことも大きな財産になったといえる。

前述のとおり、本事業は文化庁 Innovate MUSEUM 事業における MuseumDX 推進事業の助成を受けることで実現したものである。中核館である当館をはじめとする関係機関の DX 化の進展が求められることはいうまでもないが、それが「博物館のための MuseumDX 化」に終始してはならない。いかに DX の成果を利用者に広く、かつ公平に還元できるか、引き続き試行錯誤を続けていきたい。

8 博物館利用者入館状況

開館以来の入館者数（総利用人数）

年 度	総 利 用 人 数				開館 日数	1日平均 利用人員
	一 般	高・学生	小中学生	計		
昭55	95,469	6,563	22,960	124,992	146	856
昭56	145,756	10,908	50,621	207,285	298	696
昭57	106,400	8,673	44,210	159,283	297	536
昭58	87,531	8,903	34,405	130,839	298	439
昭59	81,247	8,451	36,357	126,055	299	422
昭60	78,701	10,825	36,703	126,229	297	425
昭61	69,226	9,765	37,551	116,542	298	391
昭62	65,570	9,500	40,731	115,801	299	387
昭63	58,908	9,526	36,922	105,356	296	356
平元	56,379	11,139	37,960	105,478	297	355
平2	65,021	11,049	34,432	110,502	299	370
平3	60,880	11,917	30,926	103,723	298	348
平4	55,309	10,793	28,354	94,456	298	317
平5	98,842	9,995	32,034	140,871	298	473
平6	42,164	6,246	19,460	67,870	297	229
平7	52,296	5,546	19,038	76,880	298	258
平8	44,719	4,855	16,773	66,347	297	223
平9	34,682	4,123	14,435	53,240	289	184
平10	43,966	4,980	12,669	61,615	298	207
平11	26,762	4,576	9,997	41,335	298	139
平12	24,315	3,624	12,175	40,114	297	135
平13	24,436	2,780	11,709	38,925	300	130
平14	28,859	2,219	12,281	43,359	297	146
平15	23,742	1,852	11,741	37,335	298	125
平16	27,149	1,337	10,099	38,585	297	130
平17	39,795	2,090	12,081	53,966	299	180
平18	23,947	1,644	12,649	38,240	303	126
平19	24,473	1,515	13,221	39,209	304	129
平20	25,341	837	14,905	41,083	302	136
平21	25,010	1,279	15,051	41,340	300	138
平22	23,510	1,293	11,276	36,079	292	124
平23	16,021	1,018	13,604	30,643	301	102
平24	21,069	1,027	15,309	37,405	302	124
平25	25,006	960	18,244	44,210	303	146
平26	19,181	1,227	12,438	32,846	303	108
平27	24,048	1,605	14,605	40,258	302	133
平28	26,620	1,417	16,931	44,968	304	148
平29	31,074	1,631	17,614	50,319	303	166
平30	27,889	1,419	18,575	47,883	304	158
令和元	27,743	1,399	18,097	47,239	303	156
令和2	12,384	1,014	9,101	22,499	291	77
令和3	16,292	1,091	10,909	28,292	282	100
令和4	18,868	1,110	11,639	31,617	302	105
令和5	44,829	1,047	29,320	75,196	306	246
令和6	22,088	1,344	9,989	33,421	302	110
令和7	26,322	1,549	10,039	37,910	303	125
総 計	2,019,839	207,661	960,140	3,187,640	13,595	—
平 均	43,910	4,514	20,873	69,297	296	234

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4/25から5/6まで臨時休館
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で8/16から9/17まで臨時休館

令和7年度月別入館者数

区分 月	総利用人数				開館日数	1日平均 利用人員
	一般	高・学生	小中学生	計		
4	2,240	104	690	3,034	26	116.7
5	3,397	187	1,163	4,747	27	175.8
6	1,459	98	508	2,065	25	82.6
7	2,128	96	728	2,952	28	105.4
8	3,489	336	1,478	5,303	29	182.9
9	1,213	67	786	2,066	17	121.5
10	2,449	88	1,178	3,715	27	137.6
11	2,234	91	871	3,196	26	122.9
12	1,488	69	427	1,984	24	82.7
1	1,562	84	686	2,332	24	97.2
2	2,538	154	791	3,483	24	145.1
3	2,125	175	733	3,033	26	116.7
計	26,322	1,549	10,039	37,910	303	125.1

開館以来の入館者数（利用区分別）

区分 年度	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
昭55	69,259	4,275	16,657	90,191	24,506	465	2,036	27,007	1,704	1,823	4,267	7,794
昭56	87,659	5,233	21,762	114,654	54,724	637	4,458	59,819	3,373	5,038	24,401	32,812
昭57	66,727	3,275	16,722	86,724	35,538	648	3,498	39,684	4,135	4,750	23,990	32,875
昭58	51,058	2,348	11,723	65,129	33,072	775	2,743	36,590	3,401	5,780	19,939	29,120
昭59	48,286	2,195	11,338	61,819	28,982	635	2,378	31,995	3,979	5,621	22,641	32,241
昭60	46,054	2,137	10,007	58,198	29,308	411	2,104	31,823	3,339	8,277	24,592	36,208
昭61	39,516	1,911	8,830	50,257	25,888	445	2,010	28,343	3,822	7,409	26,711	37,942
昭62	39,761	1,803	8,647	50,211	22,645	339	1,860	24,844	3,164	7,358	30,224	40,746
昭63	37,362	1,910	8,018	47,290	18,817	551	2,155	21,523	2,729	7,065	26,749	36,543
平元	34,617	1,866	7,386	43,869	18,465	208	1,224	19,897	3,297	9,065	29,350	41,712
平2	38,272	2,034	8,334	48,640	21,014	827	1,046	22,887	5,735	8,188	25,052	38,975
平3	35,073	1,851	6,993	43,917	18,810	1,026	2,031	21,867	6,997	9,040	21,902	37,939
平4	33,581	1,743	6,735	42,059	15,239	1,423	1,190	17,852	6,489	7,627	20,429	34,545
平5	36,726	2,018	8,406	47,150	10,300	844	1,197	12,341	51,816	7,133	22,431	81,380
平6	26,121	1,415	5,588	33,124	9,112	755	673	10,540	6,931	4,076	13,199	24,206
平7	30,654	1,768	5,980	38,402	9,193	947	610	10,750	12,449	2,831	12,448	27,728
平8	25,328	1,464	4,674	31,466	7,597	559	593	8,749	11,794	2,832	11,506	26,132
平9	21,204	1,463	4,277	26,944	4,955	314	483	5,752	8,523	2,346	9,675	20,544
平10	20,459	1,211	4,189	25,859	6,477	749	276	7,502	17,030	3,020	8,204	28,254
平11	15,532	928	4,055	20,515	4,808	207	292	5,307	6,422	3,441	5,650	15,513
平12	14,262	1,149	4,564	19,975	4,174	299	184	4,657	5,879	2,176	7,427	15,482
平13	12,301	833	3,548	16,682	6,491	42	213	6,746	5,644	1,905	7,948	15,497
平14	18,160	1,012	6,704	25,876	4,147	208	362	4,717	6,552	999	5,215	12,766
平15	13,957	676	5,335	19,968	2,660	60	348	3,068	7,125	1,116	6,058	14,299
平16	13,897	661	4,033	18,591	3,850	138	363	4,351	9,402	538	5,703	15,643
平17	26,603	1,164	6,935	34,702	3,417	128	218	3,763	9,775	798	4,928	15,501
平18	14,019	666	7,102	21,787	1,479	298	335	2,112	8,449	680	5,212	14,341
平19	14,436	622	7,226	22,284	1,739	119	381	2,239	8,298	774	5,614	14,686
平20	14,361	512	6,975	21,848	1,822	71	320	2,213	9,158	254	7,610	17,022
平21	12,914	547	7,055	20,516	1,516	82	374	1,972	10,580	650	7,622	18,852

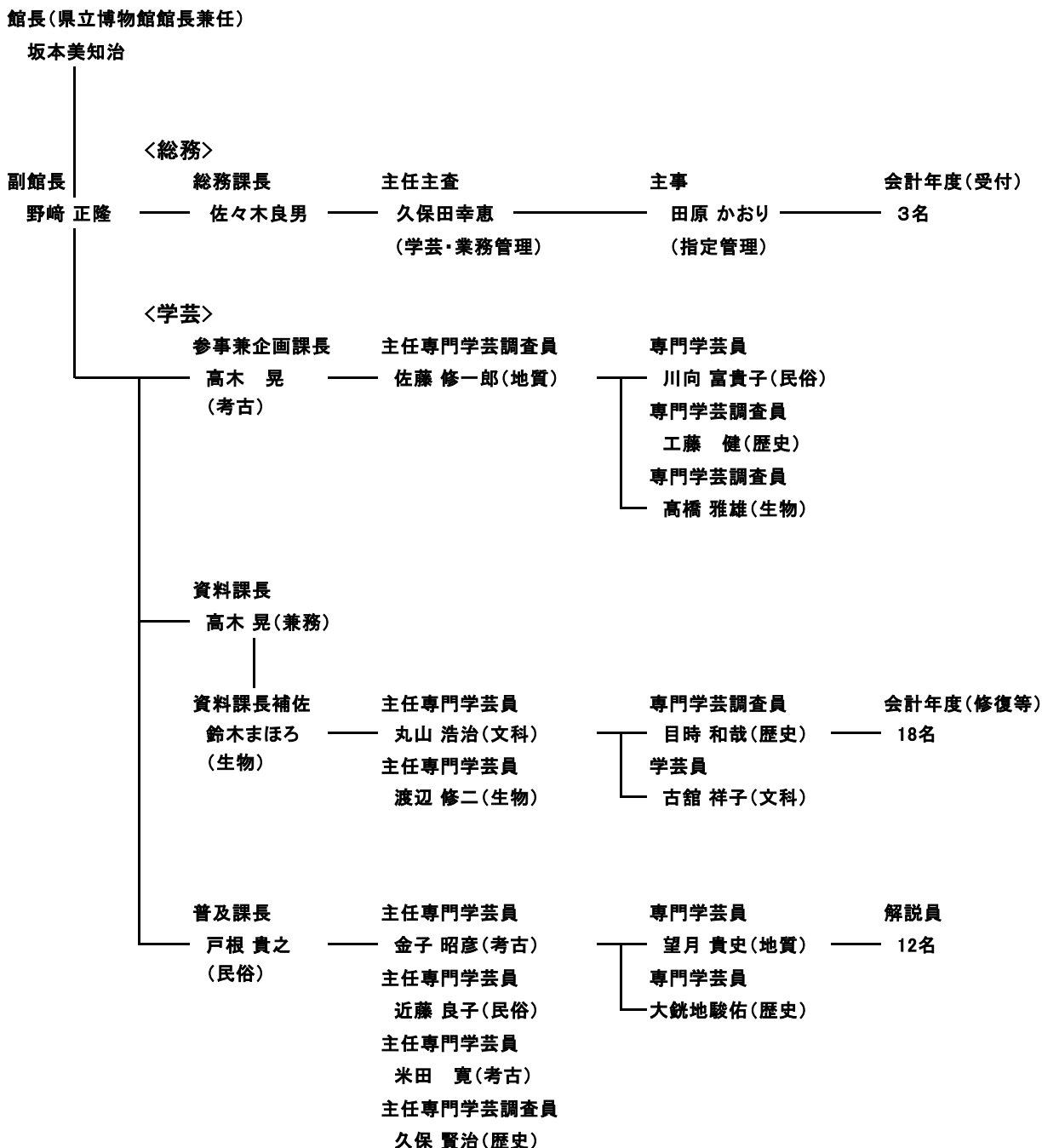
区分 年度	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
平22	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716
平23	8,833	374	6,135	15,342	830	110	806	1,746	6,358	534	6,663	13,555
平24	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051
平25	14,799	532	9,106	24,437	1,169	230	638	2,037	9,038	198	8,500	17,736
平26	10,928	538	6,218	17,684	861	247	104	1,212	7,392	442	6,116	13,950
平27	15,213	716	8,190	24,119	880	130	228	1,238	7,955	759	6,187	14,901
平28	17,703	687	10,974	29,364	967	192	128	1,287	7,950	538	5,829	14,317
平29	20,101	945	10,266	31,312	1213	281	333	1,827	9,760	405	7,015	17,180
平30	18,504	685	11,867	31,056	696	98	244	1,038	8,689	636	6,464	15,789
令元	17,592	805	10,244	28,641	578	29	157	764	9,573	565	7,696	17,834
令2	9,091	522	5,844	15,457	116	116	161	393	3,177	376	3,096	6,649
令3	11,975	679	7,408	20,062	176	42	16	234	4,141	370	3,485	7,996
令4	14,100	884	8,363	23,347	201	24	131	356	4,567	202	3,145	7,914
令5	37,305	730	24,315	62,350	628	13	137	778	6,896	304	4,868	12,068
令6	15,824	1,011	6,628	23,463	406	4	169	579	5,858	329	3,192	9,379
令7	19,883	1,270	6,924	28,077	457	15	186	658	5,982	264	2,929	9,175
総計	1,216,629	62,160	386,165	1,664,954	442,543	16,435	40,200	499,178	360,667	129,066	533,775	1,023,508
平均	26,449	1,351	8,395	36,195	9,621	357	874	10,852	7,841	2,806	11,604	22,250

令和7年度月別入館者数（利用区分別）

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計	一般	高・学生	小中学生	計
4	1,902	96	611	2,609	6	0	19	25	332	8	60	400
5	2,445	146	712	3,303	104	0	0	104	848	41	451	1,340
6	1,068	78	338	1,484	42	15	4	61	349	5	166	520
7	1,586	89	556	2,231	161	0	95	256	381	7	77	465
8	2,784	223	1,265	4,272	39	0	43	82	666	113	170	949
9	950	63	292	1,305	24	0	0	24	239	4	494	737
10	1,653	72	576	2,301	24	0	0	24	772	16	602	1,390
11	1,396	62	407	1,865	0	0	0	0	838	29	464	1,331
12	988	58	336	1,382	22	0	0	22	478	11	91	580
1	1,284	65	494	1,843	0	0	0	0	278	19	192	489
2	2,122	149	680	2,951	29	0	0	29	387	5	111	503
3	1,705	169	657	2,531	6	0	25	31	414	6	51	471
計	19,883	1,270	6,924	28,077	457	15	186	658	5,982	264	2,929	9,175

9 令和7年度公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織

令和7年度 公益財団法人岩手県文化振興事業団博物館組織



学芸部門職員の部門別人員

地質	考古	歴史(古美術)	民俗	生物	文化財科学	計
2人	3人	4(1)人	3人	3人	2人	17人

10 岩手県立博物館使命書

(平成20年3月25日制定)

私たち岩手県立博物館は、岩手県が誇る豊かな自然史及び文化史に関する資料と情報を収集保管して、調査研究によりその資料価値を見出し、成果を展示や教育普及などの事業で公開する全県的な機関として、教育・学術・文化の振興・発展に大きく貢献してきました。

近年の地球環境保全に対する危機意識の高まり、急速に進む国際化及び生活様式の多様化といった社会情勢の変化の中で、県民の学習意欲に応える生涯学習中核機関として、より一層充実した役割を果たすことが期待されています。

このため、私たち岩手県立博物館は、5億年にわたる大地、多様な生物相、縄文・平泉などの歴史の変遷、地域性豊かで多彩な民俗事象を背景とし、広大な岩手の地域的特性を活かしながら新たな価値の発見に努め、県民の要請に応じて県民とともに歩む博物館としての機能を強化し、新たな地域文化の創造を目指して博物館の使命を次のようにまとめました。

1 ユニークで多彩な資料の蓄積とその活用に基づく岩手の自然史・文化史の拠点

- (1) 岩手県及び関連する地域の自然や人間の営みの証拠となる資料と情報を継続的に収集・整理して適切に保管・管理し、県民共有の知的財産として次世代に確実に継承していきます。
- (2) 収集した自然史・文化史資料と情報について、自らの研究を通して岩手の地域的特性を明らかにするとともに、グローバルな視点に立って資料の価値を新たに見出します。
- (3) ユニークで多彩な質の高い資料とその情報を各種の事業によって公開・活用し、県民の知的欲求を刺激する場を提供します。

2 幅広い交流による知的活動への寄与と新たな地域文化の創造

- (1) さまざまな機関との資料の相互交流を進めながら、県民はもとより国内外に情報を発信し、自然環境や文化遺産の保全を支援して県民の知的活動に寄与することにより、岩手県の教育・学術・文化の振興・発展に貢献していきます。
- (2) 開かれた博物館として県民との積極的な交流を進めながら、自主的な学習の場を提供することにより、県民の生涯学習活動と次世代の育成のための学校教育活動を積極的に支援します。
- (3) 資料を公開・活用する各種の事業について県民の要請に応え、わかりやすく伝える方法を探り、ともに学び、楽しみを分かちあいながら、新たな地域文化の創造と発展に県民とともに取り組んでいきます。

3 社会から託された博物館の役割を実現するための基盤整備

- (1) 使命書に基づいて活動計画を立案し、実績を点検しながら、さらによりよい博物館活動を目指します。
- (2) 社会から託された博物館の役割を積極的に実現するために、機能的で効果的な組織と財務基盤を整備し、優れた人材の育成に努めます。
- (3) 県民が集い、交流・活動し、やすらぎと潤いのある、安全・安心で、清潔な、また来たいと感じてもらえる快適空間を提供し、県民の共有財産である収蔵資料の保管・管理機能の整備を図ります。

1 1 関係条例・規則等

(1) 博物館条例

昭和 55 年 7 月 15 日 条例第 41 号

(設置)

第 1 条 歴史、芸術、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
岩手県立博物館	盛岡市

(指定管理者による管理)

第 1 条の 2 博物館の管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定に基づき教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 1 条の 3 指定管理者は、この条例の規定により指定管理者が行うこととされた業務のほか、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (2) その他博物館の利用の促進に関する業務

(入館等の許可)

第 2 条 博物館に入館しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の入館が次の各号のいずれかに該当する場合は、同項の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
- (3) その他博物館の管理上適当でないと認めるとき。

3 指定管理者は、博物館の管理上必要があると認めるときは、第 1 項の許可に条件を付することができる。

第 3 条 博物館において、館内の資料の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第 3 項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第 3 項中「指定管理者」とあるのは、「教育委員会」と読み替えるものとする。

(行為の禁止)

第 4 条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設、設備又は資料を汚損し、損傷し、又は亡失すること。
- (2) 指定された場所以外の場所にはり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。
- (3) 静粛を害し、他人に迷惑をかけること。
- (4) 指定された場所以外の場所で喫煙し、又は飲食をすること。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ること。

(入館許可の取消し等)

第 5 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、第 2 条第 1 項の許可を受けた者に対し、当該許可を取り消し、その効力を停止し、同条第 3 項の条件を変更し、又は行為の中止、原状の回復若しくは博物館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例の規定による処分に違反したとき。
- (2) 第 2 条第 3 項の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他の不正な手段により第 2 条第 1 項の許可を受けたとき。
- (4) 博物館の管理上必要があると認めるとき。
- (5) その他公益上やむを得ない必要が生じたとき。

2 前項の規定は、第 3 条第 1 項の許可について準用する。この場合において、前項中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、「同条第 3 項」とあり、及び「第 2 条第 3 項」とあるのは「第 3 条第 2 項において読み替えて準用する第 2 条第 3 項」と読み替えるものとする。

(入館料)

第 6 条 第 2 条第 1 項の許可を受けた者（以下「入館者」という。）は、別表に掲げる入館料を納付しなければならない。

2 前項の入館料は、許可の際に徴収する。

(入館料の免除)

第 7 条 知事は、次の各号のいずれかに該当する場合は、入館料を免除することができる。

- (1) 教育課程に基づく教育活動として、小学校児童、中学校生徒又は高等学校生徒を引率する者が入館するとき。

(2) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者その他規則で定める者が入館するとき。

(3) その他知事が適当と認めるとき。

(入館料の不還付)

第8条 既納の入館料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を還付することがある。

- (1) 第5条第1項第4号又は第5号の規定に基づき指定管理者が入館の許可を取り消したとき。
- (2) 入館者の責めに帰することができない理由により利用することができなかつたとき。
- (3) その他知事が特別の理由があると認めるとき。

(損害賠償等)

第9条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、指定管理者の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは「知事」と読み替えるものとする。

(博物館協議会)

第10条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、博物館に岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織し、委員は次に掲げる者のうちから任命する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第11条 この条例の実施に関し、第6条から第9条までについて必要な事項は知事が、博物館の管理その他について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表（第6条関係）

区 分	個 人	20人以上の団体
学生	160円	1人につき80円
一般	350円	1人につき160円

備考1 特別な資料を展示した場合において、その資料を観覧しようとする者については、特別な資料の展示を行うのに要した費用を勘案してその都度知事が定める額（以下「特別入館料」という。）を別に徴収する。

2 幼児に係る入館料並びに小学校児童、中学校生徒及び高等学校生徒に係る入館料（特別入館料を除く。）は、無料とする。

(2) 博物館条例施行規則

昭和55年9月26日 規則第78号

(趣旨)

第1条 この規則は、博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(領収書)

第2条 条例第6条第1項に規定する入館料の領収書については、岩手県立博物館管理運営規則（昭和55年岩手県教育委員会規則第9号）第4条第2項に規定する入館券をもってこれに代えるものとする。

(条例第7条の規則で定める者)

第3条 条例第7条第2号の規則で定める者は、次のとおりとする。

- (1) 知事の定めるところにより療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けている時は、当該知的障害者又は知的障害児）及びその介護を行う者
- (2) 条例第7条第2号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）若しくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

又は前号の療育手帳の交付を受けている者（知的障害者又は知的障害児につき、その保護者が療育手帳の交付を受けているときは、当該知的障害者又は知的障害児）と同等以上の障害があると知事が認める者及びこれらの介護を行う者

- (3) 条例第7条第2号の身体障害者手帳の交付を受けている者（15歳未満の者につき、その保護者が身体障害者手帳の交付を受けているときは、当該15歳未満の者）又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者の介護を行う者

（入館料の免除及び還付）

第4条 条例第7条又は第8条の規定により入館料の免除又は還付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、別に定める様式による入館料免除（還付）申請書を知事に提出しなければならない。ただし、知事が別に定める場合にあつては、この限りではない。

- 2 知事は、前項の入館料免除（還付）申請書を受理したときは、その内容を審査し、入館料を免除し、又は還付することを適当と認めたときは、別に定める様式による入館料免除（還付）承認書を申請者に交付するものとする。

附 則（平成21年3月13日規則第7号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の県立学校授業料等条例施行規則、学校施設設備基金条例施行規則、高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付条例施行規則、博物館条例施行規則、岩手県に所有権が帰属する埋蔵文化財の取扱いに関する規則及び美術館条例施行規則（以下「県立学校授業料等条例施行規則等」という。）に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書についてはなお従前の例による。
- 3 この規則による改正前の県立学校授業料等条例施行規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

（3）岩手県立博物館管理運営規則

昭和55年9月26日 教育委員会規則第9号

（趣旨）

第1条 この規則は、岩手県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以後の日であつて当該休日に最も近い休日でない日）
- (2) 資料整理日（資料の整理、点検等を行う9月1日から9月10日までの10日間をいう。）
- (3) 12月29日から翌年1月3日まで

2 博物館条例（昭和55年岩手県条例第41号。以下「条例」という。）第1条の2に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）は、必要があると認めるときは、博物館の館長（以下「博物館長」という。）の承認を得て、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。ただし、入館時間は、午後4時までとする。

- 2 指定管理者は、必要があると認めるときは、博物館長の承認を得て、前項の開館時間及び入館時間を臨時に変更することができる。

（入館許可の申請）

第4条 条例第2条第1項の規定による許可を受けようとする者は、指定管理者が定めるところにより申請しなければならない。

- 2 指定管理者は、条例第2条第1項の規定による許可をしたときは、指定管理者が別に定める入館券を交付するものとする。

（撮影、貸出等の許可）

第5条 条例第3条第1項の規定による許可を受けようとする者は、別に定める様式による資料撮影等許可（変更）申請書又は別に定める様式による資料貸出許可（変更）申請書を博物館長に提出しなければならない。

- 2 博物館長は、条例第3条第1項の規定による許可をしたときは、別に定める様式による資料撮影等許可書又は別に定める様式による資料貸出許可書を交付するものとする。
- 3 資料の貸出期間は、30日以内とする。ただし、博物館長が特に必要と認めるときは、その期間を延長することができる。
- 4 資料の貸出しを受けた者が、当該資料を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、速やかに、別に定める様式による資

料汚損（損傷、亡失）報告書を博物館長に提出し、その指示を受けなければならない。

（汚損等の届出）

第6条 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失した者は、速やかに、指定管理者に届け出なければならない。

2 前項の規定は、資料について準用する。この場合において、同項中「指定管理者」とあるのは、「博物館長」と読み替えるものとする。

（協議会の所掌）

第7条 条例第10条の規定による岩手県立博物館協議会（以下「協議会」という。）は、博物館長の諮問に応じ、次に掲げる事項に関し、調査審議するとともに、博物館長に対して意見を述べることができる。

- (1) 資料の収集、保管、展示等に関する事。
- (2) 資料の調査研究、利用等に関する事。
- (3) その他博物館の運営に関する事。

（会長）

第8条 協議会に会長を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第9条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（補則）

第10条 この規則の実施に関し必要な事項は、博物館長が定める。

附 則（平成21年3月6日教育委員会規則第2号）

- 1 この規則は、平成21年から4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の岩手県教育教員免許状に関する規則、学校教育法施行細則、岩手県立高等学校の管理運営に関する規則、博物館の登録に関する規則、教育財産管理規則、岩手県文化財保護条例施行規則、岩手県立図書館管理運営規則、岩手県立博物館管理運営規則、岩手県立総合教育センター宿泊施設の利用に関する規則、技能教育施設の指定等の手続きに関する規則、岩手県教育委員会が行う聴聞の手続に関する規則、岩手県教育委員会の所管に属する公益信託の引受けの許可及び監督に関する規則、岩手県

教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則、岩手県立美術館管理運営規則及び岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する等の規則附則第3項の規定によりなおその効力を有することとされる廃止前の岩手県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則（以下「岩手県教育職員免許状に関する規則等」という。）

に規定する別に定める様式は、この規則の施行の日以後に提出し、又は交付する申請書等又は通知書等について適用し、同日前に提出し、又は交付した申請書等又は通知書等については、なお従前の例による。

- 3 この規則による改正前の岩手県教職員免許状に関する規則等に規定する様式による用紙は、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

令和7年度岩手県立博物館年報

令和8年6月2日

編集：岩手県立博物館

〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34

Tel 019-661-2831 Fax 019-665-1214

発行：公益財団法人岩手県文化振興事業団

〒020-0023 盛岡市内丸13-1

Tel 019-654-2235